

科目名	科目担当代表教員	ページ数
生涯スポーツⅡ	平岡 英樹	3
生涯スポーツⅡ	平岡 英樹	8
統計の基礎	武田 裕康	13
日本国憲法	池田 杏奈	18
English Ⅱ (Reading & Writing)	Richardson Peter	23
English Ⅱ (Reading & Writing)	及川 陽子	28
English for Study abroad	Joseph S Tomasine	33
アカデミックジャパニーズⅠ	阿部 仁美	38
アカデミックジャパニーズⅡ	富田 麻知子	43
アカデミックジャパニーズⅢ	傳法 智恵美	48
フランス語Ⅱ	Nicolas Jegonday	53
ロシア語Ⅱ	鈴木 理奈	58
総合中国語Ⅱ	楊 志剛	63
総合中国語Ⅳ	胡 慧君	68
中国語リスニング	胡 耀光	73
中国語入門Ⅲ	大沼 尚子	78
中国語入門Ⅲ	云 肖梅	83
朝鮮語Ⅱ	朴 權浩	88
ニセコ国際研修	小山田 健	93
地域連携プロジェクト	渡部 俊弘	98
北海道の社会と文化(多文化共生)	小山田 健	103
English Linguistics	Richardson Peter	108
English Literature Ⅱ	及川 陽子	113
English Reading	Joseph S Tomasine	118
English Reading	高橋 保夫	123
English Written Communication Ⅰ	Walzem Allen George	128
English Written Communication Ⅰ	Walzem Allen George	133
English Written Communication Ⅱ	Joseph S Tomasine	138
English Written Communication Ⅱ	Todd Robert Enslen	143
English for workplace communication Ⅱ	Joseph S Tomasine	148
English for workplace communication Ⅱ	Todd Robert Enslen	153
Networking Communication	Joseph S Tomasine	158
英語通訳法Ⅰ	川内 裕子	163
英語翻訳法	高橋 保夫	168
初級中国語Ⅰ	魯 諍	173
初級中国語Ⅱ	魯 諍	178
初級中国語Ⅲ	魯 諍	183
中国語ライティング	云 肖梅	188
エアポート中国語	邢 玉芝	193
エアラインビジネス	牧野 正恵	198
ホスピタリティマネジメント	小山田 健	203

異文化ビジネスコミュニケーション	岡本 佐智子		208
異文化理解論	渡部 淳		213
観光中国語	大沼 尚子		218
国際コミュニケーション演習Ⅱ	Todd Robert Enslen		223
ICTリテラシー	松岡 審爾		228
インターンシップ	小山田 健		233
マーケティング論	芝 香		238
公務員講座I	小山田 健		243
公務員講座II	小山田 健		248
日本語の表記と語彙	小西 正人		253
日本語ビジネスライティング	小西 正人		258
日本語学	小西 正人		263
日本語教育法Ⅱ	岡本 佐智子		268
日本語表現技法Ⅱ(文章表現)	小西 正人		273
教育課程の意義と編成	石垣 則昭		278
教育心理学	川俣 智路		283
教職入門	常田 拓孝		288
特別支援教育概論	村田 敏彰		293
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	常田 拓孝		298
英語科教育法Ⅱ	沢谷 佑輔		303
教育経営論	石垣 則昭		308

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		全学共通科目 基礎科目					
科目名		生涯スポーツⅡ（2組）				ナンバリング	1197
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	平岡 英樹、平岡 英樹						
授業の位置づけ							
様々なスポーツについての理解と実践方法を学ぶための科目である。							
授業の概要							
参加者のレベルに応じて展開するスポーツ及び軽スポーツの方法論について、個々の学生がすでに修得しているスポーツの技術・技能レベルを基礎として、設備・用具等を含め、実践を通して考察する。とりわけ、北海道の自然環境を活かしたスポーツ活動を実際に行いながら、生活の中に運動に親しむ活動時間を定着させ、生涯にわたって、仲間とともにスポーツを継続できる知識と実践法を学ぶ。							
到達目標							
①スポーツ・運動することの楽しさや重要性を理解することができるようになる。 ②ルールやマナーを理解し、ゲームを通して仲間を尊重するところを育てることができるようになる。 ③日常生活において健康への意識を高め、体力の維持・増進を目指せるようになる。 ④生涯を通じて積極的に且つ楽しく、スポーツや運動に親しむ意識を持ち、それを習慣化できるようになる。							
授業の方法							
チーム(グループ)分けをし、ゲームを中心として進める。 ゲーム内容や勝敗をもとに、技術の習得やチームワーク等を確認する。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとしては、ゲームによる個人技術の確認と評価

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	授業内容についてのガイダンス 授業内容の説明、受講上の注意事項、評価等について解説する。	シラバスで授業内容を確認する。(20分)	受講にあたっての注意事項等を確認する。(25分)
担当教員			
第2回	バドミントン・卓球(1) ゲーム(技術の応用・コンビネーションプレー)ーシングルス・ダブルスによるゲームを行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第3回	バドミントン・卓球(2) ゲーム(技術の応用・コンビネーションプレー)ーシングルス・ダブルスによるゲームを行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第4回	バレーボール(1) ゲーム(チームプレー)ー2人・3人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			

第5回	バレーボール(2) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第6回	バレーボール(3) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第7回	バスケットボール(1) ゲーム(技術の応用)ー個人・2人・3人のプレーがゲームで活用する。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第8回	バスケットボール(2) ゲーム(チームプレー)ー個人・2人・3人・4人・5人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第9回	バスケットボール(3) ゲーム(チームプレー)ー個人・2人・3人・4人・5人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第10回	ニュースポーツ(1) 基礎技術を活用しゲームを行う	ニュースポーツにはどのような競技があるかかを調べる。(20分)	基本技術・ルールの確認。(25分)
担当教員			

第11回	ニュースポーツ(2) 基礎技術・コンピプレーを活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第12回	ニュースポーツ(3) 基礎・応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第13回	ニュースポーツ(4) 基礎・応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第14回	ニュースポーツ(5) 応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第15回	ニュースポーツ(6) 応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	15回の授業を通し、生涯スポーツの意義や重要性についての考え、今後どのように生涯スポーツと関わっていくかをまとめる。 (25分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	平常点80%(準備・片付け・受講態度など)、レポート等課題提出による評価20%	

その他	0	なし
教科書		
なし		
参考文献		
特になし、必要に応じて資料を配付		
履修条件・留意事項等		
ジャージ等の運動・スポーツに適した服装・スポーツシューズ(屋内用)を着用して受講すること 屋外で行う場合は屋外用のスポーツシューズを着用して受講すること 天候その他状況により種目に変更となる場合がある 積極的にプレーに参加すること		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		全学共通科目 基礎科目					
科目名		生涯スポーツⅡ（1組）				ナンバリング	1197
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	平岡 英樹						
授業の位置づけ							
様々なスポーツについての理解と実践方法を学ぶための科目である。							
授業の概要							
参加者のレベルに応じて展開するスポーツ及び軽スポーツの方法論について、個々の学生がすでに修得しているスポーツの技術・技能レベルを基礎として、設備・用具等を含め、実践を通して考察する。とりわけ、北海道の自然環境を活かしたスポーツ活動を実際に行いながら、生活の中に運動に親しむ活動時間を定着させ、生涯にわたって、仲間とともにスポーツを継続できる知識と実践法を学ぶ。							
到達目標							
①スポーツ・運動することの楽しさや重要性を理解することができるようになる。 ②ルールやマナーを理解し、ゲームを通して仲間を尊重するところを育てることができるようになる。 ③日常生活において健康への意識を高め、体力の維持・増進を目指せるようになる。 ④生涯を通じて積極的に且つ楽しく、スポーツや運動に親しむ意識を持ち、それを習慣化できるようになる。							
授業の方法							
チーム(グループ)分けをし、ゲームを中心として進める。 ゲーム内容や勝敗をもとに、技術の習得やチームワーク等を確認する。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとしては、ゲームによる個人技術の確認と評価

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	授業内容についてのガイダンス 授業内容の説明、受講上の注意事項、評価等について解説する。	シラバスで授業内容を確認する。(20分)	受講にあたっての注意事項等を確認する。(25分)
担当教員			
第2回	バドミントン・卓球(1) ゲーム(技術の応用・コンビネーションプレー)ーシングルス・ダブルスによるゲームを行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第3回	バドミントン・卓球(2) ゲーム(技術の応用・コンビネーションプレー)ーシングルス・ダブルスによるゲームを行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第4回	バレーボール(1) ゲーム(チームプレー)ー2人・3人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			

第5回	バレーボール(2) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第6回	バレーボール(3) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第7回	バスケットボール(1) ゲーム(技術の応用)ー個人・2人・3人のプレーがゲームで活用する。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第8回	バスケットボール(2) ゲーム(チームプレー)ー個人・2人・3人・4人・5人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第9回	バスケットボール(3) ゲーム(チームプレー)ー個人・2人・3人・4人・5人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第10回	ニュースポーツ(1) 基礎技術を活用しゲームを行う	ニュースポーツにはどのような競技があるかかを調べる。(20分)	基本技術・ルールの確認。(25分)
担当教員			

第11回	ニュースポーツ(2) 基礎技術・コンピプレーを活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第12回	ニュースポーツ(3) 基礎・応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第13回	ニュースポーツ(4) 基礎・応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第14回	ニュースポーツ(5) 応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第15回	ニュースポーツ(6) 応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	15回の授業を通し、生涯スポーツの意義や重要性についての考え、今後どのように生涯スポーツと関わっていくかをまとめる。 (25分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	平常点80%(準備・片付け・受講態度など)、レポート等課題提出による評価20%	

その他	0	なし
教科書		
なし		
参考文献		
特になし、必要に応じて資料を配付		
履修条件・留意事項等		
ジャージ等の運動・スポーツに適した服装・スポーツシューズ(屋内用)を着用して受講すること 屋外で行う場合は屋外用のスポーツシューズを着用して受講すること 天候その他状況により種目に変更となる場合がある 積極的にプレーに参加すること		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		全学共通科目 基礎科目					
科目名		統計の基礎				ナンバリング	1156
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	武田 裕康						
授業の位置づけ							
社会で必要となるスキルのひとつである、データ解析を中心とした科学的分析力を修得する科目である。 「統計と社会調査法」(健康、理学、作業)、「医療統計学」(理学)、「理学療法研究」(理学)と連携している教養科目である。							
授業の概要							
主としてネイマン-ピアソン理論に基づき、個々の数量的現象の変動や差異と有意性、および集団の特性と変化の推移を理解する手段として統計学の基本的な知識を身につける。さらに統計手法を利用して様々な自然現象や社会現象を把握する際の留意点を十分に理解したうえで、代表値の求め方や分散の取り扱い、相関関係の検討法、各種検定法の特性などを学び、コンピュータを利用して統計処理するための基本理論を学ぶ。							
到達目標							
1. データをもとにして統計的な記述を行いその特徴を見出すことができる。 2. 統計的推定の考え方を説明することができる。 3. 統計的検定の考え方を説明することができる。 4. 各種検定法の特性を理解し、データに適した方法を選択できる。 5. 統計検定を正しく行い、適切な検定結果から正しい結論を導くことができる。							
授業の方法							
パワーポイントと配布印刷物を用いて講義形式ですすめる。 理解度確認テストを実施するとともに、宿題を課す(全15回)。第6回以降の後半は問題解決を通じて能動的に学ぶアクティブ・ラーニング型となる。 フィードバックとして理解度確認テスト・宿題を実施後、解答の解説を行う。							
ICT活用							
Google Classroomの小テスト機能を用いて練習問題を提供し自主学習を促す。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして、理解度確認テスト・宿題を実施後、解答の解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【記述統計①】データの整理と視覚化をおこなうための度数分布表とヒストグラム、また、データを代表する値である平均値と中央値、最頻値について高校までに学習した内容を確認する。また、統計処理の対象となるデータが4つの尺度(比例尺度、間隔尺度、順序尺度、名義尺度)に分類されることを学ぶ。	教科書1のp14～p27を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第2回	【記述統計②】データのばらつきを表す指標(散布度)である分散、標準偏差、四分位偏差について高校までに学習した内容を確認し、データの代表値と散布度の表し方を学ぶ。また、確率分布を理解し、二項分布および代表的な分布である正規分布の性質を理解する。	教科書1のp28～p31、p42～p48、p60～p67を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第3回	【推測統計①】統計的調査を母集団全体に行うことは実用的ではないので、標本を抽出して母集団の性質を推測する。まず母集団が正規分布することを仮定して標本から母数を推定する考え方を学んだのち、正規母集団の分散が既知のときに母平均を区間推定する方法を学ぶ。	教科書1のp84～p89、p96～p98、p100～p102、p106～p109、p112～p117を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第4回	【推測統計②】正規分布する母集団から標本抽出し、母分散を区間推定する方法を学ぶ。また、正規分布するが分散が未知の母集団、さらには分布も分散も未知の母集団から標本抽出し、母平均を区間推定する方法を学ぶ。これらの理解に必要な自由度、中心極限定理、t分布、カイ二乗分布を学ぶ。	教科書1のp94、p133～p136、p71～p73、p96～p98、p118～p128、p68～p70を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			

第5回	【推測統計③】統計的検定の基本の手順を習得し、検定における「帰無仮説」「危険率」「棄却」等の考え方を理解する。あわせて、片側検定、両側検定の使い分けや判定の誤り（第1種の過誤、第2種の過誤）を学ぶ。	教科書1のp138～p154を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第6回	【実践編①】関連2群の差の検定法として「対応あるt検定」「ウィルコクソン符号付順位和検定」を学ぶ。これは同じ個体内での変化など、関連のある2つの量に差があるかどうかを判定できる。2つの検定のうちどれを用いるかは正規性の有無で判断するので、正規性の検定も習得する。	教科書2のp48～p51、p101～p110を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第7回	【実践編②】独立2群の差の検定法として「スチューデントのt検定」「ウェルチのt検定」「マン・ホイットニー検定」を学ぶ。これらの検定のうちどれを用いるかは正規性の検定、等分散性の検定により判断する。なお、等分散性の検定に必要なF分布についても紹介する。	教科書1のp74～p76、p167～p170 教科書2のp81～99を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第8回	【実践編③】独立な多群(3群以上)の差を検定する方法として「一元配置分散分析」を分散分析の原理の基本とともに学ぶ。また、正規性や多群の等分散性がないときに用いる「クラスカル・ウォリス検定」、多群の等分散性の検定である「バートレット検定」を学ぶ。	教科書1のp192～p206 教科書2のp111～p124 を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第9回	【実践編④】関連ある多群の差を検定する「重複(または反復)測定一元配置分散分析」を紹介する。また、2要因を同時に分析する「二元配置分散分析」を学ぶ。ここでは2要因の組合せに対してデータが1つの場合に用いる「繰り返しのない二元配置分散分析」「フリードマン検定」を学ぶ。	教科書1のp207～p213 教科書2のp125～p130、p139～p148を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第10回	【実践編⑤】分散分析では多群のどこかに差があるかを検定するが、どの群とどの群に差があるかはわからない。これを明らかにする検定が多重比較である。ここではその概念を学び様々な多重比較法を紹介する。	教科書2のp165～p195が範囲だが、このうちp165、p168～p172を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			

第11回	【実践編⑥】2要因の組合せに対してデータが複数存在する場合に用いる「繰り返しのある二元配置分散分析」について学ぶ。またここで得られる2要因の絡みあいの指標＝「交互作用」の解釈も学ぶ。さらに、「重複測定二元配置分散分析」についても紹介する。	教科書1のp218～p226 教科書2のp149～p163を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第12回	【実践編⑦】2つの変量の間に相関関係があるかどうかを調べる「ピアソンの相関係数の検定」「スピアマンの順位相関係数検定」を学び、ここで得られる相関係数の意味を学ぶ。また、回帰分析のうち単回帰分析について学ぶ。	教科書1のp34～p40、p172～p184 教科書2のp197～p218を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第13回	【実践編⑧】「2×2分割表」について学ぶ。これは2つの名義尺度の変数があり、各変数が2つの値しかとらないとき、変数間の関連の有無を調べる検定法である。ここでは、「カイ2乗独立性の検定」、「フィッシャーの直接確率計算法」、「マクニマー法」について学ぶ。	教科書2のp239～p253を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第14回	【実践編⑨】「m×n分割表」について学ぶ。これは2つの名義尺度か順序尺度の変数があり、少なくとも1つの変数が3つ以上の値をとるとき、変数間の関連の有無を調べる検定法である。ここでは「カイ2乗独立性の検定」等について学ぶ。	教科書2のp259～p276を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第15回	【実践編⑩】実践編の総まとめとして、調査したいデータに対してどの検定を選択したらよいかを習得する。 【番外編】統計的検定の問題点について考察する。効果の大きさをあらわす統計的指標である効果量について簡単に紹介する。	教科書2でこれまで行った検定法を復習しておくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	50	各講義中に提出する理解度確認テストの提出(15回)	

その他	50	各回ごとの宿題の提出(15回)
教科書		
1. 統計解析がわかる／涌井良幸, 涌井貞美／技術評論社 2. 4steps エクセル統計(第4版)／柳井久江／オーエムエス出版		
参考文献		
なし。		
履修条件・留意事項等		
特になし。		
備考欄		
特記事項なし。		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		全学共通科目 基礎科目					
科目名		日本国憲法				ナンバリング	1120
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	池田 杏奈						
授業の位置づけ							
人間社会のルールの1つである日本国憲法を学ぶことにより、幅広く教養を身につける科目である。							
授業の概要							
民主主義(国民主義)と基本的人権の相関関係を明確にするとともに、なぜ「憲法」が国家の最高法規とされるかを理解することを目指す。次いで、日常生活の場面で生じる様々な紛争解決する手段としての裁判の意義、システムを学び、同時に法解釈の手法を考察する。以上の基本的な知識を修得した上で、日本国憲法の本質と構造を(明治憲法との比較を含め)大枠で理解するよう努める。							
到達目標							
1. 日本国憲法を最高法規とする我が国の法体系について説明できる。 2. 様々な基本的人権について概要を述べるができる。 3. 法というルールを介して、社会人としての関係形成、問題解決の方法、変化する社会への対応など、我が国において生きていく上で生じ得る問題について自ら考え、論じることができる。							
授業の方法							
パワーポイント及び配布印刷物を活用しながら講義形式で進める。 各講義中に毎回コメントシート(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等を記述したもの)を提出する。 確認テストを時間内に行う(全15回)。提出方法についてはGoogle フォームを併用できるようにする予定である。							
ICT活用							
Google フォームのテスト作成機能を用いて練習問題を提供し自主学習を促す。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして理解度確認テストを実施後、解答の解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【ガイダンス・裁判制度】 担当教員の自己紹介、授業の概要、予習と復習の方法、成績評価についての説明を行う。 日本の裁判制度の概要について学ぶ。	事前に教科書を購入し、「読者のみなさんへ」の部分を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第2回	【子どもの人権】 校則を題材にして「子どもの人権」について解説する。	授業前に教科書を購入し、「Theme1 ブラック校則——子どもの人権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第3回	【外国人の権利】 法律上「国民」とは誰を指すのかを知り、「外国人」との権利の違いについて学ぶ。	「Theme2 欲しいのはまず選挙権——外国人の権利」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第4回	【プライバシー権】 プライバシーとはどういうものとして、法律上どのように保護されているかを学ぶ。	「Theme3 わたしの秘密——プライバシー権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		

第5回	【自己決定権】 自己決定権は憲法によってどのように保障されているのかを学ぶ。	「Theme4 何の自己決定か？——自己決定権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第6回	【法の下の平等】 以前の民法や刑法の条文を題材に、「法の下の平等」について学ぶ。	「Theme5 再婚は100日後——法の下の平等(1)」 「Theme6 むかし親殺しありき——法の下の平等(2)」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第7回	【信教の自由】 「信教の自由」を保障している条文の構造を理解し、保障の限界について判例を基に学ぶ。	「Theme7 法廷の宗教戦争——信教の自由」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第8回	【表現の自由】 「表現の自由」が日本国憲法の保障する人権の中でもとりわけ重要度の高いものといわれる理由を考察し、どのような表現の自由であっても保障されるのかということについて考える。	「Theme8 ポルノの権利——表現の自由(1)」 「Theme9 人殺し教えます——表現の自由(2)」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第9回	【営業の自由】 営業の自由はどのように保障されているかを学び、どのような場合に制限されるのかについて考える。	「Theme10 銭湯の楽しみ——営業の自由」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第10回	【生存権】 憲法25条が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とはどのような生活を指すのかについて考える。	「Theme11 クーラーのない生活——生存権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		

第11回	【教育権】 学校で子どもたちに教えられる教育の内容を決定できるのは誰であるかについて、判例を基に学ぶ。	「Theme12 教科書はつらいよ——教育権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第12回	【死刑制度】 死刑制度の是非について憲法の視点から考える。	「Theme13 罪と罰のはて——死刑制度」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第13回	【国会・内閣・裁判所】 日本国憲法が採用する「二院制」について学び、「国会」の役割について考える。 内閣総理大臣はどのようにして選ばれるのかについて学ぶ。 裁判に関する諸権利について学び、裁判員裁判について考える。	「Theme16 両院は車の両輪——国会(1)」「Theme17 民の声 vox Dei? ——国会(2)」「Theme18 首相の選び方——内閣」「Theme19 裁判はだれのために——裁判所」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第14回	【天皇・平和主義】 明治憲法下での天皇と現行憲法の天皇の違いについて学ぶ。 憲法9条と自衛隊の関係について考える。	「Theme14 皇室外交? ——天皇」「Theme15 人権の条件——平和主義」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第15回	【地方自治・憲法改正・まとめ】 地方自治とは何かについて学ぶ。 憲法改正の手続きと憲法改正の限界について学ぶ。	「Theme21 住民投票で決着を! ——地方自治」「Theme22 憲法の変身——改憲の可能性」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内で実施する確認テスト、授業への参加態度、授業中で提出するコメントシート(全15回)により評価する。	

その他	0	なし。
教科書		
いちばんやさしい憲法入門〔第6版〕／初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行／有斐閣		
参考文献		
講義中に適宜紹介する。		
履修条件・留意事項等		
特になし。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		English II (Reading & Writing) (1組)				ナンバリング	1212
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	Richardson Peter						
授業の位置づけ							
This course further develops reading and writing skills. Students will also gain an advanced proficiency in English with a focus on using languages for academic purposes. They will also develop flexible and positive communication skills that enable them to coexist and collaborate with people around the world in a global society.							
授業の概要							
この授業は、基礎的な英文テキストにおける読解能力の育成、および英文ライティングの基礎の習得を目的とする。読解においては、さまざまなジャンルの英文テキストを通して構文把握能力と基本的な読解方略の習得を目指す。そしてライティングにおいては、自身が意図した意味の文の生成をすること、そして文と文のつながり(結束性)を意識して複数の文をつなげ、まとまり(首尾一貫性)のある文章を作ることができ、最終的にパラグラフライティングの基礎を習得することを目標とする。							
到達目標							
The aim of this course is to improve students’ reading comprehension skills in basic English texts and to acquire the basics of English writing in an English-only class environment.							
授業の方法							
Text analysis, vocabulary building, group discussions, sentence writing activities, and peer editing will be the main components of this course.							
ICT活用							
The class will make use of Google Classroom to provide access to course material. Video content will also be shown to students at certain points in the course.							
実務経験のある教員の教育内容							

none

課題に対するフィードバックの方法

Answers to vocabulary tests will be given after the tests have been completed and individual and class feedback will be provided on the midterm writing assignment.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Explanation of the syllabus and introduction to the course.	Read the syllabus and note down any questions you want to ask. 90分	Review the content of the syllabus and reflect on the themes and goals. 90 分
担当教員			
第2回	Discuss the themes of population and cell phone usage. Focus on the “A Day on Planet Earth” reading and completing the writing assignment associated with the text.	Read pages 2 to 7 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第3回	Practice the skimming for gist skill and then complete activities to prepare for the “A Day in a Life” reading. Begin practicing your writing skills by producing sentences using the simple present tense.	Read pages 8 to 15 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第4回	Explore the writing process by thinking about brainstorming, planning, drafting, and revising. Consolidate these skills with writing tasks linked to drafting and revising.	Read pages 15 to 20 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			

第5回	Discuss the theme of global literacy and focus on key vocabulary related to this theme. Read through and test your understanding of the “The World’s Oldest First Grader” reading and practice making inferences from the content.	Read pages 21 to 27 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第6回	Build vocabulary and practice the reading skill of understanding main ideas, and then apply that skill to the “Global Education” reading along with the skills of understanding the gist and inferring.	Read pages 28 to 34 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第7回	Complete the writing assignment. Continue developing the ability to go through the writing process of brainstorming, planning, drafting, and revising by focusing on a more challenging, technical topic.	Read pages 35 to 40 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第8回	Review of the first half of the course and midterm test.	Prepare by studying the vocabulary and writing skills from the first half of the course. 90分	Reflect on the test and writing assignment, try to identify your weaknesses and work on addressing them. 90分
担当教員			
第9回	Discuss the theme of family history and study the related key vocabulary. Go through the “The Story of Us” and “From Africa to Astoria” readings and test your understanding and of the texts through comprehension and critical thinking writing activities.	Read pages 41 to 47 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第10回	Practice looking up difficult words and paying attention to context to find the right meaning. Apply this skill to the reading “Our Family Journey” and discuss in your groups your thoughts about the text.	Read pages 48 to 54 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			

第11回	Continue to develop key writing skills by focusing on how to write factual and speculative statements related to the theme of family members. Practice using peer evaluation to further revise and edit your work.	Read pages 55 to 60 in the textbook and check any words you don't understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第12回	Explore the theme of recycling and making money from stuff people throw away. Go through the reading “Garbage Island” and try to come up with solutions for some of the problems raised in the text. In addition, practice finding supporting ideas in the reading.	Read pages 62 to 69 in the textbook and check any words you don't understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第13回	Study the “Art of Recycling” reading and test your understanding with activities related to the skills of understanding the gist, scanning for key details, and identifying supporting ideas. Practice writing with a focus on giving advice and making suggestions.	Read pages 70 to 75 in the textbook and check any words you don't understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第14回	Complete the writing assignment. Continue the writing practice with a focus on modals like should and could and the skill of using details to clarify ideas. Go through the “Toaster Project” reading and test your understanding by practicing the skill of scanning and identifying key details.	Read pages 76 to 80 and pages 84 to 87 in the textbook and check any words you don't understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第15回	Review of the course and final test.	Prepare by studying the vocabulary and writing skills from the first half of the course. 90分	Consolidate the course content. 90分
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	participation: 10%; midterm test: 20%, midterm writing assignment: 25%, final test: 20%, final writing assignment: 25%	

その他	0	
教科書		
Pathways 1A, Reading, Writing, and Critical Thinking by Mari Vargo and Laurie Blass. Publisher: National Geographic Learning. ISBN-13: 978-1-285-45246-3.		
参考文献		
none		
履修条件・留意事項等		
Always bring a bilingual dictionary to the class. This class will be conducted in English only, so prepare to push yourself to do your best to understand and respond to the teacher.		
備考欄		
none		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		English II (Reading & Writing) (2組)				ナンバリング	1212
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	及川 陽子						
授業の位置づけ							
This course further develops reading and writing skills. Students will also gain an advanced proficiency in English with a focus on using languages for academic purposes. They will also develop flexible and positive communication skills that enable them to coexist and collaborate with people around the world in a global society.							
授業の概要							
この授業は、基礎的な英文テキストにおける読解能力の育成、および英文ライティングの基礎の習得を目的とする。読解においては、さまざまなジャンルの英文テキストを通して構文把握能力と基本的な読解方略の習得を目指す。そしてライティングにおいては、自身が意図した意味の文の生成をすること、そして文と文のつながり(結束性)を意識して複数の文をつなげ、まとまり(首尾一貫性)のある文章を作ることができ、最終的にパラグラフライティングの基礎を習得することを目指す。							
到達目標							
The aim of this course is to improve students' reading comprehension skills in basic English texts and to acquire the basics of English writing in an English-only class environment.							
授業の方法							
The aim of this course is to improve students' reading comprehension skills in basic English texts and to acquire the basics of English writing in an English-only class environment.							
ICT活用							
The class will make use of Google Classroom to provide access to course material. Video content will also be shown to students at certain points in the course.							
実務経験のある教員の教育内容							

none

課題に対するフィードバックの方法

Answers to vocabulary tests will be given after the tests have been completed and individual and class feedback will be provided on the midterm writing assignment.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Explanation of the syllabus and introduction to the course.	Read the syllabus and note down any questions you want to ask. 90分	Review the content of the syllabus and reflect on the themes and goals. 90 分
担当教員			
第2回	Discuss the themes of population and cell phone usage. Focus on the “A Day on Planet Earth” reading and completing the writing assignment associated with the text.	Read pages 2 to 7 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第3回	Practice the skimming for gist skill and then complete activities to prepare for the “A Day in a Life” reading. Begin practicing your writing skills by producing sentences using the simple present tense.	Read pages 8 to 15 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第4回	Explore the writing process by thinking about brainstorming, planning, drafting, and revising. Consolidate these skills with writing tasks linked to drafting and revising.	Read pages 15 to 20 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			

第5回	Discuss the theme of global literacy and focus on key vocabulary related to this theme. Read through and test your understanding of the “The World’s Oldest First Grader” reading and practice making inferences from the content.	Read pages 21 to 27 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第6回	Build vocabulary and practice the reading skill of understanding main ideas, and then apply that skill to the “Global Education” reading along with the skills of understanding the gist and inferring.	Read pages 28 to 34 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第7回	Complete the writing assignment. Continue developing the ability to go through the writing process of brainstorming, planning, drafting, and revising by focusing on a more challenging, technical topic.	Read pages 35 to 40 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第8回	Review of the first half of the course and midterm test.	Prepare by studying the vocabulary and writing skills from the first half of the course. 90分	Reflect on the test and writing assignment, try to identify your weaknesses and work on addressing them. 90分
担当教員			
第9回	Discuss the theme of family history and study the related key vocabulary. Go through the “The Story of Us” and “From Africa to Astoria” readings and test your understanding and of the texts through comprehension and critical thinking writing activities.	Read pages 41 to 47 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第10回	Practice looking up difficult words and paying attention to context to find the right meaning. Apply this skill to the reading “Our Family Journey” and discuss in your groups your thoughts about the text.	Read pages 48 to 54 in the textbook and check any words you don’t understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			

第11回	Continue to develop key writing skills by focusing on how to write factual and speculative statements related to the theme of family members. Practice using peer evaluation to further revise and edit your work.	Read pages 55 to 60 in the textbook and check any words you don't understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第12回	Explore the theme of recycling and making money from stuff people throw away. Go through the reading “Garbage Island” and try to come up with solutions for some of the problems raised in the text. In addition, practice finding supporting ideas in the reading.	Read pages 62 to 69 in the textbook and check any words you don't understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第13回	Study the “Art of Recycling” reading and test your understanding with activities related to the skills of understanding the gist, scanning for key details, and identifying supporting ideas. Practice writing with a focus on giving advice and making suggestions.	Read pages 70 to 75 in the textbook and check any words you don't understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第14回	Complete the writing assignment. Continue the writing practice with a focus on modals like should and could and the skill of using details to clarify ideas. Go through the “Toaster Project” reading and test your understanding by practicing the skill of scanning and identifying key details.	Read pages 76 to 80 and pages 84 to 87 in the textbook and check any words you don't understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第15回	Review of the course and final test.	Prepare by studying the vocabulary and writing skills from the first half of the course. 90分	Consolidate the course content. 90分
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合 (%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	participation: 10%; midterm test: 20%, midterm writing assignment: 25%, final test: 20%, final writing assignment: 25%	

その他	0	
教科書		
Pathways 1A, Reading, Writing, and Critical Thinking by Mari Vargo and Laurie Blass. Publisher: National Geographic Learning. ISBN-13: 978-1-285-45246-3.		
参考文献		
none		
履修条件・留意事項等		
Always bring a bilingual dictionary to the class. This class will be conducted in English only, so prepare to push yourself to do your best to understand and respond to the teacher.		
備考欄		
none		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		English for Study abroad				ナンバリング	1214
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Joseph S Tomasine、Joseph S Tomasine						
授業の位置づけ							
この科目は学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、および世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけるための科目で、「関心・意欲・態度」と関連する。							
授業の概要							
この授業は、語学研修の参加に必要な英語のスキルと同時に空港での手続や現地での生活といったプログラムの参加に必要な関連知識を身に付けることを目的とする。授業では、出発前から帰国までの場面別に遭遇する出来事に関連するトピックでスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングの4技能のうち、複数の技能を統合した言語活動を通して、どの技能もバランスよく習得し、語学研修に必要な英語能力を身に付けることを目標とする。							
到達目標							
To prepare for various situations in language training, students will be able to hone the four skills of speaking, listening, reading, and writing in a well-balanced manner to deal with events in language training.							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher’s instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, groupwork as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
This class utilizes Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable.

課題に対するフィードバックの方法

The teacher will give feedback by explaining the answers to the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments, as applicable.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	In this lesson, we will discuss the class procedures, assignments and assessments.	Check the LMS, read the syllabus and prepare questions. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第2回	In this lesson, we will learn how to describe your university major, talk about your club activities as well as express what you like to do in your free-time.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第3回	In this lesson, we will learn how to express and understand geographical location, talk about climate as well as explain your travel schedule.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第4回	In this lesson, we will learn how to talk about travel experience, understand and fill out arrival cards as well as how to understand instructions and advice.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			

第5回	In this lesson, we will learn how to express and understand the location of things, discuss house rules as well as understand how to use your room.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第6回	In this lesson, we will learn how to explain and understand explanations, using "if" sentences to talk about your schedule, as well as how to ask about meaning.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第7回	In this lesson, we will learn how to talk about self study activities, discuss directions and express location.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第8回	In this lesson, we will learn how to discuss what you want to do, express basic necessities as well as how to express and understand expressions of obligation.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第9回	In this lesson, we will learn how to make requests, ask permissions to do things as well as how to offer help in the home.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第10回	In this lesson, we will learn how to describe food and drink, ask for and offer food as well as show to give your impression of food.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			

第11回	In this lesson, we will learn how to shop for clothes, compare shopping items as well as talk about size of items you want to buy.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第12回	In this lesson, we will learn how to talk about an incident, including how to provide details about the incident as well as describe lost property.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第13回	In this lesson, we will learn how to talk about your hometown, explain what you can as well as talk about places of interest located there.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第14回	In this lesson, we will learn how to understand, explain and react to the content of notices and messages.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
第15回	Review and In-class Test During this lesson, we will review the learning in this class and take the in-class test.	Check the LMS, read the textbook and do the exercises. (90 minutes)	Review the class discussion and the textbook, reflect on one's performance. (90 minutes)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	No such test	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Weekly quizzes: 50 In-class test: 50	

その他	0	Not applicable.
教科書		
READY FOR TAKEOFF! English for Study Abroad, Alan Jackson & Hiroko Uchida, Kinseido		
参考文献		
Will be handed out in class		
履修条件・留意事項等		
Not applicable		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		アカデミックジャパニーズⅠ				ナンバリング	1255
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	阿部 仁美						
授業の位置づけ							
日本語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の運用能力を高める科目である。この科目は世界各地の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけるとともに、学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を身につける科目である。1年次前期科目「日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の発展科目であり、1年次後期科目「アカデミック・ジャパニーズⅡ・Ⅲ」と並行して授業を進める。							
授業の概要							
この授業は、外国人留学生在が大学で講義を受けるために必要な日本語を総合的に学ぶ。講義を聴くための技術として、1,000字程度の日本語文献の精読から始め、比較的長い視聴覚教材でタスクリスニング練習を行い、日本語でレポートが書けるようにするためのアカデミック・ジャパニーズの基礎技能を学ぶ。この授業で、受講者には上級前半レベルの日本語文法を修得し、漢字2,000字と語彙1万語程度が定着することを目指す。また、日本での社会生活を送る上でも、未知の出来事や不明な日本語問題に対して自分で調べたり、日本人に解決方法を相談したりするなどの情報収集活動ができ、問題解決できる自律した日本語学習スタイルを身に付けてもらうためタスク型教材を用いる。							
到達目標							
大学で講義を受けるために必要な日本語を身につけることができる。 1) 読解を通して、文型表現を読みのストラテジーを学ぶことができる。 2) 読んで学んだことをもとに実際にレポートを書くことができる。 3) 様々な場面で必要な話し方ができる。 4) 講義やスピーチを聞いて、質問に答えることができる。							
授業の方法							
教科書、配布物などを活用しながら、授業を進める。 グループワークやペアワーク活動を取り入れる。 小テストを実施する。							
ICT活用							
課題提出を電子メール、または指定の提出先サイトにワード／スライドで添付送信する。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして小テストやレポートの解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	L7 読み物 異文化での気づき①	新出語彙の確認をしておくこと(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第2回	L7 書く 経験からの学び	モデル作文を読んでおくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第3回	L8 読み物 インタビューに見るプロ意識②	読み物の熟読・理解をしておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第4回	L8 書く インタビュー記事	モデル作文を読んでおくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			

第5回	L9 読み物 小説・エッセイを通じて感じる愛②	新出語彙の確認をしておくこと(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第6回	L9 書く 小説や映画のレビュー	モデル作文を読んでおくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第7回	L10 読み物 データから考える社会②	読み物の熟読・理解をしておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第8回	L10 書く データ分析	モデル作文を読んでおくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第9回	L11 読み物 言葉の裏にあるもの②	新出語彙の確認をしておくこと(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第10回	L11 文型・表現②	この課で学んだ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			

第11回	L12 読み物 日本社会への声①	新出語彙の確認をしておくこと(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第12回	L12 文型・表現①	この課で学んだ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第13回	L12 書く 小論文	モデル作文を読んでおくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第14回	上級へのチャレンジ②	この課で学ぶ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第15回	上級へのチャレンジ⑤	この課で学ぶ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	レポート(5%)*6回、小テスト(20%)*3回、小テスト(話す・聞く)(10%)	

その他	0	出席率70%以上を評価対象とする。
教科書		
『4技能でひろがる中級日本語カルテット1』／安井 朱美ほか／The Japan Times 『4技能でひろがる中級日本語カルテット1 ワークブック』／安井 朱美ほか／The Japan Times		
参考文献		
適宜、紹介する。		
履修条件・留意事項等		
授業の進捗状況によっては一部内容に変更の可能性がある。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		アカデミックジャパニーズⅡ				ナンバリング	1256
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	富田 麻知子						
授業の位置づけ							
日本語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の運用能力を高める科目である。この科目は世界各地の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけるとともに、学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を身につける科目である。1年次前期科目「日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の発展科目であり、1年次後期科目「アカデミック・ジャパニーズⅠ・Ⅲ」と並行して授業を進める。							
授業の概要							
この授業は、「アカデミックジャパニーズⅠ」と連動し、外国人留学生が大学で講義を受けるために必要な日本語を総合的に学ぶ。講義を聴くための技術として、ここでは2,000字程度の日本語文献の読解練習と、比較的長い解説・論説映像の視聴解演習をとおして、日本語で意見交換やレポートが書けるようにするためのアカデミック・ジャパニーズの技能を学ぶ。この授業で、受講者には上級前半レベルの日本語文法を修得し、漢字2,000字と語彙1万語程度が定着することを目指す。また、日本での社会生活を送る上でも、未知の出来事や不明な日本語問題に対して自分で調べたり、日本人に解決方法を相談したりするなどの情報収集活動ができ、問題解決できる自律した日本語学習スタイルを身に付けてもらうためタスク型教材を用いる。							
到達目標							
大学で講義を受けるために必要な日本語を身につけることができる。 1) 読解を通して、文型表現を読みのストラテジーを学ぶことができる。 2) 読んで学んだことをもとに実際にレポートを書くことができる。 3) 様々な場面で必要な話し方ができる。 4) 講義やスピーチを聞いて、質問に答えることができる。							
授業の方法							
教科書、配布物などを活用しながら、授業を進める。 グループワークやペアワーク活動を取り入れる。 小テストを実施する。							
ICT活用							
課題提出を電子メール、または指定の提出先サイトにワード／スライドで添付送信する。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして小テストやレポートの解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	L7 読み物 文化での気づき②	読み物の熟読・理解をしておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第2回	L7 文型・表現	この課で学んだ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第3回	L8 読み物 インタビューに見るプロ意識①	新出語彙の確認をしておくこと(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第4回	L8 文型・表現	この課で学んだ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			

第5回	L8 読み物 小説・エッセイを通じて感じる愛① 小テスト(L7・L8)	小テストの準備をしておくこと(60分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第6回	L9 文型・表現	この課で学んだ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第7回	L10 読み物 データから考える社会①	新出語彙の確認をしておくこと(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第8回	L10 文型・表現	この課で学んだ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第9回	L11 読み物 言葉の裏にあるもの① 小テスト(L9・L10)	小テストの準備をしておくこと(40分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第10回	L11 文型・表現①	読み物の熟読・理解をしておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			

第11回	L11 書く 日本語と母語の違い	モデル作文を読んでおくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第12回	L12 読み物 日本社会への声②	読み物の熟読・理解をしておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第13回	12 文型・表現②	この課で学ぶ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第14回	上級へのチャレンジ①	この課で学んだ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第15回	上級へのチャレンジ③ 小テスト(L11・L12)	小テストの準備をしておくこと。(60分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	レポート(5%)＊6回、小テスト(20%)＊3回、小テスト(話す・聞く) (10%)	

その他	0	出席率70%以上を評価対象とする。
教科書		
『4技能でひろがる中級日本語カルテット1』／安井 朱美ほか／The Japan Times 『4技能でひろがる中級日本語カルテット1 ワークブック』／安井 朱美ほか／The Japan Times		
参考文献		
適宜、紹介する。		
履修条件・留意事項等		
授業の進捗状況によっては一部内容に変更の可能性がある。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		アカデミックジャパニーズⅢ				ナンバリング	1257
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	傳法 智恵美						
授業の位置づけ							
日本語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の運用能力を高める科目である。この科目は世界各地の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけるとともに、学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を身につける科目である。1年次前期科目「日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の発展科目であり、1年次後期科目「アカデミック・ジャパニーズⅠ・Ⅱ」と並行して授業を進める。							
授業の概要							
この授業は、「アカデミックジャパニーズⅠ・Ⅱ」科目に連動し、外国人留学生在が大学で講義を受けるために必要な日本語を総合的に学ぶ。講義を聴くための技術として、ここでは2,000字以上の日本語文献の速読練習を中心に、日本語で建設的な意見やレポートが書けるようにするためのアカデミック・ジャパニーズの技能を学ぶ。この授業で、受講者には上級前半レベルの日本語文法を修得し、漢字2,000字と語彙1万語程度が定着・運用できることを目指す。また、日本での社会生活を送る上でも、未知の出来事や不明な日本語問題に対して自分で調べたり、日本人に解決方法を相談したりするなどの情報収集活動ができ、問題解決できる自律した日本語学習スタイルを身に付けてもらうため、新聞や論説動画などを用いたタスク型の演習を行う。							
到達目標							
大学で講義を受けるために必要な日本語を身につけることができる。 1) 読解を通して、文型表現を讀みのストラテジーを学ぶことができる。 2) 読んで学んだことをもとに実際にレポートを書くことができる。 3) 様々な場面で必要な話し方ができる。 4) 講義やスピーチを聞いて、質問に答えることができる。							
授業の方法							
教科書、配布物などを活用しながら、授業を進める。 グループワークやペアワーク活動を取り入れる。 小テストを実施する。							
ICT活用							
課題提出を電子メール、または指定の提出先サイトにワード／スライドで添付送信する。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして小テストやレポートの解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	L7 話す 国際交流	モデル会話の確認をしておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第2回	L7 聞く 異文化コミュニケーション	聴解ページの問題を確認しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第3回	L8 話す 大切なもの	モデル会話の確認をしておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第4回	L8 聞く 温泉事情	聴解ページの問題を確認しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			

第5回	L9 話す ある日の出来事	モデル会話の確認をしておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第6回	L9 聞く ペットに関する社会事情		授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第7回	L10 話す 学生生活	モデル会話の確認をしておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第8回	L10 聞く 格差社会	聴解ページの問題を確認しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第9回	L11 話す コミュニケーションスタイル	モデル会話の確認をしておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第10回	L11 聞く 若者のコミュニケーション	聴解ページの問題を確認しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			

第11回	L12 話す 人や社会とつながり	モデル会話の確認をしておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第12回	L12 聞く 求められる人材	聴解ページの問題を確認しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第13回	L12 小クイズ(話す・聞く)	小テストの準備をしておくこと。(60分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第14回	上級へのチャレンジ④	この課で学ぶ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	授業内容を復習すること。(30分)
担当教員			
第15回	上級へのチャレンジ⑥	この課で学ぶ文法項目を確認・理解しておくこと。(30分)	このコースで学んだことを復習しておくこと。(30分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	レポート(5%)*6回、小テスト(20%)*3回、小テスト(話す・聞く) (10%)	

その他	0	出席率70%以上を評価対象とする。
教科書		
『4技能でひろがる中級日本語カルテット1』／安井 朱美ほか／The Japan Times 『4技能でひろがる中級日本語カルテット1 ワークブック』／安井 朱美ほか／The Japan Times		
参考文献		
適宜指示する。		
履修条件・留意事項等		
授業の進捗状況によっては一部内容に変更の可能性がある。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		フランス語Ⅱ				ナンバリング	3282
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Nicolas Jegonday						
授業の位置づけ							
この科目は世界各地の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけるとともに、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につける科目である。3年次前期科目「フランス語Ⅰ」の発展となる科目である。							
授業の概要							
この授業は、「フランス語Ⅰ」に続き、フランス語の発音の規則に慣れ、文法の基礎を学習することを通して、フランス語の理解と表現に欠かせない基礎を習得する。学習した単語や文法知識を用いて、簡単な内容の短い文章や会話を理解できることを目指す。また、フランス語の短い会話や文章を、正しい発音で読んだり話したりを練習し、フランス語の基本文法や語句を使って、簡単な内容を表現できるようになる。また、フランス語の学習を通してフランス語圏の文化や社会への理解を深める。							
到達目標							
1,会話の中でよく使う動詞の活用を習得する。 2,過去、未来時制の表現を理解し応用できる。 3,日常の会話を楽しむことができる。							
授業の方法							
授業は参加型で行います。言葉は使いながら覚える。ほぼ毎回ペアで練習してから、発表をする。比較的ゆっくり進みますが、復習は欠かせません。							
ICT活用							
なし。							
実務経験のある教員の教育内容							

札幌アリアンス・フランセーズ院長。フランスやフランス語圏について幅広い知識を有している。この経験を活かして授業を行う。

課題に対するフィードバックの方法

授業が始まる前に直接教員に聞く。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	フランス語 I で習ったことを復習する。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第2回	一日の行動に関する表現を習う。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第3回	自分の行動を伝える。相手の行動を聞く。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第4回	過去形を習う。複合過去。	復習:90分	復習:90分
担当教員			

第5回	過去の出来事を伝える。半過去。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第6回	フランス映画鑑賞。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第7回	未来形を習う。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第8回	予定を伝える。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第9回	食に関する単語を習う。部分冠詞。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第10回	食生活について話す。	復習:90分	復習:90分
担当教員			

第11回	カフェやレストランで使う表現を習う。ロールプレー。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第12回	天気に関する単語を習う。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第13回	天気についてはなす。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第14回	街や大学に関する表現を習う。道案内をする。	復習:90分	復習:90分
担当教員			
第15回	まとめ。	復習:180分	復習:90分
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内の課題・参加度・出席態度を総合的に評価します。	

その他	0	
教科書		
場面で学ぶフランス語1[三訂版]高橋百代 著/ Nicolas JEGONDAY 著/ 林宏和 著/ Cédric YAHYAOUÏ 著 三修社 ISBN978-4-384-22055-1 C1085		
参考文献		
特になし。		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		ロシア語Ⅱ				ナンバリング	3292
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	鈴木 理奈						
授業の位置づけ							
この科目は世界各地の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけるとともに、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につける科目である。3年次前期科目「ロシア語Ⅰ」の発展となる科目である。							
授業の概要							
この授業は、「ロシア語Ⅰ」に続き、ロシア語の文字に慣れ、簡単な文章を読み、短い文章が書けるようにロシア語の初級基礎文法を習得する。ロシア語の短い文章を、正しい音声の音読と精読で演習し、そのトピックに関する意見を簡単に表現できる力を身に付ける。ロシア語学習とともにロシアの生活習慣や文化についても学び、北海道とロシアの共通と異なりへの理解を深めていく。							
到達目標							
ロシア語の基礎的学習をふまえて、1. 基本的な単語や文を聞き取れる、2. 単純な文を読んで内容が分かる、3. 簡単な語句や文を使って初歩的な応答ができる、4. 簡単な文章を書ける							
授業の方法							
板書やパワーポイントを用いて講義形式で進める。 配布印刷物および視聴覚メディア（DVD、CDなど）の補足教材も活用し説明を行う。							
ICT活用							
該当なし。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして、理解度確認テストを回収後、解答の解説を行う。
レポート課題は、提出後にコメントを返す。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	格変化について	シラバスに目を通して、教科書p62「格について」を読んでおく(90分)	授業で学習したロシアの言語的特徴について復習しておく(90分)
担当教員			
第2回	第7課 с я 動詞, 前置詞と前置格, 名詞の前置格(場所の表現, ~について), 人称代名詞の前置格	教科書p50-51の新出単語と本文に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			
第3回	第8課 所有の表現, 命令形	教科書p54-55の新出単語と本文に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			
第4回	第9課 名詞の対格(直接目的), 人称代名詞の対格	教科書p60-61の新出単語と本文に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			

第5回	第10課 名詞の対格(行き先の表現), 運動の動詞	教科書p64-65の新出単語と本文に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			
第6回	練習問題, 挨拶表現, 文法チェック	教科書p50-69練習問題の新出単語, p70-71「単語力アップ」「表現力アップ」, p72-75の新出単語に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			
第7回	第11課 動詞の過去形, 場所の表現, 「勉強する」の表現	教科書p76-77の新出単語と本文に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			
第8回	第12課 動詞「б ы т ь」の過去形, 天候の表現	教科書p80-81の新出単語と本文に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			
第9回	第13課 動詞「б ы т ь」の未来形, 病気の表現, 動詞の不規則変化	教科書p86-87の新出単語と本文に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			
第10回	第14課 名詞の生格(所有, 所属, 否定), 人称代名詞の生格	教科書p90-91の新出単語と本文に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			

第11回	第15課 名詞の与格(間接目的), 人称代名詞の格変化, 許可の表現	教科書p98-99の新出単語と本文に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			
第12回	第16課 名詞の造格(手段, 前置詞 c), 人称代名詞の造格, 必要の表現	教科書p102-103の新出単語と本文に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			
第13回	第17課 名詞の対格(活動体名詞), 個数詞	教科書p96-97「単語力アップ」「表現力アップ」, p118-119の「単語力アップ」「表現力アップ」の新出単語に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			
第14回	授業まとめ, 練習問題	教科書p76-107練習問題の新出単語に目を通しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を復習しておく(90分)
担当教員			
第15回	達成度確認テスト, 解説	教科書p50-110で学習した単語, 表現, 文法事項を復習しておく(90分)	授業で学習した表現や文法事項を確認し復習しておく(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内で実施する達成度確認テスト, 授業への参加態度, 出席態度, 授業内の課題、授業内レポートなど	

その他	0	
教科書		
「ニューエクスプレスプラスロシア語」黒田龍之助 著(白水社)		
参考文献		
辞書は,「パスポート初級露和辞典」米重文樹編/ウラジーミル・タヴリーノフ協力(白水社)を推奨する。		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		総合中国語Ⅱ				ナンバリング	2242
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	楊 志剛						
授業の位置づけ							
中国語の総合的な表現能力を高めるための科目である。世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけるとともに、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力および世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につける。「総合中国語Ⅰ」と関連する科目である。							
授業の概要							
この授業は、「聞く、話す、読む、書く」の語学に必要な4要素の中で、「聞く、話す」に主眼をおく。1年間の専門教育で身につけた初級レベルのコミュニケーション能力、「会話と表現」能力の上に、中級レベルにふさわしい、より高度な表現能力を身につけることができるようにする。中国語には生活習慣などに起因する、他文化圏の人々には理解しがたい特殊な表現がある。これらの表現は、日本人が苦手とし、理解しがたいものが多いが、とても大切な表現となる。授業では、これらの理解しがたい中国語の表現についても触れる。							
到達目標							
中国人と日常的な会話をすることができる。							
授業の方法							
読む、聞く、話す、書くの4方面を中心とした総合的な語学能力を育成するために、視聴覚資料を用いて、講義形式で授業を進める。							
ICT活用							
Google Formのテスト作成機能を用いて練習問題を解かせて、受講生の理解度を確認する。 Google Classroomを用いた双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業目標に掲げた内容の達成度に応じて、次回の授業で微調整を行う。課題に対し、解説を行い、受講生にアドバイスをする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	I、ガイダンス II、第1課 朝の公園 公園で運動する習慣について説明する	学習予定部分 (p.10~13)を予習すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業までに音声ファイルを提出すること。(90分)
担当教員			
第2回	第3課 餃子 中国の餃子と日本の餃子の違いについて紹介する	学習予定部分 (p.18~21)を予習すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業までに音声ファイルを提出すること。(90分)
担当教員			
第3回	第4課 寒くないか 表現のしたかの違いについて学ぶ	学習予定部分 (p.22~25)を予習すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業までに音声ファイルを提出すること。(90分)
担当教員			
第4回	第6課 お見合いコーナー 中国の多くの都市の公園にある「お見合いコーナー」の風景を紹介する	学習予定部分 (p.30~33)を予習すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業までに音声ファイルを提出すること。(90分)
担当教員			

第5回	第9課 無洗米 「闺蜜」とは？ 中国のプレゼント事情	学習予定部分 (p.42~45)を予習 すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業まで に音声ファイルを提出すること。 (90分)
担当教員			
第6回	第10課 温かいものを食べたい 中国人の「冷たいものを避ける習慣」について説明する	学習予定部分 (p.46~49)を予習 すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業まで に音声ファイルを提出すること。 (90分)
担当教員			
第7回	第12課 プライバシー 中国のプライバシー観念について説明する	学習予定部分 (p.54~59)を予習 すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業まで に音声ファイルを提出すること。 (90分)
担当教員			
第8回	第13課 曖昧な日本語 表現の仕方の違い	学習予定部分 (p.60~63)を予習 すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業まで に音声ファイルを提出すること。 (90分)
担当教員			
第9回	第15課 呼び方 中国では人に呼び掛ける時に、どのような呼び方をす るかについて説明する	学習予定部分 (p.68~71)を予習 すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業まで に音声ファイルを提出すること。 (90分)
担当教員			
第10回	第19課 他人行儀 南北の差異について説明する	学習予定部分 (p.84~87)を予習 すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業まで に音声ファイルを提出すること。 (90分)
担当教員			

第11回	第20課 スイカがショッパイ 果物の食べ方の違いについて説明する	学習予定部分 (p.88~91)を予習すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業までに音声ファイルを提出すること。(90分)
担当教員			
第12回	第21課 白い花 中国人の色に対するこだわり	学習予定部分 (p.92~95)を予習すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業までに音声ファイルを提出すること。(90分)
担当教員			
第13回	第23課 見送り 中国人のおもてなしについて紹介する	学習予定部分 (p.100~103)を予習すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業までに音声ファイルを提出すること。(90分)
担当教員			
第14回	第24課 縁起を担ぐ 「縁起の悪い」とされるもの	学習予定部分 (p.104~107)を予習すること(90分)	本文を朗読し、次回の授業までに音声ファイルを提出すること。(90分)
担当教員			
第15回	復習および小テスト	これまで学習した内容を復習すること。(90分)	小テストの内容を確認する。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験を行わない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	課題の完成度及び授業への参加度、授業態度(30%)＋ペアワーク(30%)＋小テスト(40%)	

その他	0	無断欠席は必ず減点要素とする。
教科書		
『マンが日中いぶこみ劇場』相原茂、費燕、蘇明編著 富田淳子作画 朝日出版社		
参考文献		
『実用現代漢語語法』劉月華など著 北京 商務印書館		
履修条件・留意事項等		
初級中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ(1年生後期)と総合中国語Ⅰ(2年生前期)のいずれの科目を履修したほうがよい。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		総合中国語Ⅳ				ナンバリング	3244
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	胡 慧君						
授業の位置づけ							
この授業は、中国語を媒介としたコミュニケーション能力を修得する科目である。世界と繋がるために、地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけ、グローバル社会の中で、世界の人々と共生、協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を備える。「総合中国語Ⅲ」と関連する科目である。							
授業の概要							
この授業は、「聞く、話す、読む、書く」の4要素の中で、「聞く、話す」に主眼をおく。2年間の専門教育で身につけた初級レベルのコミュニケーション能力、「会話と表現」のレベルアップした表現能力を身につけることができるようにする。総合的な中国語コミュニケーション能力をアップすることができるようになる。つまり、ただ単に読んで理解することができるだけでなく、目的や場面に合わせた聴力・会話能力を身に付ける。							
到達目標							
1.より多く単語や文法を習得し、より複雑な内容を表現できるようになる。 2.中国に関する特定のトピックについての情報を収集することができる。 3.より自然な中国語を話せるようになる。							
授業の方法							
原則として、教科書に沿って授業を行う。テキストの文章を参加者が各自で解読し、疑問、不明な点があれば授業時に解説する。スピーキング力をつけるために、グループ分けしてたくさんの会話を行い、一課ごとの課題に沿って中国語による発表を行う。リスニング力をつけるために、毎回教科書の内容をピックアップして、リスニングの確認を行い、中国語による表現力を確認するために、中国語で作文し、口述テストを行う。							
ICT活用							
公式ラインなどを使用して、スピーキング、ライティング練習課題を行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

スピーキングやライティング課題を確認し、発音のアドバイスをし、さらに2課ごとに小テストを行い、小テストについて解説する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス、前期の復習	前期の復習(合計の所要時間90分程度)	前期の復習、聞いた内容が理解できるようにすること。(合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第2回	第7課 問路	第7課の単語と文法を予習すること、付属のCDを聞き、読む練習、内容の翻訳をすること。(合計の所要時間90分程度)	第7課本文を音読し、付属のCDの単語を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。(合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第3回	第7課の練習問題、文章内容の確認、発展	文末の練習問題を完成すること。(合計の所要時間90分程度)	第7課付属のCD本文を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。(合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第4回	第8課 電話	第8課の単語と文法を予習すること、付属のCDを聞き、読む練習、内容の翻訳をすること。(合計の所要時間90分程度)	第8課本文を音読し、付属のCDの単語を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。(合計の所要時間90分程度)
担当教員			

第5回	第8課の練習問題、文章内容の確認、発展	文末の練習問題を完成すること。 (合計の所要時間90分程度)	第8課付属のCD本文を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。 (合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第6回	第9課 购物	第9課の単語と文法を予習すること、付属のCDを聞き、読む練習、内容の翻訳をすること。 (合計の所要時間90分程度)	第9課本文を音読し、付属のCDの単語を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。 (合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第7回	第9課の練習問題、文章内容の確認、発展	文末の練習問題を完成すること。 (合計の所要時間90分程度)	第9課付属のCD本文を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。 (合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第8回	第10課 饮食	第10課の単語と文法を予習すること、付属のCDを聞き、読む練習、内容の翻訳をすること。 (合計の所要時間90分程度)	第10課本文を音読し、付属のCDの単語を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。 (合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第9回	第10課の練習問題、文章内容の確認、発展	文末の練習問題を完成すること。 (合計の所要時間90分程度)	第10課付属のCD本文を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。 (合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第10回	第11課 健康	第11課の単語と文法を予習すること、付属のCDを聞き、読む練習、内容の翻訳をすること。 (合計の所要時間90分程度)	第11課本文を音読し、付属のCDの単語を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。 (合計の所要時間90分程度)
担当教員			

第11回	第11課の練習問題、文章内容の確認、発展	文末の練習問題を完成すること。 (合計の所要時間90分程度)	第11課付属のCD本文を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。(合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第12回	第12課 社会	第12課の単語と文法を予習すること、付属のCDを聞き、読む練習、内容の翻訳をすること。(合計の所要時間90分程度)	第12課本文を音読し、付属のCDの単語を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。(合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第13回	第12課の練習問題、文章内容の確認、発展	文末の練習問題を完成すること。 (合計の所要時間90分程度)	第12課付属のCD本文を聞き、聞いた内容が理解できるようにすること。(合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第14回	第7～12課 総復習と口述テスト	口述テストの作文を完成すること (合計の所要時間90分程度)	期末試験に備えて復習すること (合計の所要時間90分程度)
担当教員			
第15回	まとめおよび期末テスト	授業内でのリスニング練習に備え、付属のCD(第7～12課)を聞くこと。(合計の所要時間90分程度)	期末試験の見直し(合計の所要時間90分程度)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期テストは実施しません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	小テスト30%、口述テスト20%、期末テスト50%	

その他	0	
教科書		
『中文Jump!』人見 豊/李研 金星堂 2019年2月 ISBN978-4-7647-0678-1		
参考文献		
授業内で適宜指示		
履修条件・留意事項等		
授業中に行う解説をスムーズに進行するため、文法、語彙、本文などの予習をしてくること。無断欠席は必ず減点要素とする。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		中国語リスニング				ナンバリング	2247
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	胡 耀光						
授業の位置づけ							
実用的な会話とリスニング練習を通して中国語の「耳」と「口」を鍛え、場面に応じて、リスニングと会話を中心として自然に中国語で簡単なコミュニケーションを取るための科目である。グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働を可能とし、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につける科目であり、1年次の中国語科目の発展科目であるとともに、「中国語コミュニケーション」「中国語リーディング」「中国語ライティング」と関連する科目である。							
授業の概要							
この授業は、「話す、聴く、書く、読む」に代表される語学力の中で、「聴く」能力に的を絞り講義を進める。中国語を母語とする人々が話すことばを聞いて分かるようになるためには、色々な人々の語る色々な内容を正しく認識しなければならない。中国語を日本語に直して聴くのではなく、中国語をそのまま中国語で聴く練習を通して、「聴く」力の向上に努める。学習者は、中国人の思考方式に合わせて中国語が聴けるようになり、コミュニケーション能力を向上させることができ、スローなスピードで設定された場面において単純な会話を聞き取れるようになる。							
到達目標							
1. 正確で自然な発音と基本的な語彙および文法を身に付けること。 2. 旅とおもてなし等に役に立つ簡単な日常会話ができるようになること。 3. 中国語検定3級、HSK3レベルに達すること。							
授業の方法							
・テキストに沿って授業を進める。原則として、1課につき1.5～2回で学ぶ。 ・単語、本文の発音を学び、軽く文法の学習と練習問題。後は、ペアで発音の練習と応用会話練習を行う。 ・講義を通して、中国の文化や生活習慣などを紹介し、中国への理解と関心を高めていく。							
ICT活用							
必要に応じて、ICTを利用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

提出された課題についての解説を授業の前または後で行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	第一課【自我介绍】 1. 単語・本文の発音 2. ポイント(会話練習の形で)	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第2回	第一課【自我介绍】 3. 総合練習 4. ペアで会話練習	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第3回	第二課【上学】 1. 単語・本文の発音 2. ポイント(会話練習の形で)	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第4回	第二課【上学】 3. 総合練習 4. ペアで会話練習	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			

第5回	第三課【爱好】 1. 単語・本文の発音 2. ポイント(会話練習の形で)	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第6回	第三課【爱好】 3. 総合練習 4. ペアで会話練習	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第7回	中間テストおよび解説	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第8回	第四課【日程安排】 1. 単語・本文の発音 2. ポイント(会話練習の形で)	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第9回	第四課【日程安排】 3. 総合練習 4. ペアで会話練習	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第10回	第五課【点菜】 1. 単語・本文の発音 2. ポイント(会話練習の形で)	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			

第11回	第五課【点菜】 3. 総合練習 4. ペアで会話練習	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第12回	第六課【看病】 1. 単語・本文の発音 2. ポイント(会話練習の形で)	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第13回	第六課【看病】 3. 総合練習 4. ペアで会話練習	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第14回	総合会話	音声を利用して授業内容を予習すること。(90分)	音声を利用して授業内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第15回	期末テストおよび復習	音声を利用して授業全内容を予習すること。(180分)	なし
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内テスト(中間・期末テスト)60%程度、小テスト・会話・レポート・授業参加度 40%程度	

その他	0	
教科書		
話そう！実践中国語／宮本大輔・温琳／朝日出版社		
参考文献		
Why？にこたえる初めての中国語の文法書／相原茂・石原田知子・戸沼市子／同学社		
履修条件・留意事項等		
・出席・授業参観を重視する。 ・予習、復習、積極的に授業に取り込むこと。 ・質問がある場合、いつでも聞くこと。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		中国語入門Ⅲ(1組)				ナンバリング	1233
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	大沼 尚子						
授業の位置づけ							
中国語の特徴を理解し、全体像をつかめるようにする。「聞く、話す、読む、書く」能力を同時に身につけることで、中国語学習の基礎を築く。場面に即して簡単な受け答えをできるようにすることで、異文化を理解し、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけるとともに、国際交流に貢献できる人材を養成する。他の中国語科目と関連するとともに、前期科目「中国語入門Ⅰ」を承ける科目である。							
授業の概要							
この授業は、「中国語入門Ⅰ・Ⅱ」に連動し、引き続き発音の基礎と初歩的文法事項及び表現方法を学び、基礎的な「語法と表現」を使って日常場面でのコミュニケーションができるようにする。同時に発音習得に欠かせない、発音符号とピンインの読み方とその表記、さらに声調を結びつけ、中国語の発音表記について完全にマスターできるようにする。発音を完全にマスターすることで、中国語の基礎を固める。							
到達目標							
1.ピンイン・発音の習得、基本語彙・文法の習得。 2.基本的な中国語の運用ができる。 3.身近な日常生活の話題について簡単な交流ができ、初級中国語のレベル(準4級)に達する。							
授業の方法							
毎回必ず出席をとり、授業時に毎回何名かの学生に発音させたり、練習問題を書かせたりします。さらに各1～2回の授業で1課を終える進度でテキストを学んでいきます。たまには中国に関するビデオを見せます。小テストも行います。詳しいことはガイダンスの時に説明します。 予習:テキスト付属のCDを聞いてくる。教科書を読んでみて分らない単語を調べていく。説明が載っている文法の部分を読んでいく。 復習:その日の授業で習ったところの意味をよく考えながら音読しよう。ノートを見直そう。また、先生に積極的に質問していこう。小テストや定期考査前には、再度、復習する必要があるので取り組もう。							
ICT活用							
時間がある時にICを利用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

なし

課題に対するフィードバックの方法

提出された課題についての解説を授業の前また後で行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス 前期に習った内容の復習	中国語入門Ⅰの復習(90分)	中国語発音の復習と確認・第六課の予習(90分)
担当教員			
第2回	第六課 食事に行こう。	六課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第六課の会話と練習の予習(90分)
担当教員			
第3回	第六課 食に行こう(続き)。	単語・文法の予習(続き)(90分)	習った内容の復習・第七課の予習(90分)
担当教員			
第4回	第七課 運転ができますか。	七課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第七課の会話と練習の予習(90分)
担当教員			

第5回	第七課 運転ができます。(続き)	単語・文法の予習(続き)(90分)	習った内容の復習・第八課の予習(90分)
担当教員			
第6回	第八課 音楽を聴いています。	八課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第八課の会話と練習の予習(90分)
担当教員			
第7回	第八課 音楽を聴いています。(続き)	単語・文法の予習(続き)(90分)	六～八課内容の復習(90分)
担当教員			
第8回	中間試験及び復習	試験の復習(90分)	九課の予習(90分)
担当教員			
第9回	第九課 アルバイトに行きました。	九課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第九課の会話と練習の予習(90分)
担当教員			
第10回	第九課 アルバイトに行きました。(続き)	単語・文法の予習(続き)(90分)	習った内容の復習・第十課の予習(90分)
担当教員			

第11回	第十課 何の部活に入りましたか。	十課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第十課の会話と練習の予習(90分)
担当教員			
第12回	第十課 何の部活に入りましたか。(続き)・第十一課 少し頭痛がします。	十一課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第十一課の予習(90分)
担当教員			
第13回	第十一課 少し頭痛がします。(続き)	単語・文法の予習(続き)(90分)	口述試験の復習(90分)
担当教員			
第14回	口述試験及びまとめ	口述試験問題の復習(90分)	九～十一課 習った内容の復習(90分)
担当教員			
第15回	期末試験及びまとめ	総復習(180分)	なし
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	平常点は40%(出席10%、課題10%、口述試験20%)、授業中行う3回復習テストは40%。	

その他	0	出席と宿題を重視します。無断欠席は必ず減点要素になります。
教科書		
スリム版「表現する中国語」／楊凱榮・張麗群／白帝社		
参考文献		
Why? にこたえる初めての中国語の文法書／相原茂・石原田知子・戸沼市子／同学社		
履修条件・留意事項等		
予習: テキスト付属のCDを聞いてくる。教科書を読んでみてわからない単語を調べていく。説明が載っている文法の部分を読んでいく。 復習: その日の授業で習ったところの意味をよく考えながら音読しよう。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		中国語入門Ⅲ(2組)				ナンバリング	1233
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	云 肖梅						
授業の位置づけ							
中国語の特徴を理解し、全体像をつかめるようにする。「聞く、話す、読む、書く」能力を同時に身につけることで、中国語学習の基礎を築く。場面に即して簡単な受け答えをできるようにすることで、異文化を理解し、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけるとともに、国際交流に貢献できる人材を養成する。他の中国語科目と関連するとともに、前期科目「中国語入門Ⅰ」を承ける科目である。							
授業の概要							
この授業は、「中国語入門Ⅰ・Ⅱ」に連動し、引き続き発音の基礎と初歩的文法事項及び表現方法を学び、基礎的な「語法と表現」を使って日常場面でのコミュニケーションができるようにする。同時に発音習得に欠かせない、発音符号とピンインの読み方とその表記、さらに声調を結びつけ、中国語の発音表記について完全にマスターできるようにする。発音を完全にマスターすることで、中国語の基礎を固める。							
到達目標							
1.ピンイン・発音の習得、基本語彙・文法の習得。 2.基本的な中国語の運用ができる。 3.身近な日常生活の話題について簡単な交流ができ、初級中国語のレベル(準4級)に達する。							
授業の方法							
毎回必ず出席をとり、授業時に毎回何名かの学生に発音させたり、練習問題を書かせたりします。さらに各1～2回の授業で1課を終える進度でテキストを学んでいきます。たまには中国に関するビデオを見せます。小テストも行います。詳しいことはガイダンスの時に説明します。 予習:テキスト付属のCDを聞いてくる。教科書を読んでみて分らない単語を調べていく。説明が載っている文法の部分を読んでいく。 復習:その日の授業で習ったところの意味をよく考えながら音読しよう。ノートを見直そう。また、先生に積極的に質問していこう。小テストや定期考査前には、再度、復習する必要があるので取り組もう。							
ICT活用							
時間がある時にICを利用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

なし

課題に対するフィードバックの方法

提出された課題についての解説を授業の前また後で行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス 前期に習った内容の復習	中国語入門Ⅰの復習(90分)	中国語発音の復習と確認・第六課の予習(90分)
担当教員			
第2回	第六課 食事に行こう。	六課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第六課の会話と練習の予習(90分)
担当教員			
第3回	第六課 食に行こう(続き)。	単語・文法の予習(続き)(90分)	習った内容の復習・第七課の予習(90分)
担当教員			
第4回	第七課 運転ができますか。	七課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第七課の会話と練習の予習(90分)
担当教員			

第5回	第七課 運転ができます。(続き)	単語・文法の予習(続き)(90分)	習った内容の復習・第八課の予習(90分)
担当教員			
第6回	第八課 音楽を聴いています。	八課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第八課の会話と練習の予習(90分)
担当教員			
第7回	第八課 音楽を聴いています。(続き)	単語・文法の予習(続き)(90分)	六～八課内容の復習(90分)
担当教員			
第8回	中間試験及び復習	試験の復習(90分)	九課の予習(90分)
担当教員			
第9回	第九課 アルバイトに行きました。	九課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第九課の会話と練習の予習(90分)
担当教員			
第10回	第九課 アルバイトに行きました。(続き)	単語・文法の予習(続き)(90分)	習った内容の復習・第十課の予習(90分)
担当教員			

第11回	第十課 何の部活に入りましたか。	十課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第十課の会話と練習の予習(90分)
担当教員			
第12回	第十課 何の部活に入りましたか。(続き)・第十一課 少し頭痛がします。	十一課の単語・文法の予習(90分)	習った内容の復習・第十一課の予習(90分)
担当教員			
第13回	第十一課 少し頭痛がします。(続き)	単語・文法の予習(続き)(90分)	口述試験の復習(90分)
担当教員			
第14回	口述試験及びまとめ	口述試験問題の復習(90分)	九～十一課 習った内容の復習(90分)
担当教員			
第15回	期末試験及びまとめ	総復習(180分)	なし
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	平常点は40%(出席10%、課題10%、口述試験20%)、授業中行う3回復習テストは60%。	

その他	0	出席と宿題を重視します。無断欠席は必ず減点要素になります。
教科書		
スリム版「表現する中国語」／楊凱榮・張麗群／白帝社		
参考文献		
Why? にこたえる初めての中国語の文法書／相原茂・石原田知子・戸沼市子／同学社		
履修条件・留意事項等		
予習: テキスト付属のCDを聞いてくる。教科書を読んでみてわからない単語を調べていく。説明が載っている文法の部分を読んでいく。復習: その日の授業で習ったところの意味をよく考えながら音読しよう。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 共通外国語					
科目名		朝鮮語Ⅱ				ナンバリング	3272
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	朴 権浩、朴 権浩						
授業の位置づけ							
この科目は世界各地の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけるとともに、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につける科目である。3年次前期科目「朝鮮語Ⅰ」の発展科目である。							
授業の概要							
この授業は「朝鮮語Ⅰ」に続き、初級レベルの朝鮮語を総合的に学ぶ。ハングル文字表記に慣れ、その音韻体系と基本的な音韻規則を理解し、朝鮮語の基本文法や語句を使って、日常生活における出来事や考えを簡単に表現できるようになる。韓国からの観光客へのおもてなし表現や、韓国旅行で役に立つトラベルフレーズなど、実践的な朝鮮語コミュニケーションを基本文型で表現できるようになることを目指す。							
到達目標							
朝鮮語の基礎文法の学習を通じた基本的な文書の読解と作文能力を身につける。 大きい声で練習することによって発音の規則に習熟し、また多様な場面での会話の練習を通じて状況に応じた基本的なコミュニケーションと日常の会話の能力を身につける。 ハングル能力試験4～5級合格程度の能力を身につける。							
授業の方法							
授業は、前期に学習した正確な読み書きと基本会話を基礎にして朝鮮語の基礎的な文法や文型を会話を通じて学んでいく。学生一人ひとりの学習レベルと状況にあわせた実践の会話練習を通じて全員が積極的にまた楽しく朝鮮語を学んでいくことができるように指導する。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

課題の提出方法、フィードバック方法については、授業開始時に具体的に提示する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	前期の朝鮮語Ⅰの総括復習 ①子音と母音、パッチムの発音 ②～ます、です形と否定文など	朝鮮語Ⅰの総括的な復習をする。(90分)	朝鮮語Ⅰの総括的な復習をする。(90分)
担当教員			
第2回	用言(動詞、形容詞)の活用①:グループⅠの表現の活用 ~고, ~고 싶어요, ~지요?, ~지만などの活用方法	用言(動詞、形容詞)の活用:グループⅠの表現の活用方法を事前に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
第3回	用言(動詞、形容詞)の活用①:グループⅠの表現の活用 ~고, ~고 싶어요, ~지요?, ~지만などの活用方法	用言(動詞、形容詞)の活用:グループⅠの表現の活用方法を事前に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
第4回	用言(動詞、形容詞)の活用②:グループⅡの表現の活用 ~(으)면, ~(으)니까, ~(으)세요, ~(으)니까요?, ~(으)버시다, ~(으)를 수 있어요/없어요, ~(으)ㄴ 적이 있어요/없어요などの活用方法	用言(動詞、形容詞)の活用:グループⅡの表現の活用方法を事前に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			

第5回	用言(動詞、形容詞)の活用②:グループⅡの表現の活用 ~(으)면, ~(으)니까, ~(으)세요, ~(으)니까요?, ~(으)십시오, ~(으)를 수 있어요/없어요, ~(으)ㄴ 적이 있어요/없어요などの活用方法	用言(動詞、形容詞)の活用:グループⅡの表現の活用方法を事前に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
第6回	用言(動詞、形容詞)の活用②:グループⅡの表現の活用 ~(으)면, ~(으)니까, ~(으)세요, ~(으)니까요?, ~(으)십시오, ~(으)를 수 있어요/없어요, ~(으)ㄴ 적이 있어요/없어요などの活用方法	用言(動詞、形容詞)の活用:グループⅡの表現の活用方法を事前に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
第7回	用言(動詞、形容詞)の活用②:グループⅡの表現の活用 ~(으)면, ~(으)니까, ~(으)세요, ~(으)니까요?, ~(으)십시오, ~(으)를 수 있어요/없어요, ~(으)ㄴ 적이 있어요/없어요などの活用方法	用言(動詞、形容詞)の活用:グループⅡの表現の活用方法を事前に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
第8回	用言(動詞、形容詞)の活用③:グループⅢの表現の活用 ~아/어요, ~아/어서, ~아/어도, ~아/어야, ~아/어 주다, ~아/어 보다, ~아/어 보이다などの活用方法	用言(動詞、形容詞)の活用:グループⅢの表現の活用方法を事前に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
第9回	用言(動詞、形容詞)の活用③:グループⅢの表現の活用 ~아/어요, ~아/어서, ~아/어도, ~아/어야, ~아/어 주다, ~아/어 보다, ~아/어 보이다などの活用方法	用言(動詞、形容詞)の活用:グループⅢの表現の活用方法を事前に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
第10回	用言(動詞、形容詞)の活用③:グループⅢの表現の活用 ~아/어요, ~아/어서, ~아/어도, ~아/어야, ~아/어 주다, ~아/어 보다, ~아/어 보이다などの活用方法	用言(動詞、形容詞)の活用:グループⅢの表現の活用方法を事前に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			

第11回	用言(動詞、形容詞)の活用④:連体形の活用 ー動詞の過去、現在、未来の連体形活用:(㉟)ㇿ+名詞, ㇿ+名詞, (㉟)ㇿ+名詞	動詞の過去、現在、未来の連体 形活用:(㉟)ㇿ+名詞, ㇿ+名詞, (㉟)ㇿ+名詞の連体形の活用方 法を事前に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
第12回	用言(動詞、形容詞)の活用④:連体形の活用 ー形容詞の連体形活用:(㉟)ㇿ+名詞	形容詞の連体形活用:(㉟)ㇿ +名詞の連体形の活用方法を事 前に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
第13回	用言(動詞、形容詞)の活用⑤:不規則活用 ー母音の不規則活用:㉟不規則と ㇿ不規則	母音の不規則活用:㉟不規則と ㇿ不規則の活用方法を事前に 把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
第14回	用言(動詞、形容詞)の活用⑤:不規則活用 ーパッチム不規則活用:ㇿパッチム不規則活用、ㇿパッチ ム不規則活用、ㇿパッチム不規則活用、ㇿパッチム不規則 活用、ㇿパッチム不規則活用	パッチムの不規則活用:ㇿパッ チム不規則活用、ㇿパッチム不 規則活用、ㇿパッチム不規則活 用、ㇿパッチム不規則活用、ㇿ パッチム不規則活用方法を事前 に把握する。(90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
第15回	用言(動詞、形容詞)の活用⑤:不規則活用 ーパッチムの不規則活用:ㇿパッチム不規則活用、ㇿパッ チム不規則活用、ㇿパッチム不規則活用、ㇿパッチム不規則 活用、ㇿパッチム不規則活用	パッチムの不規則活用:ㇿパッ チム不規則活用、ㇿパッチム不 規則活用、ㇿパッチム不規則活 用、ㇿパッチム不規則活用、ㇿ パッチム不規則活用を把握する (90分)	当日の内容を復習する。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・ 参加度・出席態度等)	100	授業中に小テストの実施、また課題提出や発表などの参加度を総合的に評価する。	

その他	0	
教科書		
(『できる韓国語 初級 II (新装版)』/ 李志暎 / アスク)		
参考文献		
なし		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 北海道スタディーズ					
科目名		ニセコ国際研修				ナンバリング	1510
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	実習	単位	2
担当教員	小山田 健、小西 正人、岡本 佐智子、高橋 保夫、魯 諍、Joseph S Tomasine、Todd Robert Enslen						
授業の位置づけ							
就業体験をとおして、国際的な感覚や社会人として必要な知識やスキルを身につける。その過程で、自己に足りない弱みや強みを自覚し、2年時以降に向けた新たな目標設定を行う機会とする。また、これまで各授業で学んだ知識やスキルを、実践の場で活用していく。そのことで、世界と地域の視点から、自然環境、社会、文化、歴史等についての専門知識を身につける。北海道、日本及び世界諸地域の課題に対応できる情報処理や分析能力、論理的・批判的な思考や判断をする能力を身につける。世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚も身につける。							
授業の概要							
この研修は、国際リゾート地として有名なニセコをはじめ、ルスツ、キロロなど、外国人観光客や外国人居住者が多い北海道の国際化推進地域において、インターンシップと国際交流、そして地域交流などを融合させた、異文化体験や地域社会の多様性の理解を促進するものである。国内での研修ではあるが、研修内容は多言語・多国籍の人々と英語をリンガフランカとして用いることから国際研修と称する。身近な地域にある北海道と世界のつながりや、北海道の新しい社会的多様性に触れながら、体験型の学びを行うことを目的としている科目である。							
到達目標							
・実際の就業の現場を知り、働くとはどういうことなのかを討議できるようになる。 ・社会人として必要な責任感やビジネスマナーを実践をとおして身につける。 ・これまで習得してきた語学などの様々な知識などを、実践の場で使用できるようになる。 ・研修する地域の現状と課題について討議できるようになる。 ・研修やグループワークを通じ、多様な価値を受け止め、他者を理解する力を身につける。また、自己に足りない弱みや強みを自覚し、2年時以降に向けた新たな目標設定が出来るようになる。							
授業の方法							
「オリエンテーション」「事前研修」「実施研修／インターンシップ(フィールドワークや地域交流なども含む)」「事後研修」の4方式で行う。							
ICT活用							
Google classroomを活用し、事前事後の報告・連絡や、課題の出題・回収等を行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

課題に対するフィードバックの方法

各回に、全体での振り返り、グループでの振り返り、グーグルクラスルームなどでの振り返りなどを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	[オリエンテーション] ・ニセコ国際研修について ・受入エリアについて ・受入先について	インターンシップとは、何を学ぶために行うのかを各自が考え調べておくこと(90分)	研修を希望する受入先を検討し、指定する期日までに提出すること。提出の際は、その受入先を、なぜ希望するのかの理由も書いてもらう。(90分)
担当教員			
第2回	[オリエンテーションⅡ] ・受入先について ・今後のチーム編成発表 ・チーム面談 →コロナ禍のため、受入先やチーム編成は、決定後も変更になる場合も有り。また、面談は、複数の日付にわけて行う場合も有り。	実施研修をとおり、自分が受入先から怒られるかもしれないことや、褒められるかもしれないことを想像し、書き出しておくこと(90分)	決定した受入先と、そのエリアについて調べておくこと(90分)
担当教員			
第3回	[事前研修Ⅰ] ～受入先、受入先エリア、社会人に必要な能力について理解する①～ ・受入先について ・受入先のエリアについて ・社会人に必要な知識について ・その他 →編成したチームメンバーの一人一人に各役割を与え、こちらが与えるテーマについて調べてもらう。そのテーマを、他のチームメンバーにも共有した上でブラッシュアップし、まとめたことを発表する。	チームで活動にするにあたって、自分が取るべき行動で重要だと思うことを書き出しておくこと。また、チームでの活動の意欲を低減させたり迷惑をかける行為について、考えられることも、書き出しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し、まとめること(90分)
担当教員			
第4回	[事前研修Ⅱ] ～受入先、受入先エリア、社会人に必要な能力について理解する②～ ・受入先について ・受入先のエリアについて ・社会人に必要な知識について ・その他 →事前研修Ⅰのブラッシュアップ →事前研修Ⅱでは、受入先の方に、事前のレクチャーを行っていただく予定。ただし、コロナ禍であるため、日程や順序等が変更する場合も有り。	学生と社会人の違いについて、考えられることの全てを書き出しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し、まとめること(90分)
担当教員			

第5回	[事前研修Ⅲ] ～何を学びに行くのかを明確にする～ ・実施研修(インターンシップ)に向けた目標の設定 ・研修についての最終説明 →「学びたいこと」「身につけたいこと」「伸ばしたい能力」について目標の設定を行う。	実施研修(インターンシップ)で、自分が何を学びたいのかを考え抜いておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			
第6回	[実施研修／インターンシップ] 1日目／移動、実施研修準備 2日目／実施研修 *詳しい内容については、オリエンテーション時に報告する。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			
第7回	[実施研修／インターンシップ] 3日目／実施研修 4日目／実施研修 *詳しい内容については、オリエンテーション時に報告する。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			
第8回	[実施研修／インターンシップ] 5日目／実施研修・地域交流 *地域交流については日程が前後する場合があります 6日目／実施研修・グループワーク *詳しい内容については、オリエンテーション時に報告する。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			
第9回	[実施研修／インターンシップ] 7日目／休 8日目／実施研修 *詳しい内容については、オリエンテーション時に報告する。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			
第10回	[実施研修／インターンシップ] 9日目／実施研修 10日目／実施研修 *詳しい内容については、オリエンテーション時に報告する。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			

第11回	[実施研修／インターンシップ] 11日目／実施研修 12日目／休(個人ワーク) *詳しい内容については、オリエンテーション時に報告する。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			
第12回	[実施研修／インターンシップ] 13日目／実施研修 14日目／実施研修終了、移動 *詳しい内容については、オリエンテーション時に報告する。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			
第13回	[事後研修Ⅰ] ～チームでのグループワーク～ ・地域課題の解決法についてのグループワーク →事後研修Ⅲの発表の準備。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			
第14回	[事後研修Ⅱ] ～チームでのグループワーク～ ・地域課題の解決法についてのグループワーク →事後研修Ⅲの発表の準備。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			
第15回	[事後研修Ⅲ] ～チーム及び個人の発表、最終レポート～ ・地域課題の解決法についての発表／チーム →プレゼンテーションと講評。 ・研修の報告とこれまでの振り返り／個人 →一人一人に最終報告をプレゼンテーションいただく。方法については、事後研修Ⅰの際に伝える。 ・最終レポートの作成と提出／個人 →内容については当日伝える。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	80	実習態度、実習日誌、実習報告書、報告会発表、受入先企業等からの評価などにより総合的に評価する。	

その他	20	最終レポート(レポートのテーマについては、当日伝える)
教科書		
なし。		
参考文献		
なし。		
履修条件・留意事項等		
「インターンシップ研修」の際に、受入先などへ迷惑をかける行為を行った場合は、途中であっても帰宅させ、受講の取り消しをする場合がある。 また、「事前研修」「インターンシップ研修(フィールドワークや地域交流など)」「事後発表会」において、チームメンバーへ迷惑をかける行為を行った場合も同様である。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 北海道スタディーズ					
科目名		地域連携プロジェクト				ナンバリング	3550
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	渡部 俊弘、小山田 健、宮本 融						
授業の位置づけ							
本科目は、ディプロマポリシー「世界と地域の視点から、自然環境、社会、文化、歴史等についての高度な専門知識を見つけている(知識・技能)」「北海道、日本及び世界諸地域の課題に対応できる情報処理や分析の能力、論理的・批判的な思考や判断をする能力を身につけている(思考・判断・表現)」「グローバル社会の中で、世界の人びとと共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を身につけている(関心・意欲・態度)」世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけている(関心・意欲・態度)」等に関連する科目である。							
授業の概要							
この授業は、地域連携の基本的な考え方を理解する。一方で、地域連携プロジェクトに参画、体験的な学習を行い、現場での知識も会得する。実際は、本学がある恵庭市と連携し、地域の活性化に貢献すべく、学生が地域の課題について取り組み、活力ある地域のまちづくりに参加していくものである。花のまち・恵庭市が推進する「ガーデンシティ」を支援する花いっぱい運動への学生の参加、市内小中学校へ留学生を派遣しての国際交流機会の提供(TAの派遣)、地域コミュニティーラジオでの学生番組の企画・制作・運営・ハロウィン・ナイトの企画・参加(商工会議所との共催)など、本学はこれまで恵庭市と様々な形で連携してきた。今度は、周辺地域との連携も視野に、隣接の千歳市との連携、千歳駅前商店街の活性化における事業企画の立案・企画・運営を通してまちづくり活動に参画することで、地元意識の醸成、愛着を持てる地域づくりを図っていく。							
到達目標							
・世界と地域の視点から、自然環境、社会、文化、歴史等を把握した上で分析を行い、与えられたテーマに対し、課題解決の提案が行えるようになる。 ・地域の課題を自らで考え(問いを考える)、その解決の提案が行えるようになる。 ・他者(他学生、地域の皆様、外部の関係者様等)を理解し協働しながら、コミュニケーション能力を高めていく。 ・社会人として必要な責任感やビジネスマナーを実践をとおして身につける。 ・これまでの科目で習得してきた知識などを、実践の場で使用できるようになる。 ・研修する地域の現状と課題について討議できるようにする。							
授業の方法							
講義+「プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の形式で行っていく。 *コロナ禍であるため、日々の状況を見ながら、座学を中心とした構成へ変更する場合も有る。							
ICT活用							
Google classroomを活用し、事前事後の報告・連絡や、課題の出題・回収等を行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

通商産業省(現・経済産業省)職員として、地球環境問題をはじめとする条約交渉やWTOを中心とする通商交渉、エネルギー政策や貿易保険といった政策分野において担当した教員や、民間企業等で観光まちづくりに20年以上関わってきたものが担当する。

課題に対するフィードバックの方法

各回に、全体での振り返り、グループでの振り返り、ゲーグルクラスルームなどでの振り返りなどを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	[オリエンテーション] ・科目内容について	恵庭駅前商店街と千歳駅前商店街について調べておくこと(90分)	フィールドワークを行い、恵庭駅前商店街の課題を見つけ出すこと(90分)
担当教員			
第2回	[プロジェクト演習 I] アイスブレイク、チームビルディング、 演習課題①(個人ワーク、グループワーク)	チームビルディングを円滑に進めるために重要なことを調べ、400字以内にまとめておくこと(90分)	本日、グループワーク行った内容を整理し、復習しておくこと。また、与えられた課題(またはチームでの課題)について考えておくこと(90分)
担当教員			
第3回	[プロジェクト演習 I /AL(アクティブラーニング)型演習] アイスブレイク、チームビルディング 演習課題②(個人ワーク、グループワーク)	与えられた課題(またはチームでの課題)について考えておくこと(90分)	本日、グループワーク行った内容を整理し、復習しておくこと。また、与えられた課題(またはチームでの課題)について考えておくこと
担当教員			
第4回	[プロジェクト演習 I /AL型演習] アイスブレイク、チームビルディング 演習課題③(個人ワーク、グループワーク)	与えられた課題(またはチームでの課題)について考えておくこと(90分)	本日、グループワーク行った内容を整理し、復習しておくこと。また、与えられた課題(またはチームでの課題)について考えておくこと
担当教員			

第5回	[プロジェクト演習Ⅱ／PBL型演習 (Project Based Learning)] 個人ワーク、グループワーク(チームと役割の決定) *与えられたテーマに対して取り組む	千歳駅前商店街について、インターネットやフィールドワークなどを行い、どのような特色があるのかを調べておくこと(90分) *準備課題については、変更の場合もあります	本日グループで話した内容をまとめ、整理しておくこと。また、グループで当たられた役割を行っておくこと(90分)
担当教員			
第6回	[プロジェクト演習Ⅱ／PBL型演習] グループワーク(フィールドワーク)	グループで当たられた役割を行っておくこと(90分)	グループで話した内容をまとめ、整理しておくこと。また、グループで当たられた役割を行っておくこと(90分)
担当教員			
第7回	[プロジェクト演習Ⅱ／PBL型] グループワーク(プレゼンテーション準備)	グループで当たられた役割を行っておくこと(90分)	グループで当たられた役割を行っておくこと(90分)
担当教員			
第8回	[プロジェクト演習Ⅱ／PBL型] プレゼンテーション・振り返り講義	グループで当たられた役割を行っておくこと(90分)	本日の振り返りを、各自で整理しておくこと。(90分)
担当教員			
第9回	[プロジェクト演習Ⅲ／PBL型演習 (Project Based Learning)] 個人ワーク、グループワーク(チームと役割の決定) *グループで問いを探し、その課題解決に向けて取り組む (内容は、変更になる場合もあります)	恵庭駅前と千歳駅前を比較し、それぞれの強み・弱みを分析しておくこと(90分) *内容は変更する場合もあります	本日グループで話した内容をまとめ、整理しておくこと。また、グループで当たられた役割を行っておくこと(90分)
担当教員			
第10回	[プロジェクト演習Ⅲ／PBL型演習] グループワーク(フィールドワーク)	グループで当たられた役割を行っておくこと(90分)	本日グループで話した内容をまとめ、整理しておくこと。また、グループで当たられた役割を行っておくこと(90分)
担当教員			

第11回	[プロジェクト演習Ⅲ／PBL型演習] グループワーク(フィールドワーク)	グループで当たられた役割を行 っておくこと(90分)	本日グループで話した内容をま とめ、整理しておくこと。また、グ ループで当たられた役割を行っ ておくこと(90分)
担当教員			
第12回	[プロジェクト演習Ⅲ／PBL型演習] グループワーク(フィールドワーク)	グループで当たられた役割を行 っておくこと(90分)	本日グループで話した内容をま とめ、整理しておくこと。また、グ ループで当たられた役割を行っ ておくこと(90分)
担当教員			
第13回	[プロジェクト演習Ⅲ／PBL型] グループワーク(プレゼンテーション準備)	グループで当たられた役割を行 っておくこと(90分)	グループで当たられた役割を行 っておくこと(90分)
担当教員			
第14回	[プロジェクト演習Ⅲ／PBL型] プレゼンテーション・振り返り講義	グループで当たられた役割を行 っておくこと(90分)	本日の振り返りを、各自で整理 しておくこと。(90分)
担当教員			
第15回	[最終レポートの作成] これまでの授業を踏まえた最終レポートを行っていただきま す。 内容については、当日発表します。	これまで取り組んできたことを整 理しておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習し まとめておくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・ 参加度・出席態度等)	80	演習(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)の他者評価(グループメンバーや教員、学外権威者など)や各種レポート・プ レゼンテーションなどから、総合的に評価を行っていく	

その他	20	最終レポート(レポートのテーマについては、当日伝える)
教科書		
なし		
参考文献		
なし		
履修条件・留意事項等		
グループでの活動を主体とした学外学修のため、これまでの各科目で欠席が多い学生は、面談等を行います。また、外部関係者などへ迷惑をかける行為を行った場合(チーム活動の無断欠席なども含む)は、履修を中止させ、D判定とする場合もありますので、予めご了承ください。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		学部共通科目 北海道スタディーズ					
科目名		北海道の社会と文化(多文化共生)				ナンバリング	2540
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	小山田 健、小山田 健						
授業の位置づけ							
世界と地域の視点から、自然環境、社会、文化、歴史等についての専門知識を身につける。北海道、日本及び世界諸地域の課題に対応できる情報処理や分析能力、論理的・批判的な思考や判断をする能力を身につける。世界各地域の活性化につながるための異文化コミュニケーション能力を身につける。グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を備える。世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚も身につける。							
授業の概要							
この授業は、北海道の歴史を再認識し、アイヌや外国人移住者も含めた多様な人々が安心して暮らせる地域社会の実現には何が必要か、これからの多文化共生社会のありかたを考えていく。ここでいう多文化共生とは、言語や民族、肌の色、背が高いか低い、左利きか、右利きか、男か女か、障がいの有無、宗教、出身、学歴、収入、家族形態、年齢など、皆異なっていることを優劣の価値観や偏見としてみるのではなく、個性としてとらえていく。授業では、ウポポイ(民族共生象徴空間)や北海道の歴史博物館の見学も行う。そこから、地域社会がみなで持続的に共生していくための意識化をはかる。							
到達目標							
1.共生社会とは何かを述べることができるようになる。 2.自らが積極的に学習を進め、北海道のこれまでの歴史が説明できるようになる。 3.前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力を、これまで以上に向上させる。 4.これからの多文化共生のありかたについて述べるができるようになる。 (2年次の配当科目であるため、各授業ごとに、事前・事後の課題を出します。事前・事後課題の提出が守れない場合は、この授業の到達目標に達することができないと判断し、成績を評価していきます)							
授業の方法							
パワーポイントと配布資料などを使用し講義を進める。また、授業ごとに編成するチームでのグループワークやプレゼンテーションなども行っていく。							
ICT活用							
Google classroomを活用し、事前事後の報告・連絡や、課題の出題・回収等を行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

観光や広告業界で約20年間の実務経験があり、ビジネス実務についての幅広い知識を有している。この経験を活かして、学術的な視点だけでなく、ビジネスの場における実践的内容の指導も行う。

課題に対するフィードバックの方法

各回に、全体での振り返り、グループでの振り返り、グループクラスルームなどでの振り返りなどを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション(授業の進め方) この講義における授業の進め方・評価の方法・習得できる内容が理解できるようになる。	共生社会とは何かを調べまとめること(90分)	北海道と本州の時代区分について調べ整理しておくこと(90分)
担当教員			
第2回	北海道の歴史Ⅰ →北海道の歴史を把握し、他地域との違いや、独自の資源や価値を理解する。 →問いに対しての「個人ワーク」と「グループワーク」を行っていただく。	北海道の旧石器時代、縄文時代について、掘り下げて調べまとめること(90分)	授業内容を復習しまとめること(90分)
担当教員			
第3回	北海道の歴史Ⅱ →アイヌ語地名の場所を理解する。 →問いに対しての「個人ワーク」と「グループワーク」を行う。	北海道の各市町村(大学のある恵庭及び近郊と地元*北海道の場合)の地名の由来を調べてまとめること(90分)	授業内容を復習しまとめること(90分)
担当教員			
第4回	北海道の歴史Ⅲ →アイヌ文化や歴史の基礎知識を理解する。アイヌ文化を体験し、生活文化に触れるための関連施設について把握する。 →問いに対しての「個人ワーク」と「グループワーク」を行う。	アイヌの文化と歴史について調べまとめること(90分)	これまでの講義を振り返り、博物館見学において、「個人」で調べおきたい内容を最低3つ考え、まとめること(90分)
担当教員			

第5回	北海道歴史博物館(予定)の見学Ⅰ →11月(予定)／第3ターム ・個人で調べたい情報について考える ・グループで調べたい情報を共有する	博物館の施設内容について調べ、まとめておくこと。(90分)	これまでの講義を振り返り、博物館見学において、「個人」で調べておきたい内容を最低3つ考え、まとめておくこと(90分)
担当教員			
第6回	北海道歴史博物館(予定)の見学Ⅱ →11月(予定)／第3ターム ・個人で調べたい情報を探る ・グループで調べたい情報を探る	博物館の体験プログラムやイベント等について調べ、まとめておくこと。(90分)	見学後、「グループ」で調べた内容のメモや資料を、個々人で整理しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第7回	北海道歴史博物館(予定)の見学Ⅲ →11月(予定)／第3ターム ・地域資源カード作成(メモを取りながら行動する)	博物館ができるまでの経緯を調べまとめておくこと。(90分)	「地域資源カード」に記入しなければならない詳細な事項を調べ書き込むこと(90分)
担当教員			
第8回	分析と把握Ⅰ／グループミーティング 先住民族博物館「ウポポイ」について ・地域資源カードの作成 (情報の数と質を高めていく) ・地域資源カードを使った情報の把握 (博物館の見学から、得られた情報についてまとめていく)	ウポポイ(民族共生象徴空間)の近隣にあるモノを調べまとめておくこと(90分)	見学後、「個人」で調べた最低3つの内容のメモや資料をまとめておくこと(90分)
担当教員			
第9回	分析と把握Ⅱ／グループ発表及びレポート作成 ・得られた情報についての発表 ・レポート作成(テーマは当日発表)	プレゼンテーションの資料や発表までの準備をしておくこと(90分)	これまでの講義を振り返り、博物館見学において、「個人」で調べておきたい内容を最低3つ考え、まとめておくこと(90分)
担当教員			
第10回	ウポポイ(民族共生象徴空間)の見学Ⅰ →12(予定)／第4ターム ・アイヌ文化を体験し、生活文化に触れる ・個人で調べたい情報について考える ・グループで調べたい情報を共有する	ウポポイ(民族共生象徴空間)の施設内容について調べ、まとめておくこと。(90分)	見学後、「個人」で調べた最低3つの内容のメモや資料をまとめておくこと(90分)
担当教員			

第11回	ウポポイ(民族共生象徴空間)の見学Ⅱ →12月(予定)／第4ターム ・個人で調べたい情報を探る ・グループで調べたい情報を探る	ウポポイ(民族共生象徴空間)の体験プログラムやイベント等]について調べ、まとめておくこと。(90分)	見学後、「グループ」で調べた内容のメモや資料を、個々人で整理しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第12回	ウポポイ(民族共生象徴空間)の見学Ⅲ →12月(予定)／第4ターム ・地域資源カード作成(メモを取りながら行動する)	ウポポイ(民族共生象徴空間)ができるまでの経緯を調べまとめておくこと。(90分)	見学後、個人で「地域資源カード」の作成を行うこと(90分)
担当教員			
第13回	分析と把握Ⅲ／グループミーティング 北海道博物館(予定)について ・地域資源カードの作成(情報の数と質を高めていく) ・地域資源カードを使った情報の把握(博物館の見学から、得られた情報についてまとめていく)	博物館の近隣にあるモノを調べまとめておくこと(90分)	「地域資源カード」に記入しなければならない詳細な事項を調べ書き込むこと(90分)
担当教員			
第14回	分析と把握Ⅳ／グループ発表及びレポート作成 ・得られた情報についての発表 ・レポート作成(テーマは当日発表)	プレゼンテーションの資料や発表までの準備をしておくこと(90分)	各チームが発表された内容を振り返りまとめておくこと(90分)
担当教員			
第15回	グローバリゼーションと多文化共生 →多文化共生について理解する。 これまでの振り返りと最終レポート →最終レポート提出(テーマは当日発表)	グローバリゼーションについて、400字以内にまとめておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	準備学習の状況、授業態度、授業意欲、グループディスカッション、各授業内でのレポート、プレゼンテーション、事後学習の状況	

その他	30	最終レポート(これまでの授業の理解度を確認。レポートのテーマについては、最終授業日に伝える)
教科書		
なし		
参考文献		
授業ごとに紹介していく		
履修条件・留意事項等		
留意事項等 北海道博物館(5-7)と、ウポポイ*民族共生象徴空間(10-12)の見学は、各日付(日程・検討中)の1講～5講(1講と5講はバス移動)まで行う。よって、見学日の授業については、科目担当の教員の同意を得て出席を行うこと。また、その科目を欠席した場合の代替は、各先生方にレポート等に対応をいただくこと。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		English Linguistics				ナンバリング	3624
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Richardson Peter						
授業の位置づけ							
学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力を身につけている。(知識・技能) 北海道、日本及び世界諸地域の課題に対応できる情報処理や分析の能力、論理的・批判的な思考や判断をする能力を身につけている。(思考・判断・表現)							
授業の概要							
この授業では、日常の言語使用において必ずしも気が付かない、規則体系としての言語の内部世界に学生を導く。学生みずから言語データを観察し、分析することによって、その背後にある原理を考える。言語の科学的な研究とはどのようなものであるかを体験する。先行研究の主張を断片的に理解するだけでなく、なぜそのような主張ができたのか、その主張を取り入れた場合どのような帰結が得られるのかまで考える。人間言語がどのようなものなのかの理解を深める。							
到達目標							
この授業のテーマはどのように実際の文法知識は発達するのかということ、言語学のいくつかの主要な考え、音声学の研究である。到達目標は学生たちが英語のみの環境でこれらテーマを実際に使えるようになることである。							
授業の方法							
The aim of this class is to equip students with the skills necessary to understand and express complex ideas about the English language, while being able to critically evaluate the ideas of others.							
ICT活用							
Students will be expected to use Google Classroom to study lesson content before each class and review content after the class. Students will also be expected to do their own research using online resources.							
実務経験のある教員の教育内容							

none

課題に対するフィードバックの方法

All tests will be graded during the course and the results shown to students. Feedback will be provided on how to improve presentation and test scores.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	授業のテーマ及び到達目標に親しみ、この授業で使われる対話的教授方法に一連の活動を通して慣れる。	Read the syllabus and note down any questions you want to ask. 90分	Review the content of the syllabus and reflect on the themes and goals. 90 分
担当教員			
第2回	動物のコミュニケーションと霊長類に身振り言語を教えた人間の歴史に焦点を当てる。文法という概念に関して動物のコミュニケーションと人間の言語の違いに関して議論する。	Study the course content for week 2 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第3回	文法、語彙、機能、スタイルに関して、話しことばと書きことばの違いを調べる。	Study the course content for week 3 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第4回	発音記号を学び練習する。そして音声学を使うことによって学生のスピーキング力とリスニング力を伸ばすことができるかどうかを調べる。	Study the course content for week 4 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			

第5回	アメリカ英語とイギリス英語の違いを使って、音声学を実際の授業で活用してみる。加えて、アメリカ英語とイギリス英語のつづり字の違いについても学ぶ。	Study the course content and debate topic for week 5 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第6回	こどもの言語習得に関して経験主義者と生得主義者の主張の違いを検討する。それぞれの立場からの主張とその根拠となる証拠を探る、パート1。	Study the course content for week 6 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第7回	こどもの言語習得に関して経験主義者と生得主義者の主張の違いを検討する。それぞれの立場からの主張とその根拠となる証拠を探る、パート2。	Study the course content and debate topic for week 7 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第8回	この科目の前半までの復習と授業内中間試験を行う。	Review the content for the first half of the course and prepare for the midterm test and presentation. 90分	Reflect on the test and presentation. Try to identify your weaknesses and the gaps in your knowledge and how to address them. 90分
担当教員			
第9回	次の質問を考えることによって、第1言語習得の実際の応用について議論する。「赤ちゃんが第1言語習得で実際的な文法知識を発達させるのと、私たちが第2言語習得時にその知識を発達させるのの類似点は？」言語習得を学ぶことはいかに第2言語の能力を伸ばすことに役立つのか？	Study the course content for week 9 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第10回	日常生活でのスピーキングとリスニングと語用論について。ときには文法構造よりも言語使用における語用論的文脈の方が重要である例を見る。	Study the course content for week 10 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			

第11回	FBIのような機関は容疑者の言語の語彙や文法を分析して犯罪を解決するために言語学を使う。この犯罪科学言語学の歴史を学ぶ。	Study the course content for week 11 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第12回	メタファーとメトニミーがどのように定義されるか、日常の言語使用の中でこれらがどれほど重要であるのかと見る。概念メタファー理論の歴史と発達を学ぶ。	Study the course content for week 12 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第13回	私たちが感情、経験、時間、議論、出来事などについて語るとき例を調べながらよって、引き続き概念メタファーと概念メトニミーを探る。加えて、メタファーとメトニミーの使用は文法とどのような関係があるのか、母語話者のこれらの使用が学習者にどのような影響を与えるのを議論する。	Study the course content for week 13 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第14回	応用言語学が学生のリーディングスキルを伸ばすことに役立つかどうかを調べる。この授業で学んだ文法と言語の比喩的な側面の知識がテキストを以前よりも深く読むことができるようになったかを探る。	Study the course content for week 12 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第15回	講義の振り返りを行う。また、確認のための授業内試験を行う。 定期試験: 実施しない	Review the content of the course and prepare for the final test and presentation. 90分	Consolidate the course content. 90分
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業参加の積極さ: 20%; 授業内中間試験: 40% (25%: in-class paper test, 15%: presentation) 授業内期末試験: 40% (25%: in-class paper test, 15%: presentation)	

その他	0	
教科書		
テキスト 使用しない。		
参考文献		
大修館書店; Taishukan's Genius English - Japanese Dictionary, 第5 edition		
履修条件・留意事項等		
none		
備考欄		
none		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		English Literature II				ナンバリング	2617
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	及川 陽子						
授業の位置づけ							
ディプロマ・ポリシーの「英語を実践的に運用できる能力とスキルを身につけている(知識・技能)」とともに、「グローバル社会の人々との信頼関係を構築し、異文化社会に対する正しい理解と協調の精神を持つことができる(関心・意欲・態度)」に特に関係がある科目である。当然その他のポリシーとも連動する。							
授業の概要							
この授業は、英米作家の短編小説を主に取り上げて読む。読むと言っても、学生はただ自己流にたくさん読んで数をこなすということではない。この授業で身に付けなければならないことは、鑑賞のための方法論を得ることである。担当教員は作品を取り上げる際、作者の伝記的事実の説明をしたり、語句に関する説明をしたり、恣意的な解釈を与えるだけではない。それに加えて、学生は小説の読み方、演劇や詩という文学の構造についての原則を学んでいくことになる。あわせて文学作品から英語表現や英米の文化についても学んでいく。							
到達目標							
1) 文学作品において使用されている様々な英語表現について知り、使いこなすことができる。 2) 文学作品で描かれている、英語が使われている国や地域の文化について主体的に学び、知識として得ることができる。 3) 英語で書かれた代表的な文学について知り、考えを深めることができる。 4) 英文学の楽しさを身をもって知ることができる。							
授業の方法							
教科書を中心として作品を読むことはもちろん、文学を理解するための講義を随時取り入れていく。また、グループ学習や小テストなどの主体的方法をとる。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

単純な文法事項から、文化的な相違まで、作品を楽しみながら様々な角度から英語および英文学を学ぶため、わずかな疑問でも話し合い、あるいは調べていくことで視野を広げる努力をする。疑問点には次回確実に回答する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	授業の実施方法に関するオリエンテーション	これまで読んできた、あるいは知っている英語で書かれた作品について訊くので答えられるよう準備しておくこと。90分	学んだ知識を整理して今後の学習のために定着させておくこと。90分
担当教員			
第2回	英語文学についての総論(1) 英文学の特徴、その歴史や文化を学ぶ。	英語文学について知るべきことを確認し、作品を読む準備をすること。90分	復習すること。疑問点があればまとめておくこと。90分
担当教員			
第3回	The Red-Headed League (1) An Easy Job 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかりと読み、わからない単語があったら調べる。文法事項を確認すること。90分	復習すること。小テストのための準備学習をすること。90分
担当教員			
第4回	The Red-Headed League (2) Mr. Wilson Is Put to a Test 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかりと読み、わからない単語があったら調べる。文法事項を確認すること。90分	復習すること。小テストのための準備学習をすること。90分
担当教員			

第5回	The Red-Headed League (3) A Job Suddenly Ends 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかり読み、わからない単語があったら調べること。文法事項を確認すること。90分	復習すること。小テストのための準備学習をすること。90分
担当教員			
第6回	The Red-Headed League (4) Holmes Gathers Information 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかり読み、わからない単語があったら調べること。文法事項を確認すること。90分	復習すること。小テストのための準備学習をすること。90分
担当教員			
第7回	The Red-Headed League (5) Setting the Trap 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかり読み、わからない単語があったら調べること。文法事項を確認すること。90分	復習すること。小テストのための準備学習をすること。90分
担当教員			
第8回	The Red-Headed League (6) Holmes Explains the Plan 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかり読み、わからない単語があったら調べること。文法事項を確認すること。90分	復習すること。小テストのための準備学習をすること。90分
担当教員			
第9回	The Adventure of the Copper Beeches (1) A Job with Strange Requirement 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかり読み、わからない単語があったら調べること。文法事項を確認すること。90分	復習すること。小テストのための準備学習をすること。90分
担当教員			
第10回	The Adventure of the Copper Beeches (2) The Work Begins 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかり読み、わからない単語があったら調べること。文法事項を確認すること。90分	復習すること。小テストのための準備学習をすること。90分
担当教員			

第11回	The Adventure of the Copper Beeches (3) A Strange Observer 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかり読み、わからない単語があったら調べること。文法事項を確認すること。90分	復習すること。小テストのための準備学習をすること。90分
担当教員			
第12回	The Adventure of the Copper Beeches (4) Miss Hunter Looks Around 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかり読み、わからない単語があったら調べること。文法事項を確認すること。90分	復習すること。小テストのための準備学習をすること。90分
担当教員			
第13回	The Adventure of the Copper Beeches (5) Mr. Holmes Has an Idea 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかり読み、わからない単語があったら調べること。文法事項を確認すること。90分	復習すること。小テストのための準備学習をすること。90分
担当教員			
第14回	The Adventure of the Copper Beeches (6) Mr. Rucastle's Terrible Fate 単語や表現を確認し、リスニングをした上で内容をつかむ。 小テストをして確認する。	英文をしっかり読み、わからない単語があったら調べること。文法事項を確認すること。90分	復習することjの次回の授業内試験のための準備学習をすること。90分
担当教員			
第15回	英語文学についての総論(2) 英米文学の特徴、文化と思想について学ぶ。 授業内試験 学んだ内容について筆記試験を行う。	ここまで読んできた作品について文法事項をしっかり確認しておくこと。授業内試験の準備をすること。90分	全体の復習をすること。90分
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業参加度、小テスト、課題や口頭発表 50% 授業内試験 50%	

その他	0	
教科書		
Mystery Tour with Sherlock Holmes by Atsuko Uemura and Miwako Yamashina, Cengage Learning.		
参考文献		
『現代イギリス読本』川成洋・長尾輝彦 編、丸善。		
履修条件・留意事項等		
辞書を準備し、毎回しっかりと予習・復習をすること。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		English Reading (1組)				ナンバリング	2608
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Joseph S Tomasine						
授業の位置づけ							
この科目は学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけるための科目で、「関心・意欲・態度」と関連する。							
授業の概要							
この授業は、身の回りで起きている事象に関するさまざまなジャンルの英文テキストに対する読解能力の向上を目的とする。授業では、高い構文把握能力及び語彙力の増強の他、既有知識を用いて理解を促す読解方略の習得を目指す。							
到達目標							
To be able to read and understand English texts of various genres using their existing knowledge, and to gain information about events happening around them while expanding their syntactic grasp and vocabulary.							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, group work as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
This class utilizes Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable

課題に対するフィードバックの方法

The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	In this class, students will learn how to proceed with the class, assignments, and evaluation.	Check the LMS, read the textbook and create questions for the teacher. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第2回	In this lesson, students will practice skills such as scanning numbers and using T-charts while reading reports and online articles.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第3回	In this lesson, students will practice previewing and other skills while reading articles and online posts.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第4回	In this lesson, students will review, expand, and deepen the learning you did in Units 1-2.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			

第5回	In this lesson, students will practice their skills in searching for main ideas and making inferences while reading online articles and essays.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第6回	In this lesson, students will read excerpts from books and articles to practice their skills in reading for details and using their knowledge to predict content.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第7回	In this lesson, you will review, expand and deepen the learning you did in Units 3-4.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第8回	In this lesson, students will practice skills such as scanning online articles and posts to predict content while reading.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第9回	In this lesson, students will read questionnaire s and online art files, derive meaning from co ntext, and annotate.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第10回	In this lesson, you will review, expand, and d eepen the learning you did in Units 5-6.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			

第11回	In this lesson, students will practice skills such as using a Venn diagram while reading a blog post.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第12回	In this lesson, students will practice skills such as identifying the author's purpose while reading an online article or essay.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第13回	In this lesson, you will review, expand, and deepen the learning you did in Lessons 7 and 8	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第14回	In this lesson, you will review, expand and deepen the learning you have done in lessons 2 through 13, and prepare for the in-class test.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第15回	In this lesson, students will summarize the class and take an in-class exam.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, reflect upon study plan. (90 minutes)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	No such test	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Weekly quizzes: 50 In-class test: 50	

その他	0	Not applicable
教科書		
PRISM READING, Michele Lewis & Richard O'Neil, CAMBRIDGE		
参考文献		
Will be handed out in class		
履修条件・留意事項等		
Not applicable.		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		English Reading (2組)				ナンバリング	2608
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	高橋 保夫						
授業の位置づけ							
この科目は学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけるための科目で、「関心・意欲・態度」と関連する。							
授業の概要							
この授業は、身の回りで起きている事象に関するさまざまなジャンルの英文テキストに対する読解能力の向上を目的とする。授業では、高い構文把握能力及び語彙力の増強の他、既有知識を用いて理解を促す読解方略の習得を目指す。							
到達目標							
To be able to read and understand English texts of various genres using their existing knowledge, and to gain information about events happening around them while expanding their syntactic grasp and vocabulary.							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, group work as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
This class utilizes Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable

課題に対するフィードバックの方法

The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	In this class, students will learn how to proceed with the class, assignments, and evaluation.	Check the LMS, read the textbook and create questions for the teacher. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第2回	In this lesson, students will practice skills such as scanning numbers and using T-charts while reading reports and online articles.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第3回	In this lesson, students will practice previewing and other skills while reading articles and online posts.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第4回	In this lesson, students will review, expand, and deepen the learning you did in Units 1-2.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			

第5回	In this lesson, students will practice their skills in searching for main ideas and making inferences while reading online articles and essays.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第6回	In this lesson, students will read excerpts from books and articles to practice their skills in reading for details and using their knowledge to predict content.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第7回	In this lesson, you will review, expand and deepen the learning you did in Units 3-4.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第8回	In this lesson, students will practice skills such as scanning online articles and posts to predict content while reading.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第9回	In this lesson, students will read questionnaire s and online art files, derive meaning from co ntext, and annotate.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第10回	In this lesson, you will review, expand, and d eepen the learning you did in Units 5-6.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			

第11回	In this lesson, students will practice skills such as using a Venn diagram while reading a blog post.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第12回	In this lesson, students will practice skills such as identifying the author's purpose while reading an online article or essay.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第13回	In this lesson, you will review, expand, and deepen the learning you did in Lessons 7 and 8	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第14回	In this lesson, you will review, expand and deepen the learning you have done in lessons 2 through 13, and prepare for the in-class test.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第15回	In this lesson, students will summarize the class and take an in-class exam.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, reflect upon study plan. (90 minutes)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	No such test	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Weekly quizzes: 50 In-class test: 50	

その他	0	Not applicable
教科書		
PRISM READING, Michele Lewis & Richard O'Neil, CAMBRIDGE		
参考文献		
Will be handed out in class		
履修条件・留意事項等		
Not applicable.		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		English Written Communication I (1組)				ナンバリング	1601
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Walzem Allen George						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシーの「学術目的の言語使用」に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力を身につけている。(知識・技能)、「世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけている。(思考・判断・表現)」等に関連する科目である。本講義では、SNS、e-mail、批評、描写、問題解決といったように様々なジャンルに応じた文章を書く基礎力を身につけることを目的とする。English II で学習したことを発展させ、English Written Communication II の基礎となる。							
授業の概要							
この授業は、English II で学習したことを礎に、英文e-mailやSNS、テキストメッセージなどの媒体ではどのように英文が書かれているかを理解し、実際にそれぞれの媒体に応じた英語の文章を書けるようになることを最終目標とする。							
到達目標							
・SNS、e-mail、批評、描写、問題解決といった様々なジャンルに応じた文章の書き方や構成の仕方を理解することができる。 ・読み手や目的、場面や状況を意識して、まとまりのある英文を書くことができる。							
授業の方法							
基本的には、板書及び、プレゼンテーションソフトや授業支援用のwebアプリ、ハンドアウトを活用して講義形式で進める。講義内で課される課題に取り組みながら、様々なジャンルの文章を書くために必要な技法を身につける。また、学生同士の相互評価(Peer review)を通して、読み手意識をもって文章を書けるようにする。							
ICT活用							
Webアプリ(Pear DeckやKahoot!等)を用いた双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

なし

課題に対するフィードバックの方法

それぞれのライティング課題において、Google classroomなどを介してフィードバックを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション日常場面、ビジネスでどのようなジャンルのライティングがあるか考え、この講義での学習目的を理解する。	シラバスをよく読み、教科書を準備する。(90分)	配布資料を確認して、次回の授業に備える(90分)。
担当教員			
第2回	英語でのテキストメッセージの書き方について学ぶ。	配布資料を確認して、授業の準備を行う。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第3回	Unit 1 Study Abroad ① ・英文e-mailの書き方について学ぶ。 ・英文e-mailにおける作法(フォーマルとインフォーマルの使い分け)について学ぶ。	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第4回	Unit 1 Study Abroad ② ・与えられた状況設定に合わせて、自分を紹介する英文e-mailを書く(in-class writing①)。	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			

第5回	SNSの投稿 ・SNSにおける投稿やコメントの書き方について学ぶ。 ・自分が選んだ写真を用いて、その写真を描写する。 ・SNSの投稿を作成する(in-class writing②)	英語でのSNSの投稿はどのようになされているか、事前に調べておく。課題に使う写真を用意しておく。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第6回	Unit 2 Festivals ① ・パラグラフ・ライティングの構成について学ぶ。 ・ライティングにおける目的と読み手意識の重要性について理解する。	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第7回	Unit 2 Festivals ② ・描写のパラグラフ(Descriptive paragraph)の構成の仕方について学ぶ。 ・日本文化に関わる描写のパラグラフを書くための準備を行う。Take-home writing assignment ① (描写のパラグラフ第1稿)	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	Unit 2 Festivals ② ・描写のパラグラフ(Descriptive paragraph)の構り組む。(90分)
担当教員			
第8回	Unit 2 Festivals ③ ・Peer reviewの方法について学ぶ。 ・書いた描写のパラグラフで実際にPeer reviewを行う。Take-home writing assignment①の最終稿の提出	自分の書いたライティング課題を見直して、印刷をし、Peer reviewの準備を行う。(90分)	Peer reviewでもらったコメントをもとに最終稿に取り組む。(90分)
担当教員			
第9回	Unit 3 Movies ① ・映画のレビューの書き方について学ぶ ・自分の好きな映画を選び、レビューを書く準備をする。Take-home writing assignment ②	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。自分がレビューの書きたい映画を選んでおく。(90分)	講義内で行った準備をもとに、ライティング課題に取り組む。(90分)
担当教員			
第10回	Unit 3 Movies ② ・映画のレビューパラグラフのPeer reviewを行う。Take-home writing assignment②の最終稿の提出 Unit 4 Campus Life ① ・依頼する際の丁寧さの度合いに応じた適切な表現について学ぶ。Take-home writing assignment②の最終稿の提出	自分の書いたライティング課題を見直して、印刷をし、Peer reviewの準備を行う。(90分)	Peer reviewでもらったコメントをもとに最終稿に取り組む。(90分)
担当教員			

第11回	Unit 4 Campus Life ② ・依頼のe-mailの書き方について学ぶ。 ・与えられた状況設定に合わせた大学教員に向けた依頼の英文e-mailを書く(in-class writing ③)	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第12回	Unit 5 Environment ① ・問題解決のパラグラフ(Problem-solution paragraph)の書き方について学ぶ ・Cause and effectを表す表現について学ぶ。	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第13回	Unit 5 Environment ② ・身の回りで起きている問題を一つ選び、それに関する問題解決のパラグラフを書く準備をする。 Take-home writing assignment ③ (問題解決のパラグラフ)	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義内で行った準備をもとに、ライティング課題に取り組む。(90分)
担当教員			
第14回	Unit 5 Environment ③ ・書いた問題解決パラグラフのPeer reviewを行う。 ・Peer reviewのコメントをもとに最終稿を完成させる。	自分の書いたライティング課題を見直して、印刷をし、Peer reviewの準備を行う。(90分)	Peer reviewでもらったコメントをもとに最終稿に取り組む。(90分)
担当教員			
第15回	第15回 Unit 1からUnit 5までのまとめをする	Chapter 1からChapter 5までの復習を行う。(90分)	講義全体の振り返りを行う。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	In-class writing 30% Take-home writing assignment 30% 授業内試験 40%	

その他	0	
教科書		
榎田一路、Walter Davies、田北冬子 編著 Effective Writing for Global Communication—Email, Paragraph, and Essay (英宝社,2020)		
参考文献		
講義内で適宜紹介する。		
履修条件・留意事項等		
授業には真剣に取り組む、課題の締め切りは厳守すること。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		English Written Communication I (2組)				ナンバリング	1601
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Walzem Allen George						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシーの「学術目的の言語使用」に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力を身につけている。(知識・技能)、「世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけている。(思考・判断・表現)」等に関連する科目である。本講義では、SNS、e-mail、批評、描写、問題解決といったように様々なジャンルに応じた文章を書く基礎力を身につけることを目的とする。English II で学習したことを発展させ、English Written Communication II の基礎となる。							
授業の概要							
この授業は、English II で学習したことを礎に、英文e-mailやSNS、テキストメッセージなどの媒体ではどのように英文が書かれているかを理解し、実際にそれぞれの媒体に応じた英語の文章を書けるようになることを最終目標とする。							
到達目標							
・SNS、e-mail、批評、描写、問題解決といった様々なジャンルに応じた文章の書き方や構成の仕方を理解することができる。 ・読み手や目的、場面や状況を意識して、まとまりのある英文を書くことができる。							
授業の方法							
基本的には、板書及び、プレゼンテーションソフトや授業支援用のwebアプリ、ハンドアウトを活用して講義形式で進める。講義内で課される課題に取り組みながら、様々なジャンルの文章を書くために必要な技法を身につける。また、学生同士の相互評価(Peer review)を通して、読み手意識をもって文章を書けるようにする。							
ICT活用							
Webアプリ(Pear DeckやKahoot!等)を用いた双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

なし

課題に対するフィードバックの方法

それぞれのライティング課題において、Google classroomなどを介してフィードバックを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション日常場面、ビジネスでどのようなジャンルのライティングがあるか考え、この講義での学習目的を理解する。	シラバスをよく読み、教科書を準備する。(90分)	配布資料を確認して、次回の授業に備える(90分)。
担当教員			
第2回	英語でのテキストメッセージの書き方について学ぶ。	配布資料を確認して、授業の準備を行う。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第3回	Unit 1 Study Abroad ① ・英文e-mailの書き方について学ぶ。 ・英文e-mailにおける作法(フォーマルとインフォーマルの使い分け)について学ぶ。	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第4回	Unit 1 Study Abroad ② ・与えられた状況設定に合わせて、自分を紹介する英文e-mailを書く(in-class writing①)。	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			

第5回	SNSの投稿 ・SNSにおける投稿やコメントの書き方について学ぶ。 ・自分が選んだ写真を用いて、その写真を描写する。 ・SNSの投稿を作成する(in-class writing②)	英語でのSNSの投稿はどのようになされているか、事前に調べておく。課題に使う写真を用意しておく。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第6回	Unit 2 Festivals ① ・パラグラフ・ライティングの構成について学ぶ。 ・ライティングにおける目的と読み手意識の重要性について理解する。	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第7回	Unit 2 Festivals ② ・描写のパラグラフ(Descriptive paragraph)の構成の仕方について学ぶ。 ・日本文化に関わる描写のパラグラフを書くための準備を行う。Take-home writing assignment ① (描写のパラグラフ第1稿)	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	Unit 2 Festivals ② ・描写のパラグラフ(Descriptive paragraph)の構り組む。(90分)
担当教員			
第8回	Unit 2 Festivals ③ ・Peer reviewの方法について学ぶ。 ・書いた描写のパラグラフで実際にPeer reviewを行う。Take-home writing assignment①の最終稿の提出	自分の書いたライティング課題を見直して、印刷をし、Peer reviewの準備を行う。(90分)	Peer reviewでもらったコメントをもとに最終稿に取り組む。(90分)
担当教員			
第9回	Unit 3 Movies ① ・映画のレビューの書き方について学ぶ ・自分の好きな映画を選び、レビューを書く準備をする。Take-home writing assignment ②	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。自分がレビューの書きたい映画を選んでおく。(90分)	講義内で行った準備をもとに、ライティング課題に取り組む。(90分)
担当教員			
第10回	Unit 3 Movies ② ・映画のレビューパラグラフのPeer reviewを行う。Take-home writing assignment②の最終稿の提出 Unit 4 Campus Life ① ・依頼する際の丁寧さの度合いに応じた適切な表現について学ぶ。Take-home writing assignment②の最終稿の提出	自分の書いたライティング課題を見直して、印刷をし、Peer reviewの準備を行う。(90分)	Peer reviewでもらったコメントをもとに最終稿に取り組む。(90分)
担当教員			

第11回	Unit 4 Campus Life ② ・依頼のe-mailの書き方について学ぶ。 ・与えられた状況設定に合わせた大学教員に向けた依頼の英文e-mailを書く(in-class writing ③)	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第12回	Unit 5 Environment ① ・問題解決のパラグラフ(Problem-solution paragraph)の書き方について学ぶ ・Cause and effectを表す表現について学ぶ。	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義の復習を行う。(90分)
担当教員			
第13回	Unit 5 Environment ② ・身の回りで起きている問題を一つ選び、それに関する問題解決のパラグラフを書く準備をする。 Take-home writing assignment ③ (問題解決のパラグラフ)	教科書の該当箇所を読み、わからない語彙などを事前に確認する。(90分)	講義内で行った準備をもとに、ライティング課題に取り組む。(90分)
担当教員			
第14回	Unit 5 Environment ③ ・書いた問題解決パラグラフのPeer reviewを行う。 ・Peer reviewのコメントをもとに最終稿を完成させる。	自分の書いたライティング課題を見直して、印刷をし、Peer reviewの準備を行う。(90分)	Peer reviewでもらったコメントをもとに最終稿に取り組む。(90分)
担当教員			
第15回	第15回 Unit 1からUnit 5までのまとめをする	Chapter 1からChapter 5までの復習を行う。(90分)	講義全体の振り返りを行う。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	In-class writing 30% Take-home writing assignment 30% 授業内試験 40%	

その他	0	
教科書		
榎田一路、Walter Davies、田北冬子 編著 Effective Writing for Global Communication—Email, Paragraph, and Essay (英宝社,2020)		
参考文献		
講義内で適宜紹介する。		
履修条件・留意事項等		
授業には真剣に取り組む、課題の締め切りは厳守すること。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		English Written Communication II (1組)				ナンバリング	2602
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Joseph S Tomasine						
授業の位置づけ							
この科目は学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけるための科目であり、「English Written CommunicationI」の発展科目である。							
授業の概要							
この授業は、English Written Communication I の発展の授業として位置づけられる。実際の授業ではビジネス場面でやり取りが行われているe-mailやSNS、text message、広告の内容を理解すること。そしてそれらの媒体でよく用いられる文法事項の確認、定型表現の習得及び関連する語彙力の増強、そして実際にそれぞれの媒体に応じた英語の文章を書けるようになることを最終目標とする。							
到達目標							
Understand the contents of e-mails, social networking sites, text messages, and advertisements that are exchanged in business situations, and be able to write using the grammar, standard expressions, and vocabulary acquired through exchanges using these media.							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, group work as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
This class utilizes Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable.

課題に対するフィードバックの方法

The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	In this class, students will learn how to proceed with the class, assignments, and evaluation.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第2回	In this lesson, students will review the skills they learned in English Writing and Communication 1 and learn how to write emails, descriptive paragraphs, review paragraphs, and problem-solving paragraphs.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第3回	In this lesson, students will learn the skills needed to write an email invitation. Students will do in-class writing #1.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第4回	In this lesson, students will learn the skills needed to analyze the characteristics of an email invitation.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			

第5回	In this lesson, students will learn the skills needed to write a reply (acceptance or rejection) to an email invitation. In this lesson, students will do take-home assignment #1.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第6回	In this lesson, students will learn the skills needed to write a descriptive essay about a region or culture.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第7回	In this lesson, students will learn the skills necessary to study the structure and connectors of an essay. Students will do in-class writing # 2.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第8回	In this lesson, students will learn the skills needed to write a reflection on their high school years.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第9回	In this lesson, students will learn useful vocabulary related to learning experiences and the skills needed to practice punctuation. Students will do take-home assignment #2.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第10回	In this lesson, students will learn the skills needed to write an email giving feedback on some technology.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			

第11回	In this lesson, students will learn the skills needed to describe problems with computer technology. Students will do in-class writing #3.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第12回	In this lesson, students will learn the skills needed to request assistance with technology.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第13回	In this lesson, students will learn the skills needed to write an opinion piece. Students will do take-home assignment #3.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第14回	In this lesson, students will learn the skills needed to learn useful expressions for writing structured opinion pieces.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第15回	In this lesson, students will review what they have learned in this class and take an in-class exam.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, reflect on study plan. (90 minutes)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	No such test	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	In-class writing: 30 Take home assignments: 30 In-class test: 40	

その他	0	Not applicable
教科書		
Effective Writing for Global Communication, Kazumichi Enokida et al., EIHOSHA		
参考文献		
Will be handed out in class		
履修条件・留意事項等		
Not applicable		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		English Written Communication II (2組)				ナンバリング	2602
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Todd Robert Enslen						
授業の位置づけ							
この科目は学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけるための科目であり、「English Written CommunicationI」の発展科目である。							
授業の概要							
この授業は、English Written Communication I の発展の授業として位置づけられる。実際の授業ではビジネス場面でやり取りが行われているe-mailやSNS、text message、広告の内容を理解すること。そしてそれらの媒体でよく用いられる文法事項の確認、定型表現の習得及び関連する語彙力の増強、そして実際にそれぞれの媒体に応じた英語の文章を書けるようになることを最終目標とする。							
到達目標							
Understand the contents of e-mails, social networking sites, text messages, and advertisements that are exchanged in business situations, and be able to write using the grammar, standard expressions, and vocabulary acquired through exchanges using these media.							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, group work as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
This class utilizes Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable.

課題に対するフィードバックの方法

The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	In this class, students will learn how to proceed with the class, assignments, and evaluation.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第2回	In this lesson, students will review the skills they learned in English Writing and Communication 1 and learn how to write emails, descriptive paragraphs, review paragraphs, and problem-solving paragraphs.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第3回	In this lesson, students will learn the skills needed to write an email invitation. Students will do in-class writing #1.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第4回	In this lesson, students will learn the skills needed to analyze the characteristics of an email invitation.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			

第5回	In this lesson, students will learn the skills needed to write a reply (acceptance or rejection) to an email invitation. In this lesson, students will do take-home assignment #1.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第6回	In this lesson, students will learn the skills needed to write a descriptive essay about a region or culture.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第7回	In this lesson, students will learn the skills necessary to study the structure and connectors of an essay. Students will do in-class writing # 2.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第8回	In this lesson, students will learn the skills needed to write a reflection on their high school years.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第9回	In this lesson, students will learn useful vocabulary related to learning experiences and the skills needed to practice punctuation. Students will do take-home assignment #2.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第10回	In this lesson, students will learn the skills needed to write an email giving feedback on some technology.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			

第11回	In this lesson, students will learn the skills needed to describe problems with computer technology. Students will do in-class writing #3.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第12回	In this lesson, students will learn the skills needed to request assistance with technology.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第13回	In this lesson, students will learn the skills needed to write an opinion piece. Students will do take-home assignment #3.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第14回	In this lesson, students will learn the skills needed to learn useful expressions for writing structured opinion pieces.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第15回	In this lesson, students will review what they have learned in this class and take an in-class exam.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, reflect on study plan. (90 minutes)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	No such test	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	In-class writing: 30 Take home assignments: 30 In-class test: 40	

その他	0	Not applicable
教科書		
Effective Writing for Global Communication, Kazumichi Enokida et al., EIHOSHA		
参考文献		
Will be handed out in class		
履修条件・留意事項等		
Not applicable		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		English for Workplace Communication II (2組)				ナンバリング	3622
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Joseph S Tomasine						
授業の位置づけ							
この科目での学習を通して学術目的の言語使用に主眼をおいた英語の高度な運用能力を身につけることが期待される。							
授業の概要							
この授業は、English for workplace communication I の発展の授業と位置付けられる。English for workplace communication I では一般的なビジネスの場面を想定した英語を用いたコミュニケーション能力の習得が目標であったが、この授業ではフライトアテンダントなどの航空業界の業種、観光にかかわる業種やホテルでの接客を想定した英語コミュニケーション能力の育成を目標とする。							
到達目標							
フライトアテンダントをはじめとする航空業界や、ホテルとその他の観光業界などにおける接客場面に応じて、英語によるコミュニケーションをすることができる。							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, groupwork as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
This class utilizes Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable.

課題に対するフィードバックの方法

The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 今回の授業では、授業の進め方、課題、評価について。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第2回	ユニット 4: 市場を知る このレッスンでは、フォーカスグループを行うなどのタスクに参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第3回	ユニット 4: 市場を知る このレッスンでは、スライドショーの作成や配布物の作成などの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	このレッスンでは、スライドショーの作成や配布物の作成などの課題に参加します。Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第4回	ユニット 4: 市場を知る このレッスンでは、フォーマルなプレゼンテーションを行うなどの短いタスクに参加します	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			

第5回	ユニット 5: 情報を発信する このレッスンでは、ビデオCMの開発などの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第6回	ユニット 5: 情報を発信する この授業では、印刷広告の開発などの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第7回	ユニット 5: 情報を発信する このレッスンでは、ソーシャルメディア戦略の策定などの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第8回	ユニット 5: 情報を発信する この授業では、広告キャンペーンをクラスに発表するなどの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第9回	ユニット 5: 情報を発信する この授業では、広告キャンペーンをクラスに発表するなどの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第10回	ユニット 6: 自分を安売りしてはいけない このレッスンでは、履歴書の企画や下書きなどの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			

第11回	ユニット 6: 自分を安売りしてはいけない このレッスンでは、履歴書の書き方や編集などの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第12回	ユニット 6: 自分を安売りしてはいけない このレッスンでは、カバーレターの企画、下書き、執筆、編集などの課題に参加します	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第13回	ユニット 6: 自分を安売りしてはいけない このレッスンでは、就職面接に参加するなどの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第14回	ユニット 6: 自分を安売りしてはいけない このレッスンでは、就職面接に参加するなどの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第15回	復習と授業内試験 レッスンでは、このコースで学んだことを復習し、授業内試験を受けます。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しません	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	参加 30 毎週の小テスト 30 授業内試験 40	

その他	0	該当しない
教科書		
Widgets Inc. A task-based course in workplace English / 2018 / Marcos Benevides & Chris Valvona / ATAMA-ii BOOKS		
参考文献		
授業内に配られます。		
履修条件・留意事項等		
該当しない		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		English for Workplace Communication II (1組)				ナンバリング	3622
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Todd Robert Enslen						
授業の位置づけ							
この科目での学習を通して学術目的の言語使用に主眼をおいた英語の高度な運用能力を身につけることが期待される。							
授業の概要							
この授業は、English for workplace communication I の発展の授業と位置付けられる。English for workplace communication I では一般的なビジネスの場面を想定した英語を用いたコミュニケーション能力の習得が目標であったが、この授業ではフライトアテンダントなどの航空業界の業種、観光にかかわる業種やホテルでの接客を想定した英語コミュニケーション能力の育成を目標とする。							
到達目標							
フライトアテンダントをはじめとする航空業界や、ホテルとその他の観光業界などにおける接客場面に応じて、英語によるコミュニケーションをすることができる。							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, groupwork as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
This class utilizes Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable.

課題に対するフィードバックの方法

The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 今回の授業では、授業の進め方、課題、評価について。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第2回	ユニット 4: 市場を知る このレッスンでは、フォーカスグループを行うなどのタスクに参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第3回	ユニット 4: 市場を知る このレッスンでは、スライドショーの作成や配布物の作成などの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	このレッスンでは、スライドショーの作成や配布物の作成などの課題に参加します。Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第4回	ユニット 4: 市場を知る このレッスンでは、フォーマルなプレゼンテーションを行うなどの短いタスクに参加します	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			

第5回	ユニット 5: 情報を発信する このレッスンでは、ビデオCMの開発などの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第6回	ユニット 5: 情報を発信する この授業では、印刷広告の開発などの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第7回	ユニット 5: 情報を発信する このレッスンでは、ソーシャルメディア戦略の策定などの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第8回	ユニット 5: 情報を発信する この授業では、広告キャンペーンをクラスに発表するなどの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第9回	ユニット 5: 情報を発信する この授業では、広告キャンペーンをクラスに発表するなどの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第10回	ユニット 6: 自分を安売りしてはいけない このレッスンでは、履歴書の企画や下書きなどの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			

第11回	ユニット 6: 自分を安売りしてはいけない このレッスンでは、履歴書の書き方や編集などの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第12回	ユニット 6: 自分を安売りしてはいけない このレッスンでは、カバーレターの企画、下書き、執筆、編集などの課題に参加します	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第13回	ユニット 6: 自分を安売りしてはいけない このレッスンでは、就職面接に参加するなどの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第14回	ユニット 6: 自分を安売りしてはいけない このレッスンでは、就職面接に参加するなどの課題に参加します。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第15回	復習と授業内試験 レッスンでは、このコースで学んだことを復習し、授業内試験を受けます。	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes from class, reflect on the discuss and check answers to the exercises. (90 minutes)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合 (%)	内容	
定期試験	0	実施しません	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	参加 30 毎週の小テスト 30 授業内試験 40	

その他	0	該当しない
教科書		
Widgets Inc. A task-based course in workplace English / 2018 / Marcos Benevides & Chris Valvona / ATAMA-ii BOOKS		
参考文献		
授業内に配られます。		
履修条件・留意事項等		
該当しない		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		Networking Communication				ナンバリング	1604
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Joseph S Tomasine、Joseph S Tomasine						
授業の位置づけ							
この科目はディプロマポリシーの「学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力を身につけている」、「世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけている。(思考・判断・表現)」、「グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を備えている。(関心・意欲・態度)」、「世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけている。(関心・意欲・態度)」と関連している。また他の英語系のコミュニケーション科目と関連する。							
授業の概要							
この授業は、グローバル化する世界において様々な国の人々と関係を築いていくために必要な英語力とコミュニケーション力を養成する。授業では、特にリーディング、スピーキング、リスニングに焦点を当てて学習を行うが、様々な状況に合わせた言語使用の学習だけではなく、英語圏の国の文化を理解した上での行動を考えることができるようになることを目標とする。							
到達目標							
In addition to reading, speaking, and listening skills, students will be able to use English as a lingua franca and take into account the culture of others when communicating.							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, group-work as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
This class utilizes Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable.

課題に対するフィードバックの方法

The teacher will give feedback by explaining the answers to the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments, as applicable.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	In this lesson, we will discuss the class procedures, assignments and assessments.	Register for the LMS; read the syllabus, peruse the textbook, generate questions (90 minutes)	Reflect on the orientation discussion, review notes, send a greeting message to the LMS (90 minutes).
担当教員			
第2回	In this lesson, we will learn how to make connections with a person you have just met.	Check the LMS, read Unit 1 and do the exercises. (90 minutes).	Review Unit 1 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第3回	In this lesson, we will learn how to present yourself positively in the company of those from other cultures.	Check the LMS, read Unit 2 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 2 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第4回	In this lesson, we will learn about how to start and sustain discussions about your and others' tastes in music.	Check the LMS, read Unit 3 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 3 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			

第5回	In this lesson, we will learn about how to give advice to others who need help, and receive advice from others when in need.	Check the LMS, read Unit 4 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 4 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第6回	In this lesson, we will learn how to discuss daily/weekly/months schedules, routines and habits around which our lives revolve.	Check the LMS, read Unit 5 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 5 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第7回	In this lesson, we will learn about how to give compliments to others and how to receive compliments from others.	Check the LMS, read Unit 7 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 7 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第8回	In this lesson, we will learn about how to draw clear boundaries and send clear signals between ourselves and others.	Check the LMS, read Unit 8 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 8 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第9回	In this lesson, we will learn about how to make as well as respond to observations and assessments in appropriate ways	Check the LMS, read Unit 9 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 9 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第10回	In this lesson, we will learn about how to provide descriptions of past events so that others can understand.	Check the LMS, read Unit 11 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 11 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			

第11回	In this lesson, we will learn about how to discuss our hobbies with others and appropriately show interest in theirs.	Check the LMS, read Unit 12 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 12 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第12回	In this lesson, we will learn about how to identify, seek information about and suggest solutions to others' problems.	Check the LMS, read Unit 13 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 13 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第13回	In this lesson, we will learn about how to reflect on problematic interaction in order to improve our conversational skills.	Check the LMS, read Unit 14 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 14 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第14回	In this lesson, we will learn about how to engage others in storytelling, as well as how to participate in another's telling of a story.	Check the LMS, read Unit 15 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 15 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第15回	During this lesson, we will review the learning in this class and take the in-class test.	Check the LMS, review Units 1-15 (90 minutes)	Reflect on one's learning and performance in the class (90 minutes)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	No such test	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Weekly quizzes: 50 In-class test: 50	

その他	0	Not applicable
教科書		
Finding Connections, Todd Rucynski, Kinseido		
参考文献		
Will be handed out in class.		
履修条件・留意事項等		
Not applicable		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		英語通訳法 I				ナンバリング	3631
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	川内 裕子、川内 裕子						
授業の位置づけ							
ディプロマ・ポリシーの「世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身に付けている(思考・判断・表現)」ことと特に関係がある科目である。また、「世界と地域の視点から、自然環境、社会、文化、歴史等についての高度な専門知識を身につけている(知識・技能)」とも関係する。							
授業の概要							
この授業では、通訳の種類とその内容について学び、理解する。シャドーイング、ディクテーション、サイトトランスレーション、リプロダクション、メモ取りなど、通訳技能訓練に関わるさまざまな実践的作業を通して、通訳者の作業について理解を深める。日本語から英語、英語から日本語への通訳演習を通じて、表現や発想など日英言語の違いに注目しながら総合的な英語力を養う。							
到達目標							
英語・日本語を正確に聞き取り、通訳できる。 英日通訳では、英文を正しく理解し、日本語としてわかりやすい表現に訳出できる。 日英通訳では、正しく発音し、英語のロジックに適った表現に訳出できる。							
授業の方法							
教科書を使い、音声教材を利用しながら、さまざまなトピックについて学ぶと同時に、通訳技能の訓練を行なう。							
ICT活用							
なし。							
実務経験のある教員の教育内容							

現役の会議通訳者、翻訳者として、英語および日本語の実践的な表現の実例を示し、習得に導く授業を実施する。

課題に対するフィードバックの方法

複数回実施する実践的小テストにおいて、各学生のパフォーマンスにコメントと助言を与える。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	- 授業ガイダンス: a. 通訳という作業について b. 授業の進め方について(教科書の使い方) c. 簡単な通訳演習	教科書に一通り目を通し、扱うトピックを把握する。 Unit 1の単語(E→J、J→E)を調べておく。(90分)	今回の通訳演習についてノートにまとめる。(90分)
担当教員			
第2回	E→J、J→Eの演習	Unit 1について、英語短文練習の訳を考える。日英穴埋め問題を予習する。疑問点を整理する。(90分)	学修したページを声に出して通訳し、内容を確認する。自分のglossaryを作成する。(90分)
担当教員			
第3回	E→J、J→Eの演習	Unit 1の単語、短文の復習。チャレンジコーナーの予習。(90分)	通訳練習をして、内容を確認する。Glossaryをまとめる。(90分)
担当教員			
第4回	E→J、J→Eの演習	Unitの単語(E→J、J→E)を調べておく。(90分)	通訳練習をして、内容を確認する。Glossaryをまとめる。(90分)
担当教員			

第5回	E→J、J→Eの演習	英語短文練習の訳を考える。日英穴埋め問題の予習。疑問点を整理。(90分)	通訳練習をして、内容を確認する。Glossaryをまとめる。(90分)
担当教員			
第6回	E→J、J→Eの演習	Unitの単語、短文の復習。チャレンジコーナーの予習。(90分)	通訳練習をして、内容を確認する。Glossaryをまとめる。(90分)
担当教員			
第7回	E→J、J→Eの演習	Unitの単語(E→J、J→E)を調べておく。(90分)	通訳練習をして、内容を確認する。Glossaryをまとめる。(90分)
担当教員			
第8回	E→J、J→Eの演習	英語短文練習の訳を考える。日英穴埋め問題の予習。疑問点を整理。(90分)	通訳練習をして、内容を確認する。Glossaryをまとめる。(90分)
担当教員			
第9回	E→J、J→Eの演習	単語、短文の復習。チャレンジコーナーの予習。(90分)	通訳練習をして、内容を確認する。Glossaryをまとめる(単語小テストの準備)。(90分)
担当教員			
第10回	- E→J、J→Eの演習 - 口頭小テスト(I):単語(→評価1)	単語(E→J、J→E)を調べておく。(90分)	プレゼンテーション通訳の準備。(90分)
担当教員			

第11回	- E→J、J→Eの演習 - プレゼンテーションを使った実践(E→J、J→E)	英語短文練習の訳を考える。日英穴埋め問題の予習。疑問点を整理。(90分)	プレゼンテーション通訳の準備と復習。(90分)
担当教員			
第12回	- E→J、J→Eの演習 - プレゼンテーションを使った実践(E→J、J→E)	Unitの単語、短文の復習。チャレンジコーナーの予習。(90分)	プレゼンテーション通訳の準備と復習。(90分)
担当教員			
第13回	- E→J、J→Eの演習 - プレゼンテーションを使った実践(E→J、J→E)	単語(E→J、J→E)を調べておく。(90分)	通訳実践小テストの準備。(90分)
担当教員			
第14回	- 小テスト(Ⅱ):通訳実践 E→J(→ 評価 2) - 小テスト(Ⅲ):通訳実践 J→E(→ 評価 3)	通訳実践テストの準備。(90分)	単語の復習。(90分)
担当教員			
第15回	E→J、J→Eの演習	Unitの残りの部分を予習する。(90分)	授業を通して作成したglossary、資料をまとめておく。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	90	授業内で行なう3回のテスト	

その他	10	授業中の取り組み
教科書		
“Developing Interpreting Skills for Communication <Revised Edition>”（通訳とコミュニケーションの総合演習 [改訂版]）斎藤彩子 他著（南雲堂）		
参考文献		
特になし。		
履修条件・留意事項等		
英語を使う能力を伸ばすことに積極的に取り組む意欲があること。辞書必携。出席日数を自己管理すること。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		英語翻訳法				ナンバリング	3636
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	高橋 保夫						
授業の位置づけ							
世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につける。【思考・判断・表現】に関連する。関連科目としては、「英語通訳法Ⅰ」、「英語通訳法Ⅱ」がある。							
授業の概要							
この授業は、日英それぞれの言語の思考法・論理展開を理解し、それぞれに則した翻訳とは何かを学ぶ。基本動詞の使い方、数量の表現、英語のロジックにかなった日英翻訳の基本を確認するために、センテンス単位の翻訳から始める。パラグラフ単位の翻訳へとレベルを上げながら、必要な表現や工夫の仕方などの技術を習得する。広い範囲の日常生活に関するフレーズ、実務文書や各種説明文を題材とし、学生自身が訳したものをベースに翻訳の技術を添削・フィードバック・試行錯誤を通して学ぶ。							
到達目標							
・翻訳とはどのような作業なのかを理解することができる。 ・翻訳の基礎的な技術を身につけることができる。 ・日英語の思考法・論理展開の違いを理解することができる。							
授業の方法							
教科書、板書、配布印刷物を使った講義形式で授業を行う。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

授業中に確認テストを行い、その解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 翻訳とは何か	翻訳について調べておく。(90分)	翻訳について確認しておく。(90分)
担当教員			
第2回	省略の秘訣 補充訳	省略、補充が必要な場合について調べておく。(90分)	省略、補充訳が必要な場合について確認しておく。(90分)
担当教員			
第3回	頭から訳す技法 構文を考える	頭から訳す技法 構文について考えておく。(90分)	頭から訳す技法 構文について確認しておく。(90分)
担当教員			
第4回	態の転換 品詞転換	態の転換 品詞転換が必要な場合について調べておく。(90分)	態の転換 品詞転換について確認しておく。(90分)
担当教員			

第5回	時制と話法	時制と話法について調べておく。(90分)	時制と話法について確認しておく。(90分)
担当教員			
第6回	段階的翻訳術	直訳と決定訳があることを考えておく。(90分)	段階的翻訳術について確認しておく。(90分)
担当教員			
第7回	英語の落とし穴	不得意な文法項目について調べておく。(90分)	英語の落とし穴について確認しておく。(90分)
担当教員			
第8回	誤訳について	誤訳について調べておく。(90分)	誤訳について確認しておく。(90分)
担当教員			
第9回	易しそうな難語と難文	易しそうな難語と難文について調べておく。(90分)	易しそうな難語と難文について確認しておく。(90分)
担当教員			
第10回	体験的把握と分析的把握	体験的把握と分析的把握について教科書を読んでおく。(90分)	体験的把握と分析的把握について確認しておく。(90分)
担当教員			

第11回	視覚体験に関わる表現	視覚体験に関わる表現について教科書を読んでおく。(90分)	視覚体験に関わる表現について確認しておく。(90分)
担当教員			
第12回	時・事象の推移の体験に関わる表現	時・事象の推移の体験に関わる表現について教科書を読んでおく。(90分)	時・事象の推移の体験に関わる表現について確認しておく。(90分)
担当教員			
第13回	感覚・感情体験に関わる表現	感覚・感情体験に関わる表現について教科書を読んでおく。(90分)	感覚・感情体験に関わる表現について確認しておく。(90分)
担当教員			
第14回	プロセス体験指向と結果分析指向	プロセス体験指向と結果分析指向について教科書を読んでおく。(90分)	プロセス体験指向と結果分析指向について確認しておく。(90分)
担当教員			
第15回	まとめ	総復習をしておく。(90分)	総復習をしておく。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内試験 60% 課題提出 20% 小テスト 20%	

その他	0	なし。
教科書		
『「視点」の違いから見る日英語の表現と文化の比較』尾野治彦 開拓社		
参考文献		
『英和翻訳の原理・技法』中村保男 日外アソシエーツ		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		初級中国語 I				ナンバリング	1651
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	魯 諍、魯 諍						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシーの「世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につける」と特に関係がある科目である。言語プロフェッショナル科目に位置づけられた基礎レベルの外国語科目であり、前期の中国語入門Ⅱより、更に高いレベルの語学力を修得するための科目である。							
授業の概要							
この授業は、漢字で表記されている中国語が日本人にとっては他の外国語に比べて親しみやすい外国語と言えるが、入門の段階で最も難しいのは発音である。この授業では、まず発音をマスターすることに重点を置く。正確な発音を通して、中国語の音とリズムに慣れるようにする。中国語の発音学習で重要なことは、発音表記法であるピンインの読み方とその表記方法を理解することである。学習者は、発音→ピンイン、ピンイン→発音の練習を繰り返すことにより、中国語の発音を習得し、後日の中国語学習を確実なものとする事ができる。							
到達目標							
中国語の学習を継続的に進めていくための、基礎的な事項であるピンインの読み方や表記の方法を習得し、発音スキルを高めることができる。							
授業の方法							
読む、聞く、話す、書くの4方面を中心とした総合的な語学能力を育成するために、配布印刷物を用いて、多様な方法を用いて、講義形式で授業を進める。単語テストは2回目の授業から毎回行う(全13回)。毎回の授業目標に掲げた内容の達成度に応じて、授業の内容を微調整する場合がある。							
ICT活用							
Google Classroomを用いた双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業目標に掲げた内容の達成度に応じて、次回の授業で微調整を行う。提出された音声宿題の完成度・問題点について、学生にアドバイスする。また、単語テスト後にも関連語彙などの解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	第15課 I、オリエンテーション II、経験を表す助詞“过”と比較を表す前置 詞“比”をマスターする。	前期科目「中国語入門Ⅱ」の内容 (p.6~83)を復習し、学習予定部分 (p.84~p.87)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.89の振り返りシートを完成すること。p.85の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第2回	第16課 I、助動詞“会”; II、二重目的語構文をマスターする。	学習予定の部分 (p.90~93)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.95の振り返りシートを完成すること。p.91の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第3回	第17課 I、助動詞“可以”; II、副詞“有点儿”と名詞“一点儿”について学ぶ。	学習予定の部分 (p.96~99)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.101の振り返りシートを完成すること。p.97の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第4回	第18課 I、様態補語; II、時間の長さ(時量)について学ぶ。	学習予定の部分 (p.102~105)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.107の振り返りシートを完成すること。p.103の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			

第5回	第19課 I、結果補語; II、回数の言い方について学ぶ。	学習予定の部分(p.108~111)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.113の振り返りシートを完成すること。p.109の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第6回	第20課 I、“是～的”構文; II、禁止を表す“別”と“不要”をマスターする。	学習予定の部分(p.114~117)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.119の振り返りシートを完成すること。p.115の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第7回	第21課 I、方向補語; II、動作行為の完了を表すアスペクト助詞“了”について学ぶ。	学習予定の部分(p.120~123)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.125の振り返りシートを完成すること。p.121の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第8回	第22課 I、動作行為の進行を表す表現; II、可能補語について学ぶ。	学習予定の部分(p.126~129)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.131の振り返りシートを完成すること。p.127の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第9回	第23課 I、前置詞“离”、“从”、“到”; II、程度補語をマスターする。	学習予定の部分(p.132~135)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.137の振り返りシートを完成すること。p.133の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第10回	第24課 I、助動詞“能”; II、助動詞“会”(蓋然性の使い方)をマスターする。	学習予定の部分(p.138~141)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.143の振り返りシートを完成すること。p.139の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			

第11回	第25課Ⅰ、使役表現;Ⅱ、主述述語文をマスターする。	学習予定の部分(p.144~147)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.149の振り返りシートを完成すること。p.145の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第12回	第26課“把”構文と存現文をマスターする。	学習予定の部分(p.150~153)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.155の振り返りシートを完成すること。p.151の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第13回	第27課Ⅰ、不定疑問文;Ⅱ、受け身表現をマスターする。	学習予定の部分(p.156~159)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.161の振り返りシートを完成すること。p.157の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第14回	第28課Ⅰ、助詞“着”;Ⅱ、“就要～了”について学ぶ。	学習予定の部分(p.162~165)について、予習すること。(90分)	よく復習し、p.167の振り返りシートを完成すること。p.163の本文を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業までに提出すること。(90分)
担当教員			
第15回	まとめ、復習、小テスト これまで学習した中国語の基本文型を用いて、場面を設定し実際に会話の訓練をした後、小テスト。	第15課～28課の内容を復習し、十分に準備すること。(90分)	テストの内容を確認すること。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行いません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	予習、復習、課題の完成度及び授業への参加度、授業態度(30%)＋単語テスト(20%)＋小テスト(50%)	

その他	0	
教科書		
『いま始めよう！アクティブラーニングー初級中国語ー』陳淑梅 張国璐著 朝日出版社		
参考文献		
『実用現代漢語語法』、劉月華など著、北京、商務印書館		
履修条件・留意事項等		
出席と宿題を重視する。無断欠席は減点要素になる。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		初級中国語Ⅱ				ナンバリング	1652
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	魯 諍、魯 諍						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシーの「世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につける」と特に関係がある科目である。中国語を実践的に運用できる知識とスキルを身につけるための科目である。「初級中国語Ⅰ」と関連し、「初級中国語Ⅲ」と連携する科目である。							
授業の概要							
この授業は、「初級中国語Ⅰ」とリンクさせた授業である。リンクしている「初級中国語Ⅰ」の内容にある「発音重視」を深め発展させることを一つの目的としている。一方で、初級レベルの「文法と文型」を学び、初級レベルの「語法と表現」をマスターできるようにする。すぐに使える挨拶ことば、基本文型の習得と語彙の入れ換え練習によって 様々な基本的な表現の文章、基礎語彙の習得を、「初級中国語Ⅰ」で行う発音の練習と平行させて行い、中国語基礎能力の獲得を更に確実なものとする。							
到達目標							
中国語の学習を継続的に進めていくための初級レベルの文法と表現を実践的に運用できる。							
授業の方法							
読む、聞く、話す、書くの4方面を中心とした総合的な語学能力を育成するために、配布印刷物を用いて、多様な方法を用いて、講義形式で授業を進める。単語テストは3回目の授業から毎回行う(全12回)。履修者の理解度に応じて、講義の内容と授業の進捗状況を微調整する可能性がある。							
ICT活用							
Google Classroomを用いた双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業目標に掲げた内容の達成度に応じて、次回の授業で微調整を行う。単語テスト後にも関連語彙などの解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	①ガイダンス ②ウォーミングアップ(中国語の発音を復習する)	教科書のp.17~40をよく読み、中国語の発音・ピンインを復習すること。(90分)	よく復習し、第32、34、36頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第2回	第2課 自己紹介——自分の所属や専攻に関する表現を学ぶ。 文法ポイント: 動詞述語文 指示代名詞“这・那・哪”、 場所代名詞“这儿・那儿・哪儿”、 疑問詞疑問文“谁・什么・哪儿・哪个”など	学習予定の部分(p.50~54)について、予習すること。(90分)	よく復習し、第54頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第3回	第3課 自己紹介——自分の家族や友達について紹介する。 文法ポイント:所在を表す動詞“在” 所有と存在を表す動詞“有” 名詞述語文など	学習予定の部分(p.58~62)について、予習すること。(90分)	よく復習し、第62頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第4回	第4課 お誘いに関する表現を学ぶ。 文法ポイント:前置詞“在” 連動文 日時に関する表現など	学習予定の部分(p.66~70)について、予習すること。(90分)	よく復習し、第70頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			

第5回	第5課 レストランー注文に関する表現を学ぶ。 文法ポイント: 選択疑問文 願望を表す助動詞“想” 意志を表す助動詞“要”など	学習予定の部分(p.74~78)について、予習すること。(90分)	よく復習し、第78頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第6回	第6課 買い物——買いたい物の特徴や価格に関する表現を学ぶ。 文法ポイント:形容詞述語文 比較に関する表現 数字など	学習予定の部分(p.82~86)について、予習すること。(90分)	よく復習し、第78頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第7回	第7課 道案内——目的地までの道を説明するための表現を学ぶ。 文法ポイント:前置詞“从・到・离” 結果補語 方位詞など	学習予定の部分(p.90~94)について、予習すること。(90分)	よく復習し、第94頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第8回	第8課 趣味に関する雑談——自分の趣味について相手に伝えるための表現を学ぶ。 文法ポイント: 助動詞“会” 動作の完了を表すアスペクト助詞“了” 様態補語 二重目的語をとる動詞など	学習予定の部分(p.98~102)について、予習すること。(90分)	よく復習し、第102頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第9回	第9課 旅行の計画——自分の経験や計画について相手に伝えるための表現を学ぶ。 文法ポイント:進行を表す“在” アスペクト助詞“过” 主述述語文など	学習予定の部分(p.106~110)について、予習すること。(90分)	よく復習し、第110頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第10回	第10課 病院——熱や痛みなどの症状に関する表現を学ぶ。 文法ポイント:“(是)~V的”構文 可能性を表す“会”など	学習予定の部分(p.114~118)について、予習すること。(90分)	よく復習し、第118頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			

第11回	第11課 トラブル——盗難や忘れ物などの状況を正確に相手に伝えるための表現を学ぶ。 文法ポイント: “把”構文と受身文など	学習予定の部分 (p.122~126) について、予習すること。(90分)	よく復習し、第126頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第12回	第12課 ホテル——チェックイン・チェックアウトに関する表現や、フロントに連絡する場合に使う表現を学ぶ。 文法ポイント: 方向補語、可能補語 使役文など	学習予定の部分 (p.130~134) について、予習すること。(90分)	よく復習し、第134頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第13回	第13課 約束する——「約束」や「禁止」に関する表現を学ぶ。 文法ポイント: 複文 禁止を表す副詞“別”など	学習予定の部分 (p.138~142) について、予習すること。(90分)	よく復習し、第142頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第14回	第14課 掲示板を見る——イベント情報を伝えるための表現を学ぶ。 文法ポイント: アスペクト助詞“着”、V1着V2 存現文 近接未来“快～了”など	学習予定の部分 (p.146~150) について、予習すること。(90分)	よく復習し、第150頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第15回	まとめ、復習、テスト(筆記) これまで学習した文法ポイントを復習した後、テストをする。	これまで学習した内容を復習し、テスト(筆記)の準備をすること。(90分)	テストの内容を確認すること。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行いません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	予習、復習、課題の完成度及び授業への参加度、授業態度(40%)＋単語テスト(20%)＋テスト(40%)	

その他	0	
教科書		
『中国語でコミュニケーション』沈国威監修 氷野善寛、小嶋美由紀他著 朝日出版社		
参考文献		
『実用現代漢語語法』劉月華など著 北京 商務印書館		
履修条件・留意事項等		
1回目の授業に必ず出席すること(やむを得ず出席できない場合、事前に教員に連絡すること)。出席と宿題を重視する。無断欠席は必ず減点要素になる。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		初級中国語Ⅲ				ナンバリング	1653
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	魯 諍、魯 諍						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシーの「世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につける」と特に関係がある科目である。聴く、話す、読む、書くの運用能力を高めるための科目である。「初級中国語Ⅰ」と関連し、「初級中国語Ⅱ」と連携する科目である。							
授業の概要							
この授業は、外国語を学ぶ過程で、学習の内容や方法をチェックし、客観的な判断によって、自分がどのレベルに達しているかを知ることが大切なことであり、更なる学習へのモチベーションにもつながる。よって、この授業では、初級中国語Ⅰ、初級中国語Ⅱと連携し、学習内容の達成度を可視化するために、「中国語検定」試験4級のレベル試験に合格できるような内容を授業の中に取り入れる。このことで多方面にわたる「話す、聞く、読む、書く」の総合的な能力を向上させ、学習者自身がどのレベルに到達したかを可視化できるようにする。							
到達目標							
初級レベルの中国語を実践の場で活用することができる。 中国のドラマや映画などの会話シーンを視聴するときに、学んだ単語やフレーズを聞き取れる。日常生活に関する作文を口頭発表することができる。							
授業の方法							
読む、聞く、話す、書くの4方面を中心とした総合的な語学能力を育成するために、配布印刷物を用いて、多様な方法を用いて、講義形式で授業を進める。理解度テストは2回目の授業から毎回行う(全13回)。なお、履修者の理解度によって、講義の内容と授業の進捗状況を微調整する可能性がある。							
ICT活用							
Google Formのテスト作成機能を用いて練習問題を解かせて、受講生の理解度を確認する。 Google Classroomを用いた双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業目標に掲げた内容の達成度に応じて、次回の授業で微調整を行う。理解度テストの完成度・問題点に対し、解説を行い、受講生にアドバイスをする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	①ガイダンス ②自己紹介——自分の名前と国籍や出身に関する表現をマスターする。	教科書「第1課」(p.42~49)をよく読み、理解すること。(90分)	よく復習し、第46頁を朗読し、うまく読めるようになってから、録音し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第2回	第2課 自己紹介——自分の所属や専攻に関する表現を活用し、ペアワークで会話練習をする。 第2課の「総合練習」(p.195)を完成する。	学習予定の部分(p.54~57)について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第3回	第3課 自己紹介——自分の家族や友達について紹介するための表現を活用し、ペアワークで会話練習をする。 第3課の「総合練習」(p.197)を完成する。	学習予定の部分(p.62~65)について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第4回	第4課 お誘い 友達と待ち合わせをする場面をイメージし、日時や場所などに関する表現を活用し、ペアワークで会話練習をする。 第4課の「総合練習」(p.199)を完成する。	学習予定の部分(p.70~73)について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			

第5回	第5課 レストラン レストランで食べ物や飲み物を注文する場面をイメージし、ペアワークで会話練習をする。 第5課の「総合練習」(p.201)を完成する。	学習予定の部分(p.78~81)について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第6回	第6課 買い物 デパートやコンビニで買い物をする場面をイメージし、ペアワークで会話練習をする。 第6課の「総合練習」(p.203)を完成する。	学習予定の部分(p.86~89)について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第7回	第7課 道案内 道を尋ねる場面をイメージし、ペアワークで会話練習をする。 第7課の「総合練習」(p.205)を完成する。	学習予定の部分(p.94~97)について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第8回	第8課 趣味に関する雑談 自分の趣味を相手に伝える場面をイメージし、ペアワークで会話練習をする。 第8課の「総合練習」(p.207)を完成する。	学習予定の部分(p.102~105)について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第9回	第9課 旅行の計画 旅行の経験や計画について相手に伝える場面をイメージし、ペアワークで会話練習をする。 第9課の「総合練習」(p.209)を完成する。	学習予定の部分(p.110~113)について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第10回	第10課 病院 自分の症状について医師に伝える場面をイメージし、ペアワークで会話練習をする。 第10課の「総合練習」(p.211)を完成する。	学習予定の部分(p.118~121)について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			

第11回	第11課 トラブル 忘れ物などのトラブルに遭う状況をイメージし、ペアワークで会話練習をする。 第11課の「総合練習」(p.213)を完成する。	学習予定の部分 (p.126~129) について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第12回	第12課 ホテル チェックイン・チェックアウトの場面や、フロントに連絡する場面をイメージし、ペアワークで会話練習をする。 第12課の「総合練習」(p.215)を完成する。	学習予定の部分 (p.134~137) について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第13回	第13課 約束する 友達と約束する場面(食事や映画など)をイメージし、ペアワークで会話練習をする。 第13課の「総合練習」(p.217)を完成する。	学習予定の部分 (p.142~145) について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第14回	第14課 掲示板を見る 掲示板に載っているイベントについて友達と話す場面をイメージし、ペアワークで会話練習をする。 第14課の「総合練習」(p.219)を完成する。	学習予定の部分 (p.150~153) について、予習すること。(90分)	よく復習し、理解度確認テストを完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第15回	まとめ、復習、テスト(朗読) これまで学習した内容を復習した後、テストをする。	これまで学習した内容を復習し、テスト(朗読)の準備すること。(90分)	テストの内容を確認すること。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行いません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	予習、復習、課題の完成度及び授業への参加度、授業態度(40%)＋ペアワーク(20%)＋理解度テスト(10%)＋テスト(30%)	

その他	0	
教科書		
『中国語でコミュニケーション』沈国威監修 氷野善寛、小嶋美由紀他著 朝日出版社		
参考文献		
『実用現代漢語語法』劉月華など著 北京 商務印書館		
履修条件・留意事項等		
1回目の授業に必ず出席すること(やむを得ず出席できない場合、事前に教員に連絡すること)。出席と宿題を重視する。無断欠席は必ず減点要素になる。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 言語プロフェッショナル科目					
科目名		中国語ライティング				ナンバリング	2656
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	云 肖梅						
授業の位置づけ							
中級レベルの中国語の作文力を養成する科目である。ディプロマポリシーとの関連でいえば、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働を可能とし、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につける科目である。1年次の中国語科目の発展科目であるとともに、2年次の中国語科目「総合中国語Ⅰ・Ⅱ」「中国語リスニング」「中国語コミュニケーション」「中国語リーディング」などと関連する科目である。							
授業の概要							
この授業は、中国語の作文の能力を修得する。文章作成は中国語の学習段階で最大の難関と言われる。総合的な運用能力として、語学力、表現力、漢字の知識、中国語の構文に対する理解などの能力がが作文力に集約される。本科目は作文訓練を重視し、身近にある物事、自分の経験や思いを作文素材とし、短文から挑戦し、次第に長文としての文章や、体裁のある文章を書けるように訓練する。作文・添削・講評の作業が授業の基本設定であり、基本訓練の積み重ねにより、作文能力のレベルアップを目指す。							
到達目標							
自己紹介、日記、感想と意見、説明文など、「書く技術」を用いて基本的な文書を作成することができる。 漢語水平考試HSK4級の書写部分を正確に回答できる。							
授業の方法							
生活・学習・仕事などの場面で基本的な作文力を育成するため、配布印刷物を用いて、板書と視聴覚メディアを活用しながら講義形式で進める。							
ICT活用							
Google Classroomの機能を活用し、音声資料の配布、練習問題や理解度テストを行い、双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業目標に掲げた内容の達成度に応じて、次回の授業で微調整を行う。理解度テストの完成度・問題点に対して解説を行い、受講生にアドバイスをする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス(授業の目標、評価方法、および検定試験の種類と受験対策などを紹介する) 実践中国語作文:中国語で自己紹介をする。 中国語で履歴書を書く。	これまで勉強した内容を復習し、自分の基本情報に関する中国語の表現を再確認すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第2回	漢語水平考試HSK4級過去問①(第一部分)書写試験と解説を行う。 中国語の構文(1)存在と所在の表現(プリント配布) 実践中国語作文topic ①私の大学	これまで勉強した内容を復習し、自分の基本情報に関する中国語の表現を再確認すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第3回	漢語水平考試HSK4級過去問②(第一部分)書写試験と解説を行う。 中国語の構文(2)疑問文(プリント配布) 実践中国語作文topic ②私の専攻(設問、回答形式で書く)	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第4回	漢語水平考試HSK4級過去問③(第一部分)書写試験と解説を行う。 中国語の構文(3)連体修飾語(プリント配布) 実践中国語作文topic ③私が好きな有名人	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次回の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			

第5回	漢語水平考試HSK4級過去問④(第一部分)書写試験と解説を行う。 中国語の構文(4)連用修飾語(プリント配布) 実践中国語作文topic ④私の大学生活	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第6回	漢語水平考試HSK4級過去問⑤(第一部分)書写試験と解説を行う。 中国語の構文(5)動詞のアスペクト(プリント配布) 実践中国語作文topic⑤旅の思い	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第7回	漢語水平考試HSK4級過去問①(第二部分)書写試験と解説を行う。 中国語の構文(6)補語(プリント配布) 文型練習	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第8回	漢語水平考試HSK4級過去問②(第二部分)書写試験と解説を行う。 中国語の複文(7)並列関係(プリント配布) 文型練習	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第9回	漢語水平考試HSK4級過去問③(第二部分)書写試験と解説を行う。 中国語の複文(8)選択関係(プリント配布) 文型練習	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第10回	漢語水平考試HSK4級過去問④(第二部分)書写試験と解説を行う。 中国語の複文(9)先後と追加関係(プリント配布) 文型練習	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			

第11回	漢語水平考試HSK4級過去問⑤(第二部分)書写試験と解説を行う。 中国語の複文(10)条件関係(プリント配布) 文型練習	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第12回	中国語の複文(11)仮定関係(プリント配布) 中国語の複文(12)逆接関係(プリント配布) 文型練習	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第13回	中国語の複文(13)因果関係(プリント配布) 中国語の複文(14)取捨関係(プリント配布) 文型練習	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第14回	複文のまとめ 実践中国語作文topic⑥:私が中国(中華)文化への関心点(問題提起・具体例・考察)	学習予定の部分について、予習すること。(90分)	よく復習し、宿題を完成し、次の授業の前日までに提出すること。(90分)
担当教員			
第15回	期末試験	学習した内容について、しっかり復習すること。(90分)	テストの内容を確認すること。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	予習・復習・課題の完成度及び授業への参加度(30%)＋作文(30%)＋テスト(40%)	

その他	0	無断欠席は減点要素となる。
教科書		
なし(配布資料あり)		
参考文献		
丸尾誠著(2010)『よくわかる中国語文法：基礎から発展まで』アスク出版 王亜新著(2011)『中国語の構文』アルク 中国教育部中外語言交流合作中心編『中国語検定HSK公式過去問集4級』スプリックス		
履修条件・留意事項等		
1回目の授業は必ず出席すること。出席と宿題を重視する。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 国際・異文化コミュニケーション科目					
科目名		エアポート中国語				ナンバリング	3744
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	邢 玉芝						
授業の位置づけ							
この科目は世界各地の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけるとともに、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につける科目である。1年次科目「中国語入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、2年次科目「総合中国語Ⅰ・Ⅱ」などの実用発展科目である。							
授業の概要							
この授業は、日本と中国の交流が盛んになる中、エアポートにおける中国語を操る人材の必要度が年々高まっている。この授業では、エアポート勤務を想定し、この勤務をこなすために必要な専門的な中国語力を養成する。同時にエアポート勤務者として必要な基本的考え方や態度を養成する。中国語で書かれたエアポート勤務者として必要な基本フレーズに慣れ親しみ、これらに秘められた意味も理解した上で、中華圏の人々の様々な案内をすることを想定した中国語力を要請する。これらに加え、エアポート勤務に必要な基本的知識や、日本人としての「おもてなし」の態度なども養成する。							
到達目標							
中国語検定3級合格できる総合的な語学レベルに加え、中華圏の観光客を相手に、エアポートの施設案内、お問い合わせを対応できる専門分野の表現を身につける。							
授業の方法							
①教師が学生に課題を出し、インターネットを活用して調査してもらう。 ②中国語でまとめた調査結果を教師が添削する。 ③クラス発表する。 ④ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。							
ICT活用							
Google Formのテスト作成機能を用いて練習問題を解かせて、受講生の理解度を確認する。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

課題を添削する

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス 中国人に接した経験を話し合う。	中国語で自己紹介も含む2分間スピーチを準備する。(90分)	習った新しい表現を整理し、覚える。(90分)
担当教員			
第2回	①前回の学習内容の確認小テスト ②空港内施設とその役割	千歳空港を例に、空港内施設と役割を3つ選んで調べて、まとめる。(90分) 「空港には～があって、～は～をしますところ。」	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			
第3回	①前回の学習内容の確認小テスト ②中国観光客の日本に惹かれるところと残念に思うところ 「中国観光客は～が好きな人が一番多い、～が不便に感じて、少し残念に思う」	中国人を対象に行われたアンケート調査を調べて、150字ほどまとめる。(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			
第4回	①前回の学習内容の確認小テスト ②帰国する当日に空港に到着から、飛行機に搭乗するまでの流れ。 「今日は帰国します。空港に着いたら～して、それから～します・・・」	自分は中国人観光客だと想定して、帰国する当日に空港に到着から、飛行機に搭乗するまでの流れを200字ほどまとめる。(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			

第5回	①前回の学習内容の確認小テスト ②搭乗手続きをする。 「～便に乗って、～分前から、荷物～キロまで・・・」	中国国際航空と春秋航空について搭乗手続きを調べて、共通点と違いをまとめる(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			
第6回	①前回の学習内容の確認小テスト ②セキュリティーチェックと出国手続き。 「～を持ち込めない。～をバッグから出して通る必要がある」	持ち込めないもの、荷物の大きさなどを調べて、まとめる(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			
第7回	①前回の学習内容の確認小テスト ②免税店で買い物、レストランで食事をする。	中国へ持って行ける量に制限を設けているものを調べる。(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			
第8回	①前回の学習内容の確認小テスト ②搭乗案内のアナウンス (事情による遅れの対応)	以前に発生した中国人の航空便欠航による騒ぎを調べ、感想を200字にまとめる。(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			
第9回	①前回の学習内容の確認小テスト ②第2回～第8回のまとめ グループ分けて、乗客と空港職員のやり取りを演じる練習をする	グループ分けて、乗客と空港職員のやり取りを演じる台本を作る。(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			
第10回	①前回の学習内容の確認小テスト ②グループ分けて、乗客と空港職員のやり取りを演じる	発表のための練習をする(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			

第11回	機内サービス、アナウンス	指定される動画3本をみて文字起こしをする(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			
第12回	①前回の学習内容の確認小テスト ②入国審査、荷物の受け取り、税関通過の際に使われる表現	日本国に持ち込み禁止されるものを調べる(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			
第13回	①前回の学習内容の確認小テスト ②荷物が出てこないロストバゲージの対応	道内主なホテルの中国語表示を調べる。(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			
第14回	①前回の学習内容の確認小テスト ②空港からの交通手段	千歳からニセコまでの交通手段を案内できるように(90分)	今まで学習した内容を総復習する(90分)
担当教員			
第15回	①単語テストする ②2人一組で指定される場面の乗客と職員のやり取りを演じる	今まで学習した内容を総復習する(90分)	ほかの学生の発表を取り入れ、自分の発表内容をより充実させる。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	課題の完成度及び授業への参加度、授業態度(30%)＋ペアワーク(30%)＋小テスト(40%)	

その他	0	
教科書		
資料配布		
参考文献		
授業内で適宜指示する。		
履修条件・留意事項等		
「総合中国語Ⅱ」を終了することが望ましい		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 国際・異文化コミュニケーション科目					
科目名		エアラインビジネス				ナンバリング	2724
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	牧野 正恵						
授業の位置づけ							
航空業界の専門的な知識を学ぶことにより、観光・ビジネス業界などの関連性を理解し、実践に応用可能な幅広い教養を身に着けるための科目である。ディプロマポリシーのうち、世界と地域の観点から、自然環境、社会、文化、歴史等についての高度な専門知識、世界各地域の活性化をつなげるための異文化コミュニケーション能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟性で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身に着ける科目である。							
授業の概要							
この授業は、将来、航空業界・旅行業界関係の仕事に就くことを目指す学生のための授業である。国際運輸の現状と課題を概観し、国内航空産業の現状を講義する。学生は、航空関係に資料を集め、これからの航空ビジネスはどうあるべきか、グループで調査し、発表していく。また、航空業界に共通する、おもてなしを表す非言語行動も合わせて演習していく。							
到達目標							
1. 航空業界の基礎知識・業務やサービスの多様化を理解し説明できる。 2. 航空機を利用した、国内・海外旅行に必要な情報を精査し、企画・立案できる。 3. 接客業に必要な接遇マナーを習得し実践できる。 4. 航空会社の企業研究・海外の観光地を調べ、旅行の企画をプレゼンテーションを実践することにより、就職活動に役立てることができる。							
授業の方法							
1. 板書・視覚メディア・プリント配布 2. 講義形式 3. グループディスカッション・プレゼンテーション 4. レポート提出							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

日本航空株式会社・JALWAYS(株)にて、国際線客室乗務員として12年間乗務する。 航空業界やマナー接遇について幅広い知識を有している。この経験を活かして航空業界や接客業の基本知識や就職対策などについて授業を行う。

課題に対するフィードバックの方法

レポート・プレゼンテーションに対し個々にコメントします。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション・・・授業の進め方・評価方法・受講時の注意点 現在の航空業界の動向についてディスカッション	講義を受講するにあたり、抱負と期待することを考えておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第2回	接客接遇・就職面接に必要なマナーについて 第一印象の重要性・身だしなみ、立ち居振る舞い・言葉遣いなど	サービス業に必要なマナーとは何かを考えておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第3回	航空機の歴史と変遷 仕組み・種類	世界の航空機の種類と仕組みについて調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第4回	日本の航空会社について・・・歴史・変遷・FSC・LCCとは 日本と世界の空港について	FSC・LCCの違いについて調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			

第5回	プレゼンテーションについて内容説明・グループ分け・スケジュール確認 海外旅行を企画・・・使用する航空会社の企業研究・その国の歴史・観光地・習慣の違いなど	プレゼンテーションに必要な内容を調べPowerPointを使用し資料作成(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第6回	プレゼンテーション 海外旅行を企画・・・使用する航空会社の企業研究・その国の歴史・観光地・習慣の違いなど	プレゼンテーションに必要な内容を調べPowerPointを使用し資料作成(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第7回	プレゼンテーション 海外旅行を企画・・・使用する航空会社の企業研究・その国の歴史・観光地・習慣の違いなど	プレゼンテーションに必要な内容を調べPowerPointを使用し資料作成(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第8回	プレゼンテーション 海外旅行を企画・・・使用する航空会社の企業研究・その国の歴史・観光地・習慣の違いなど	プレゼンテーションに必要な内容を調べPowerPointを使用し資料作成(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第9回	プレゼンテーション 海外旅行を企画・・・使用する航空会社の企業研究・その国の歴史・観光地・習慣の違いなど	プレゼンテーションに必要な内容を調べPowerPointを使用し資料作成(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第10回	航空業界にかかわる異業種Ⅰ 航空管制官(DVD鑑賞)	航空管制官について調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			

第11回	航空業界にかかわる異業種Ⅱ 機内食にかかわるケータリング(DVD鑑賞)	ケータリングについて調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第12回	航空業界にかかわる異業種Ⅲ 税関管理官・検疫官など	税関検査について調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第13回	航空会社の主要な職種 グランドスタッフ・整備士について(DVD鑑賞)	グランドスタッフの仕事について調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第14回	航空会社の主要な職種 キャビンアテンダント・パイロットについて	キャビンアテンダントの仕事について調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておく(90分)
担当教員			
第15回	航空機を出発させるために関わる航空会社の流れについて映画鑑賞し、レポート提出	航空業界の関わる業務内容について復習しておくこと(90分)	航空業界について学習した内容についてをまとめておくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しません	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	50	授業態度・積極性・レポート提出内容	

その他	50	プレゼンテーション・グループディスカッション
教科書		
授業時にプリント配布		
参考文献		
適宜指示		
履修条件・留意事項等		
受け身ではなく、自ら学び自己を高める意識を持っていること。 航空業界・旅行業界に興味を持って授業に取り組めること。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 国際・異文化コミュニケーション科目					
科目名		ホスピタリティマネジメント				ナンバリング	3722/3558
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	小山田 健						
授業の位置づけ							
ホスピタリティの基本を学び、グローバルな視点でも理解を深めホスピタリティマインドの実践のための科目である。世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーションを身につけ、グローバル社会の中で世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を備えるための科目である。							
授業の概要							
この授業は、相手の気持ちや望みを素早く読み取って、心からおもてなしするホスピタリティは、AIにはできない人間ならではの行動だといわれる。この授業では、おもてなしの心は「相手に喜んでもらうことが自分の喜び(ホスピタリティーマインド)」になり、それが他者や社会の貢献になることを演繹的に学んでいく。航空関係や宿泊業、医療機関などサービス関係の仕事に限らず、多くの企業が経営方針にホスピタリティ教育に取り入れ、それが職場環境を好転させること(ホスピタリティマネジメント)の重要性をあげている。この授業では、TDRのキャストを事例に、おもてなしで顧客の満足度が向上することで、個人のホスピタリティマインドが生まれ、それがスタッフ間においても喜びを与えるようになり、自分自身も誇りや働きがいを持てるようになる、といった循環モデルを学び、自ら相手の立場に立って物事を考え、さらに深いニーズに応じて相手を喜ばせていく仕事観や生き方を考えていく。							
到達目標							
1. ホスピタリティの基本と重要性が理解できる。 2. ホスピタリティを理解し就職活動に役立てることができる。 3. 企業・職種・身近な生活にもホスピタリティが存在し、理解することで実践することができる。							
授業の方法							
1. 準備学習の確認 2. 板書・プリント配布・視聴覚メディア(DVDなど) 3. 講義形式 4. グループディスカッション、プレゼンテーション、レポート							
ICT活用							
資料提示や情報収集のために、スマートフォンなどを使用する場合がある。本学が推奨するものや、zoomなども取り入れていく。							
実務経験のある教員の教育内容							

約20年間民間企業等で、観光や広告宣伝部門の業務に携わる。また、直近の5年間は、学生が地域をフィールドに、街の活性化に取り組む学外実践授業のコーディネーターとして、40以上のプロジェクトの実施とサポートを行う。また、日本PBL研究所のアドバイザー資格を有し、講師なども担当している。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション →授業の進め方・評価方法・受講時の留意点	ホスピタリティとは何かを考えておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第2回	ホスピタリティの社会的背景と重要性を理解する	自分が体験したホスピタリティについて考えておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第3回	ホスピタリティを高めるために基本の接遇マナーを学ぶⅠ →第一印象の重要性	身近なマナーについて考えておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第4回	ホスピタリティを高めるために基本の接遇マナーを学ぶⅡ →話の聞き方、話し方	自己紹介の内容をまとめておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			

第5回	プレゼンテーションⅠ →観光とホスピタリティ／各都道府県の観光地・特産品・風習などをプレゼンテーションする	プレゼンテーション準備(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第6回	プレゼンテーションⅡ →観光とホスピタリティ／各都道府県の観光地・特産品・風習などをプレゼンテーションする	プレゼンテーション準備(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第7回	プレゼンテーションⅢ →観光とホスピタリティ／各都道府県の観光地・特産品・風習などをプレゼンテーションする	プレゼンテーション準備(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第8回	プレゼンテーションⅣ →観光とホスピタリティ／各都道府県の観光地・特産品・風習などをプレゼンテーションする	プレゼンテーション準備(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第9回	プレゼンテーションⅤ →観光とホスピタリティ／各都道府県の観光地・特産品・風習などをプレゼンテーションする	プレゼンテーション準備(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第10回	観光地のホスピタリティⅠ →コロナ禍における最新の事例を報告。レポート提出	小樽の観光協会が行うおもてなしの取り組みについて調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			

第11回	観光地のホスピタリティⅡ →コロナ禍における最新の事例を報告。レポート提出	富良野の観光と、グローバルコミュニケーションについて調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第12回	観光地のホスピタリティⅢ →コロナ禍における最新の事例を報告。レポート提出	札幌の観光と、新千歳から海外へ就航するフライト便について調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第13回	ホテル業界のホスピタリティ	興味関心のあるホテルについて調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第14回	飲食業界のホスピタリティ	よく行く飲食店について調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第15回	これまでの講義の振り返りと最終レポート →チーム編成をして、これまでの振り返りのためのディスカッションと発表を行う →最終レポート提出	これまでの授業内容を復習しておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	準備学習の状況、授業態度、授業意欲、グループディスカッション、各授業内でのレポート、プレゼンテーション、事後学習の状況	

その他	30	最終レポート(これまでの授業の理解度の確認。レポートのテーマについては最終日に伝える)
教科書		
なし		
参考文献		
随時配布		
履修条件・留意事項等		
ホスピタリティを学ぶ授業であるため、大学の基本事項となる授業の無断欠席や、遅刻等が多い学生の履修はNGとします。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 国際・異文化コミュニケーション科目					
科目名		異文化ビジネスコミュニケーション				ナンバリング	3786
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	岡本 佐智子						
授業の位置づけ							
国際・異文化コミュニケーション科目における異文化関連授業の発展科目で、特に「異文化コミュニケーション論」に連携する。グローバルな企業の内・間での共生・協働することを可能とする国際性や柔軟性で前向きなコミュニケーション能力と、世界につながるための地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけ(関心・意欲・態度)、ビジネス交流するための科目である。							
授業の概要							
この授業は、国内外の企業や組織等で、ビジネスパーソンに必要な異文化間のコミュニケーション能力とは何かを、異文化間コンフリクトの事例を通して考えていく。日本で働く外国人の増加だけでなく、情報技術の進化は誰もが自国にいながら世界中の人々と仕事をする時代になってきた。外国語が得意でも、コミュニケーションスタイルをはじめ、考え方や仕事の進め方、意思決定、交渉方法など、異文化間でのコンフリクトが起こりやすい環境にある。多様化しているビジネスカルチャーに対応していくために、海外赴任ビジネスパーソンとローカル従業員とのトラブル事例を中心に、ディスカッションを通して外国企業や多国籍企業など、多文化社会・組織で働くための異文化コミュニケーション能力とはなにか、各自の「気づき」を促進していく。							
到達目標							
1. グローバル企業の異文化コミュニケーション対応例が挙げられる。 2. 多様なコミュニケーションスタイルに寛容になれる。 3. 世界の諸英語を理解し、母語文化の影響を受けた英語を堂々と発信できる。							
授業の方法							
授業の前半は講義プリントやスライドで講義形式で行う。後半は異文化ビジネスのトラブル事例をグループでディスカッションする。課題レポート1回、課題発表およびグループプレゼンテーション2回、確認テストを1回行う。							
ICT活用							
課題や調査発表に、書籍だけでなくインターネットでのデータ収集を行う。課題はGoogle Classroomを活用し、提出投稿および返却を行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当しない。

課題に対するフィードバックの方法

課題には、次回の授業時までにコメントを記して個別に返却する。講評は次回の授業内で行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション グローバル企業とは、どのような異文化対応で世界戦略をしているかを眺める。	マクドナルドの英語非母語話者国での英語使用サイトを読んでくる。(90分)	マクドナルドの世界展開を確認しておく。(90分)
担当教員			
第2回	日本企業の外国人採用とその問題点 求める日本語能力と英語能力	英語を社内公用語としている企業を調べてくる。(90分)	企業の日本語／外国語能力評価基準についてまとめる。(90分)
担当教員			
第3回	グローバル社会の英語コミュニケーション能力 英語非母語話者の英語を理解するために:シンガポールを事例として	世界の英語使用者人口と分布を調べておく。(90分)	リンガフランカとしての英語の役割をまとめる。(90分)
担当教員			
第4回	世界の諸英語 受講者はインド英語、マレーシア英語、ニホン英語等の英語非母語話者国の英語の特徴を調査発表し、多様な英語への理解を深める。	発表準備(150分)	諸英語の国別特徴をまとめる。(30分)
担当教員			

第5回	ダイバーシティ・マネジメントの問題Ⅰ フレームファーストか、メインファーストか等、コミュニケーションスタイルの特徴を概説する。	特定企業を想定し、英語で就活用の自己PR文を作成しておく。(90分)	自己PR文を2パターン書き直しておく。(90分)
担当教員			
第6回	ダイバーシティ・マネジメントの問題Ⅱ 企業事例を通して意思決定と言語管理の在り方を考える。	コカコーラ社サイトから、そのグローバル展開史を読んでおく。(90分)	ディズニーの海外マネジメントを調べておく。(90分)
担当教員			
第7回	英語で日本文化を紹介するⅠ 外国人ビジネスパーソンがよくする質問	特定の国を想定し、日本人が現地外国人ビジネスパーソンによくする質問を10考えておく。(90分)	日本企業文化の価値観を確認しておく。(90分)
担当教員			
第8回	英語で日本文化を紹介するⅡ 外国人ビジネスパーソンに説明しておきたい日本事情の発表	発表準備(150分)	各発表内容をまとめておく。(30分)
担当教員			
第9回	食品メーカーのグローバル戦略Ⅰ 食文化と宗教	国内外の飲料・食品メーカーから一つを選び、そのグローバル対応を調べておく。(90分)	アルコール飲料をはじめとする日本の飲料メーカーのグローバル戦略をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第10回	北海道ブランド食品のグローバル戦略 特定の企業・団体のHPから、その海外セールスにおける現地文化と日本文化。	北海道の食品や農産物などの中小企業団体からひとつを選び、その世界展開案を考えておく。(90分)	海外における北海道物産展を成功させるためのセールス文を考える。(90分)
担当教員			

第11回	異文化間コンフリクトへの対応Ⅰ 中国人ビジネスパーソンとの対立管理から	プリントを読んでおくこと。(90分)	中国文化における面子の概念を理解しておくこと。(90分)
担当教員			
第12回	異文化間コンフリクトへの対応Ⅱ 外国人ビジネスパーソンとの対立管理から	配布資料を読んでおくこと。(90分)	外国人観光客とのトラブル事例をまとめておく。(90分)
担当教員			
第13回	異文化間の言語文化管理 翻訳・通訳の誤訳とすれ違い	サイトで外国映画の翻訳テクニックを調べておくこと。(90分)	指定文章を限られた文字数で和訳する。(90分)
担当教員			
第14回	AI翻訳・通訳の現状 文化を訳すことの難しさ	一つの地域ニュースを2つの自動翻訳サービスで英訳して読み比べておく。(90分)	通訳・翻訳者に必要な異文化知識をまとめておく。(90分)
担当教員			
第15回	まとめ 確認テストと復習	復習しておくこと。(90分)	テストの誤答を訂正し、補足説明を記しておくこと。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	課題提出20%、課題発表40%、ディスカッション等の授業参加度30%、確認テスト10%。	

その他	0	
教科書		
講義プリントを配布する。		
参考文献		
竹下裕子・荒川洋平編著『国際コミュニケーションマネジメント入門』2022, 有斐閣。本名信行『多共生共生時代に学ぶ英語』2022, 玉川大学出版部。本名信行・竹下裕子編『共生社会の異文化間コミュニケーション』2009, 三修社。立川真紀絵「ビジネスコミュニケーションにおける異文化間コンフリクトへの対応」2013, 日本語教育155号。ほか、授業で適宜紹介する。		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 国際・異文化コミュニケーション科目					
科目名		異文化理解論				ナンバリング	1782
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	渡部 淳						
授業の位置づけ							
この授業は「世界と地域の視点から、自然環境、社会、文化、歴史等についての高度な専門知識を身につけている。(知識・技能)グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を備えている。(関心・意欲・態度)」等に関連する科目である。							
授業の概要							
この授業は、世界の言語とその背景にある文化や社会の多様性を学びながら、異文化理解への理解を深める科目である。							
到達目標							
学生が、異文化を背景に持つ他者への理解を深め、他者とのコミュニケーション能力を獲得することを到達目標とする。							
授業の方法							
印刷配布物や視聴覚資料を用いて講義形式で進める。 授業で得た知識や自分で調べた情報をもとに、自らの考えをまとめるレポートを書かせる。 授業全体の理解度、応用力、独自の考えが生まれたのかを小論文で確かめ、そのフィードバックを行う。							
ICT活用							
授業内容に関連するホームページや動画など。動画等の視聴による自主学習支援。							
実務経験のある教員の教育内容							

課題に対するフィードバックの方法

代表的なレポート課題や小論文などを抽出し、それらについてコメント・講評などを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション	シラバスを良く読み自分の問題意識を整理すること。自分の関心事のプレゼンの準備(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第2回	世界の言語、宗教などの文化的な広がり俯瞰する。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第3回	交流から生まれる文化:自文化と他文化の関係性から異文化を考える。 日本の文化が世界とのどのような交流によって生成しているか学生に考えさせ、史実に沿って学習しながら、日本の文化に内在する世界のさまざまな文化や価値観への気づきを促す。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第4回	東アジア地域の文化:日本の文化と東アジア地域のつながりについて	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			

第5回	東南アジア地域の文化:日本とのつながりと歴史の多層性と文化的多様性について 映像資料を用いて、音楽や芸術などの日本との類似点について、中国も含めた大きな文化交流の視点から考えさせる。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第6回	南アジア地域の文化:日本とのつながりと多言語主義について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第7回	西アジア地域の文化:ペルシアとイスラームの思想と文化について 担当教員が実際に中東に行った時の体験談や撮影した写真から、学生のイメージと実際の現地の実態のギャップを考察させ、世界の文化の多様性や奥深さへの気づきへと導く。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第8回	西ヨーロッパ地域の文化:古代ギリシア・ローマとルネサンス以降の文化について ルネサンスや宗教改革が、イスラームやモンゴルなどの外部世界との交流によってもたらされていることを、具体的な史実に沿って学習し、ヨーロッパ文化にとっての異文化の意味を考察する。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第9回	イギリスの文化:英語発祥の地の歴史と文化について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第10回	コモンウェルス文化:英連邦の文化について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			

第11回	アメリカの文化(1)超大国の歴史と文化について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第12回	アメリカの文化(2)現代社会の文化と表現について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第13回	グローバル空間での新しい文化の生成:IT時代のコミュニケーション文化について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第14回	これまでの振り返りと、各自の考えをまとめる小論文の作成	これまでの全ての授業の内容とそれに対する考えを自分なりに整理しておくこと。(90分)	小論文の内容について振り返り思ったように書けたのか検証する。(90分)
担当教員			
第15回	小論文の講評とグローバル化時代の文化へのアプローチ	自分の小論文をこれまでの授業内容から自分なりに評価してみること。(90分)	フィードバックを参考に自分なりにこの授業で得た知識を考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業態度と積極性20% 授業課題で提出するレポート50% 小論文30%	

その他	0	なし
教科書		
参考文献		
履修条件・留意事項等		
異なる複数の文化の相違点に関心を持つ学生の参加を歓迎する。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 国際・異文化コミュニケーション科目					
科目名		観光中国語				ナンバリング	2740
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	大沼 尚子、大沼 尚子						
授業の位置づけ							
本授業の目標は1年次に習得した中国語能力をさらに伸ばし、「読む」「書く」「話す」「聞く」の4技能の向上を図ることにある。ただし、学習者それぞれのニーズは自ずと異なることから、授業では最低限度必要な知識を教え、今後学生が自分で目標を立てて中国語能力を高めていけるための基礎訓練に力を入れている。また学生個々のニーズによって自主的に学習目標を立ててくれることを期待している。広い視野を持ち、深い知識と技能を修得し、観光ビジネスの現場で実践的に使うことができる。世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけ、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟性で前向きなコミュニケーション能力を備えるための科目である。							
授業の概要							
観光に必要な様々な中国語表現を学び、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成する。また、観光中国語の様々な特徴や、発話・リスニングの際のコツを指導する。観光分野に関する様々な中国語語彙、表現を身につけて、基本的な接遇ができるようになる。							
到達目標							
観光の現場では、日常会話のみならず、特定の用語や表現等の理解が必要となる。本科目では、日常会話力の向上と観光現場で必要となる用語・表現等の修得をめざす。空港やホテルなどの海外旅行で接する会話場面を想定し、旅行者としてまた観光業従事者として必要となる表現を学修する。							
授業の方法							
毎回必ず出席をとり、授業時に毎回何名かの学生に発音させたり、練習問題を書かせたりする。さらに各1~2回の授業で1課を終える進度でテキストを学んでいく。たまには中国に関するビデオを見せます。小テストも行う。詳しいことはガイダンスの時に説明する。 予習:テキスト付属のCDを聞いてくる。教科書を読んでみて分らない単語を調べていく。説明が載っている文法 の部分を読んでいく。復習:その日の授業で習ったところの意味をよく考えながら音読しよう。ノートを見直そう。また、先生に積極的に質問していこう。小テストや定期考査前には、再度、復習する必要があるので取り組もう。							
ICT活用							
時には観光に関するビデオを鑑賞する							
実務経験のある教員の教育内容							

なし

課題に対するフィードバックの方法

提出された課題についての解説は授業の前または後で行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	習っていた中国語の文法を復習する	観光中国語について知っていることを調べる(90分)	第一課の予習。(90分)
担当教員			
第2回	第一課 旅行の計画 (1)“都”について (2)兼語文	第1課の単語を調べると文法をじっくり読む(90分)	音声を聴きながら復習すること(90分)
担当教員			
第3回	第二課 航空券を予約する (1)前置詞“把” (2)動詞+“一下”	第2課の単語を調べると文法をじっくり読む(90分)	音声を聴きながら復習すること(90分)
担当教員			
第4回	第1と2課の復習	第1と2課の単語、文法とドリルを復習する(90分)	音声を聴きながら復習すること(90分)
担当教員			

第5回	第三課 上海浦東空港にて (1)連用修飾語“地” (2)会～的	第3課の単語を調べると文法をじっくり読む(90分)	音声を聴きながら復習すること(90分)
担当教員			
第6回	第四課 昆明飛行場の出口にて (1)アスペクト“着” (2)使役表現	第4課の単語を調べると文法をじっくり読む(90分)	音声を聴きながら復習すること(90分)
担当教員			
第7回	第1～4課の復習	第1～4課の単語、文法とドリルを復習する(90分)	第1～4課の復習(90分)
担当教員			
第8回	中間テスト及びまとめ	習った内容をそう復習する(90分)	第6課の予習(90分)
担当教員			
第9回	第六課 乗り換え (1)呼応関係 (2)多+形容詞、多+動詞文	第6課の単語を調べると文法をじっくり読む(90分)	音声を聴きながら復習すること(90分)
担当教員			
第10回	第七課の単語と文法を復習する(90分)	第7課 買い物 (1)「才」+数量/時量 (2)「尽管～但是～」	第7課の単語を調べると文法をじっくり読む(90分)
担当教員			

第11回	第六と七課の復習	第6と7課の単語、文法とドリルを復習する(90分)	第8課の復習
担当教員			
第12回	第八課 病気を見てもらう (1)「最好～」(2)「只要～就～」	第8課の単語を調べると文法をじっくり読む(90分)	音声聴きながら復習すること(90分)
担当教員			
第13回	第十二課 中国観光客に偶然出会った (1) 程度補語 (2)「即使～也～」	第12課の単語を調べると文法をじっくり読む(90分)	音声聴きながら復習すること(90分)
担当教員			
第14回	口述試験及び復習	口述試験に関する会話の準備(90分)	後期習った内容の復習(90分)
担当教員			
第15回	期末試験及びまとめ	第6～12課の復習(90分)	試験問題の解析とまとめ(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	平常点は40%(出席10%、課題10%、口述試験20%)、授業中行う3回復習テストは60%。	

その他	0	出席と宿題を重視します。無断欠席は必ず減点要素になります。
教科書		
「体感中国語」～初級からのステップアップ～、同学社、奈良行博・大沼尚子など著		
参考文献		
Why? にこたえる初めての中国語の文法書／相原茂・石原田知子・戸沼市子／同学社		
履修条件・留意事項等		
予習: テキスト付属のCDを聞いてくる。教科書を読んでみてわからない単語を調べていく。説明が載っている文法の部分を読んでいく。 復習: その日の授業で習ったところの意味をよく考えながら音読しよう。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		国際コミュニケーション科目 国際・異文化コミュニケーション科目					
科目名		国際コミュニケーション演習Ⅱ				ナンバリング	2705
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	Todd Robert Enslen、Todd Robert Enslen						
授業の位置づけ							
この科目での学習を通して学術目的の言語使用に主眼をおいた英語の高度な運用能力を身につけることが期待される。							
授業の概要							
この授業は、国際コミュニケーション演習Ⅰで学んだ「外国語の実践的運用」と「自分の文脈での異文化理解」をもとに学外機関との連携授業にて適切な解を提示する科目である。したがって、授業での達成目標は、「協働学習で問題解決を検討し、適切にソリューションを提示し社会実装まで到達することとする。 当該授業では、学外機関が現在直面している課題とそれに係る諸条件(状況、必要経費等)を受け取り、その課題に対して「国際コミュニケーション演習Ⅰ」で学んだスキルをもとに、文献調査、定性的・定量的調査を外国人と日本人学生との混在グループで行い、学外機関へのソリューションの提案を行う。採用されたアイディアは、実際に実施してもらうこととし、学生が運営・実施に携わる。なお、学外機関は、恵庭市の企業や機関とすることで、学生によるアウトリーチ活動での地域貢献を果たす。 国際コミュニケーション演習Ⅰでの教室内での練習と当該授業による実社会への実装を多様な社会背景を持つグループで体験することで、本学が目指す「国際コミュニケーション力」の涵養を総合的に目指す。							
到達目標							
Upon completing this course, students will be able to: 1. Make presentations that incorporate the language and content knowledge of a particular game adequately so others who have not played the game before can complete the game. 2. Negotiate meaning through both questioning and recasting.. 3. Use English in meaningful ways to explain processes and accomplish goals.							
授業の方法							
Students will expand upon what they learned in the first semester by introducing new games: cooperative, competitive and pair games in the three separate categories. Students will work in groups keeping a journal to record information, such as vocabulary, the back story and rules about the game. Once the students understand their games, they will present their game to students from other groups, write a summary of the game, take a quiz about the game and also present the game to the teacher. Therefore, students will be incorporating all four skills (speaking, listening, reading, and writing).							
ICT活用							
Students will use Google Classroom to access class information and any announcement the teacher makes. They can also access YouTube videos on how best to play the games.							
実務経験のある教員の教育内容							

なし

課題に対するフィードバックの方法

Students will receive immediate feedback from other students and the teacher during their group work in class. They will also have individual feedback regarding quizzes, summaries and presentations to the teacher.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Orientation to the class	Students will work in groups to explain the different types of games to orient students not in the first semester class.(90分)	Explain why the class is designed this way and how Problem Based Learning helps students to learning and practice language more. Understand the syllabus and expectations. (90 分)
担当教員			
第2回	Cooperative Games - - Unlock 1 - Unlock 2 - Unlock 3 - Mysterium - Horrified - Back to the Future	Do a Google search of cooperative games. Write and explanation of what they are. Write a brief description of a cooperative game you have played before. Give an example. (90分)	Check understanding of PBL and Cooperative Games. Get into group assignments and decide on the game for each group. Begin going over the rules. Enter information into journals. (90 分)
担当教員			
第3回	Cooperative Games - Understanding you game	Watch YouTube tutorial on how the game is played. Review vocabulary that is new to you. (90分)	Share what you learned about the game with group members. Make notes in journal. Set up games and begin play. (90 分)
担当教員			
第4回	Cooperative Games - Teaching your game to others	Write a summary of the game to be handed in for grading. (90 分)	Play the game again to make sure you have a clear understanding of how it is played and the rules. Get into new groups and teach your game to others and learn about other games. (90 分)
担当教員			

第5回	Cooperative Games - Demonstrating knowledge	Review journal and summary. Compare with other group members and revise accordingly. Prepare for quiz. (90 分)	Take a quiz on the game contents. Continue teaching your game and learning about other group members' games. (90 分)
担当教員			
第6回	Cooperative Games - Test of English and Game knowledge	Review notes and summary. Watch the game being played on YouTube. (90 分)	With a partner, explain the game to the teacher. You will be graded on game knowledge and the English you used to explain. (90 分)
担当教員			
第7回	Competitive Games - Learning the basics - Splendor - Niagara - Tiny Towns - Magic Maze - King of Tokyo - Ticket to Ride	Do a Google search to understand competitive games. Write a brief description of a competitive game. Give an example. (90分)	Get into group assignments and decide on the game for each group. Begin going over the rules. Enter information into journals. (90 分)
担当教員			
第8回	Competitive Games - Understanding your game	Watch YouTube tutorial on how the game is played. Review vocabulary that is new to you. (90分)	Share what you learned about the game with group members. Make notes in journal. Set up games and begin play. (90 分)
担当教員			
第9回	Competitive Games - Teaching your game to others	Write a summary of the game to be handed in for grading. (90 分)	Play the game again to make sure you have a clear understanding of how it is played and the rules. Get into new groups and teach your game to others and learn about other games. (90 分)
担当教員			
第10回	Competitive Games - Demonstrate knowledge	Review journal and summary. Compare with other group members and revise accordingly. Prepare for quiz. (90 分)	Take a quiz on the game contents. Continue teaching your game and learning about other group members' games. (90 分)
担当教員			

第11回	Competitive Games - Test of English and Game Knowledge	Review notes and summary. Watch the game being played on YouTube. (90 分)	With a partner, explain the game to the teacher. You will be graded on game knowledge and the English you used to explain. (90 分)
担当教員			
第12回	Pair Games - Understanding the Game - Battle Lines - Hive - Cribbage - Battle Lines - Hive - Truffle Shuffle - Azul - Jaipur	Watch YouTube tutorial on how the game is played. Review vocabulary that is new to you. (90分)	Share what you learned about the game with group members. Make notes in journal. Review the instructions. Set up games and begin play. (90 分)
担当教員			
第13回	Pair Games - Teaching Your Game to Others	Write a summary of the game to be handed in for grading. (90 分)	Play the game again to make sure you have a clear understanding of how it is played and the rules. Get into new groups and teach your game to others and learn about other games. (90 分)
担当教員			
第14回	Pair Games - Test of English and Game Knowledge	Review notes and summary. Watch the game being played on YouTube. (90 分)	With a partner, explain the game to the teacher. You will be graded on game knowledge and the English you used to explain. (90 分)
担当教員			
第15回	Comprehensive Test/ Class Questionnaire	Review the three game types and specific points. (90 分)	Take the test. (90 分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合 (%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Quizzes over each type of game (25%) Presentation of the game (25%) Written Summaries (50%) Participation in class activities (20%)	

その他	0	該当なし
教科書		
All of the games and handouts will be supplied by the teacher in class.		
参考文献		
Reference materials will be introduced in the class.		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		キャリア形成 社会人基礎力					
科目名		ICTリテラシー				ナンバリング	1160
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	松岡 審爾、松岡 審爾						
授業の位置づけ							
社会人基礎力として数理・データサイエンス・AIを理解する力を養うための科目である。また、国際教養学科と国際コミュニケーション学科のディプロマ・ポリシー「北海道、日本及び世界諸地域の課題に対応できる情報処理や分析の能力、論理的・批判的な思考や判断をする能力を身につけている。(思考・判断・表現)」と特に関係がある科目である。							
授業の概要							
この授業は、現代の現代社会の情報化およびグローバル化によるICTの役割や影響を理解し、かつ、それらを活用しながら、主体的に対応できる能力と態度を育てることを目標とする。授業では、ICTがもたらした世界への影響と、情報化世界への適切な対応に必要な技術、倫理についての必要な知識の修得を目標とする。さらに発展したパソコンの能力及び情報活用能力を身に付けることを最終目標とする。							
到達目標							
数理・データサイエンス・AIが、現在進行中の社会変化に深く寄与し、生活に影響を与えていることを説明できる。 数理・データサイエンス・AIが日常生活や社会の課題を解決するうえで有用であると同時に限界もあることについて説明できる。 数理・データサイエンス・AIが適用されることにより様々な領域であらたな価値がうみだされている実例をあげることができる。 数理・データサイエンス・AIを活用するあたって留意すべき事(ELSI、個人情報保護、データを扱う上での倫理)について説明できる。 実際のデータが与えられたとき、そのデータの全体像をよみとり、その特徴を可視化して説明することができる。							
授業の方法							
パワーポイント等を用いて講義形式ですすめる。一部のテーマについてはディスカッションを取り入れて学習を行う(第14回、第15回)。データ処理においてはパソコンを用いた演習を行う(第3回～第5回、第10回～第13回)。							
ICT活用							
Google Formのテスト作成機能を用いて、宿題を出題する(全15回)。パソコンを用いた演習を行う(第3回～第5回、第10回～第13回)。Google Formのアンケート作成機能を用いて、提出されたAIの企画を共有する(第9回)。掲示板アプリを用いて意見を出し合う(第14回、第15回)。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして宿題の正解を表示するとともに、宿題と同時に提出された質問事項に答える。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【データサイエンスの概要】ICT(情報通信技術)の進歩にともなうサイバー空間の創出、ビッグデータの特性(3つのV)、IoTについて理解する。また、サイバー空間の発展およびAI(人工知能)の発達によってもたらされる未来社会のコンセプトであるSociety 5.0をイメージできるようにする。【社会で活用されているデータ】データの種類、および社会でどのようにデータが活用されているかを学ぶ。	教科書の第1章1.1, 1.3.1～1.3.3を読んでおく。また、「Society 5.0」について調べておく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第2回	【AIとは、社会におけるAIの利活用】AI(Artificial Intelligence: 人工知能)とはなにかを理解する。また、AIテキストマイニング、AI翻訳などを使用することによりAI技術の有用性やその限界を体験する。さらにAIの利活用の事例を調べ社会におけるAIの有用性を理解する。	教科書の第1章1.1.3、第3章3.8.5を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第3回	【データリテラシー・実データの特徴を調べる】データ分析全体の流れを理解したのち、RESAS, e-Stat等を利用してインターネットからデータを取得する方法を習得する。さらに表計算ソフトを用いてデータの可視化や基本統計量を確認しデータの特徴を調べる方法を修得する。	教科書の第1章1.3.5、第2章2.1、第4章4.1.1～4.1.3を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第4回	【データリテラシー・2変数の間の関係を調べる】2変数のデータの間の関係を調べる方法を学ぶ。そのために、表計算ソフトを用いた散布図の作成方法を修得し、散布図からわかること、相関と因果関係について学ぶ。	教科書の第2章2.2.1～2.2.3、2.4.1、第4章4.1.4を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			

第5回	【データサイエンスの手法と応用事例1】データサイエンスで用いられるいくつかの手法(回帰、決定木分析)とそれらのマーケティングへの応用事例を学ぶ。表計算ソフトを用いて実際に回帰分析を行う。	教科書の第3章3.2.1、3.2.2、3.6.1、第5章5.1.1、5.1.3を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第6回	【データサイエンスの手法と応用事例2】データサイエンスで用いられるいくつかの手法(クロス集計、クラスティング、アソシエーション分析)とそれらのマーケティングへの応用事例を学ぶ。	教科書の第3章3.1、3.4、3.5、第5章5.1.2、5.1.4、5.1.7を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第7回	【AIの構成要素、AIの学習方式】AIに含まれる分析技術である機械学習の学習方式の違い(教師あり、教師なし、強化学習)を理解し、それらの代表的な手法を概観する。また、機械学習の中で最近発展を遂げたニューラルネットワーク、ディープラーニングの概略を学ぶ。さらに機械学習における結果の検証方法を習得する。	教科書の第3章3.8.1～3.8.4を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第8回	【AI利活用の現場1ー識別系、予測系AIの作り方】AIの活用タイプの違い(識別系、予測系、会話系、実行系)を学ぶ。これらのうち予測系AIの作り方の流れを概観し、この流れの中で重要なAIモデルの精度検証方法を習得する。また、識別系AIの作り方の流れを概観しアノテーションについて理解する。	AIがどのような分野で活用されているかを調べておく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第9回	【AI利活用の現場2ー会話系、実行系AIの作り方】会話系AI、実行系AIの作り方の流れを概観する。 【AIの企画作成方法】AIを活用した企画の作成方法を理解し、AI活用事例をもとにした企画の作成を行う。	AIを利用すると改善がみこまれることはなにかを考えておく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第10回	【AI開発を行う道具・Python入門】Google Colaboratoryを用いてプログラム言語であるPythonを実行する方法を習得する。また、Python言語を用いて、プログラミングの基本のうち順次処理、条件分岐を体験する。さらにAIの開発の道具がプログラミングであることを理解する。	教科書の第4章4.3.2を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			

第11回	【Pythonを用いたデータの処理】Python言語を用いて、プログラミングの基本のうち反復処理を体験する。また、Python言語におけるライブラリーの特徴を学ぶ。さらに、Google Colaboratory上のPythonを用いてExcel形式等のデータファイルの読み込み、データの基本統計量の計算、Python用のMatplotlibというライブラリーを用いたグラフの作成を体験する。	教科書の第2章2.4.4、第4章4.3.3～4.3.5を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第12回	【データの分類を行う機械学習の様々な手法】プログラミング言語であるPython用のscikit-learnというライブラリーを用いて機械学習の様々な手法(データの分類を行うロジスティック回帰分析、決定木分析、ランダムフォレストなどおよびデータのクラスタリングを行うk-means法)の特徴を理解し、それらの実装を体験する。さらに機械学習で問題となる過学習について理解する。	教科書の第4章3.2.6と4.3.4を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第13回	【ニューラルネットワークを体験する】A Neural Network Playgroundを用いてニューラルネットワークにおける隠れ層の意味、活性化関数、過学習と正則化、ハイパーパラメータについて学習する。また、ニューラルネットワークをPythonで実装しデータの分類を体験する。さらに、ディープラーニングを用いた画像認識の概略について理解する。	教科書の第3章3.7.1を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第14回	【データを守るうえでの留意事項ー情報セキュリティ・情報倫理】情報化社会におけるデータの守り方である情報セキュリティ、個人情報の保護、情報を扱う上での法規や倫理について理解する 【データ・AIを扱う上での留意事項1ーELSI、AIの公平性・平等性・透明性・説明可能性】すべての科学・技術に関する普遍的考え方であるELSI(Ethical:倫理的、Legal:法的、Social Issues:社会的課題)について学ぶ。公平性、平等性とデータバイアス、AIの透明性・説明可能性などについて学ぶ。	教科書の第1章1.2.1、1.2.2、1.2.5を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第15回	【データ・AIを扱う上での留意事項2ーAIに関する社会的課題】AIに関する様々な社会的課題(AIにより人間が支配される可能性、人間の仕事の激減、AIによるトラブルと責任の所在、ビッグデータとプライバシー、AIの創作物に対する著作権)について学ぶ。	教科書の第1章1.2.6を読んでおくとともに、AIが普及することによってどのような負の側面があるかを調べておく(90分)。	授業で行った全範囲と提示資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	宿題の提出と授業内における提出ファイルにより評価する。	

その他	0	なし
教科書		
データサイエンス入門 第2版／竹村彰通他／学術図書出版社		
参考文献		
AIリテラシーの教科書／浅岡伴夫他／東京電機大学出版局 文系AI人材になる／野口竜司／東洋経済新報社 本橋洋介「人口知能システムのプロジェクトがわかる本」／本橋洋介／翔泳社 Python3年生機械学習のしくみ／森巧尚／翔泳社 Q&A AIの法務と倫理／古川直裕他／中央経済社		
履修条件・留意事項等		
CL教室にてGoogleアカウントでログインができるようにID、パスワードがわかるようにしておいて下さい。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		キャリア形成 社会人基礎力					
科目名		インターンシップ				ナンバリング	2420/1144
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	小山田 健、小西 正人、渡部 淳、宮本 融						
授業の位置づけ							
卒業後に殆どの皆さんが身を置くことになる企業・各種団体で実際の業務を研修し、企業・団体組織の仕組や規律、社会人としての心構えを学ぶ為の授業である。また、学生同士の同質組織と様々な背景を持つ人々による異質組織がどのように運営され機能しているかをこの研修で学び、来るべき職業人としての生活に飛び込む為の準備の授業でもある。そのことで、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚も身につけていく。本科目は、ディプロマポリシー「北海道、日本及び世界諸地域の課題とその分析や解決を考えることのできる、世界諸地域の言語、政治、経済、社会、文化等の国際教養を身につけている(知識・技能)」等に関連する科目である。							
授業の概要							
この授業は、卒業後に殆どの皆さんが身を置くことになる企業・各種団体で実際の業務を研修し、企業・団体組織の仕組や規律、社会人としての心構えを学ぶ為の授業である。 学生同士の同質組織と様々な背景を持つ人々による異質組織がどのように運営され機能しているかをこの研修で学び、来るべき職業人としての生活に飛び込む為の準備の授業でもある。							
到達目標							
・就業の現場を知り、働くとはどういうことなのかを討議できるようになる。 ・社会人として必要な責任感やビジネスマナーを実践をととして身につける。 ・自身に足りない力や強みを自覚し、今後の大学生活で身につける力や伸ばすべき力を把握し、目標を明確化する。 ・プレゼンテーション能力を身につける。							
授業の方法							
「事前指導」「企業研究」「インターンシップ」「報告会」の4つの方式で行う。 「報告会」では、行ってきたことのプレゼンテーションと、複数のチームに分かれて、得てきた学びやスキルを共有するためのグループディスカッションを行う。							
ICT活用							
Google classroomを活用し、事前事後の報告・連絡や、課題の出題・回収等を行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

観光や広告業界で約20年間の実務経験があり、ビジネス実務についての幅広い知識を有している。この経験を活かして、学術的な視点だけでなく、ビジネスの場における実践的内容の指導も行う。

課題に対するフィードバックの方法

受入先からの評価票を本人宛に配布するので今後のキャリア養成の参考とする事。必要に応じ個別に担当教員から別途の指導を行う事もある。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	＜ガイダンス／小山田・宮本・小西＞ これから学ぶこと、到達目標、講義方法、評価方法等について概説する。 ※夏季休暇等を利用して集中的に実施する実習が主になることから、ガイダンス等で配布する資料や掲示等に注意を払うこと。 なお、コロナ禍であるため、各内容については、間際で変更される場合もある。	インターンシップとは、何を学ぶために行うのかを各自が考え調べておくこと(90分)	これまで取り組んだことを復習しまとめること(90分)
担当教員			
第2回	＜事前指導／小山田・宮本・小西＞ 1. インターンシップ参加手続き、ビジネスマナー等について 2. インターンシップ先企業等の企業研究について	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
第3回	＜企業研究／小山田・宮本・小西＞ インターンシップ先企業等の企業研究 事前に希望先の受入先の内容を確認しておく事。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
第4回	＜企業研究／小山田・宮本・小西＞ インターンシップ先企業等の企業研究 事前に受入先の内容を確認しておく事。	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			

第5回	<インターンシップ／小山田・宮本・小西> 企業、NPO等での修業体験実習	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
第6回	<インターンシップ／小山田・宮本・小西> 企業、NPO等での修業体験実習	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
第7回	<インターンシップ／小山田・宮本・小西> 企業、NPO等での修業体験実習	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
第8回	<インターンシップ／小山田・宮本・小西> 企業、NPO等での修業体験実習	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
第9回	<インターンシップ／小山田・宮本・小西> 企業、NPO等での修業体験実習	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
第10回	<インターンシップ／小山田・宮本・小西> 企業、NPO等での修業体験実習	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			

第11回	＜インターンシップ／小山田・宮本・小西＞ 企業、NPO等での修業体験実習	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
第12回	＜インターンシップ／小山田・宮本・小西＞ 企業、NPO等での修業体験実習	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
第13回	＜インターンシップ／小山田・宮本・小西＞ 企業、NPO等での修業体験実習	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
第14回	＜インターンシップ／小山田・宮本・小西＞ 企業、NPO等での修業体験実習	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
第15回	＜報告会／小山田・宮本・小西＞ ・インターンシップ報告会を実施 →各自、プレゼンテーション能力の向上に努めること ＊報告会については、学内に掲示板等で告知し、興味関心のある学生に参加してもらう ・知識とスキルの共有 →複数のチームをつくり、グループワークを行う。プレゼンテーションでは聞け出せなかった細かな情報も共有し、各自の知識とスキルを向上させること	これまで取り組んできたことを整理しておくこと(90分)	これまで取り組んできたことを復習しておくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	80	実習態度、実習日誌、実習報告書、報告会発表、受入先企業等からの評価などにより総合的に評価する。	

その他	20	各種届出書類の提出期限厳守も評価の対象とする。
教科書		
なし		
参考文献		
なし		
履修条件・留意事項等		
〈履修条件〉各科目の単位が修得できている学生、インターンシップ参加企業の希望条件にあう学生など。〈留意事項等〉履修登録者へ、インターンシップ参加企業の希望を伺う。その後、面談を行った後、インターンシップ先企業と協議して派遣する学生を決定する。＊詳細は、後期オリエンテーションでお伝えする。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		キャリア形成 社会人基礎力					
科目名		マーケティング論				ナンバリング	3434/3676
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	芝 香、芝 香						
授業の位置づけ							
グローバル経済が進展した現代において、経済環境や競争環境、雇用や働き方なども急激に変化している。このような激しく環境が変化する状況化では柔軟にその変化に対応できることが企業や個人にも求められており、戦略志向やマーケティング志向を身につけた人材が社会全体のなかで必要とされている。本科目は、ディプロマ・ポリシーの「グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や共感力」を身につけることや「世界と繋がるために地域社会を理解」することに関係する科目であり、世界や地域社会を理解し、外部環境の変化を分析するマーケティング志向を学ぶことで、社会人としての基礎力を身につける科目である。							
授業の概要							
この授業は、マーケティングの基本を学んだ上で、「21世紀型マーケティング」の概念を学ぶ。マーケティングの歴史とコンシューマリズムを踏まえ、マーケティングの神様と称されるフィリップ・コトラーの手法をベースに、実践的なマーケティング戦略を理解し、私たちの実際の生活の中でマーケティングがどのように生活に関わっているのかを学ぶ。							
到達目標							
本授業の到達目標は、以下の3点である。 1)授業やテキストで取り上げたレベルのマーケティングの基本的な考え方を説明できる。 2)企業の活動をマーケティングの視点で考え就職活動やグローバル社会で活躍するために応用できる。 3)興味がある企業や業界について掘り下げて考え、自分なりに分析・説明できる。							
授業の方法							
授業では、パワーポイントと配布印刷物(ハンドアウト)を用いて、講義形式でマーケティングに関わる理論やケースに対する講義という順序で授業を進め事前課題の内容をテーマにしたケース・ディスカッション、グループ単位でのプレゼンテーションを行う。事後課題は、授業の内容についての振り返りなどを確認するGoogle Formsを用いた小テスト形式のクイズを提出を行い、授業への要望や疑問点、質問やメッセージには、GoogleClassRoomのコメント機能を用いて、フィードバックを行う。							
ICT活用							
本授業ではGoogleDirveやGoogle Docs、Office365などのクラウドサービスを中心としたOfficeツールを積極的に活用した授業を実施する。具体的には、GoogleClassRoomを用いて事前課題、事後課題を提出するなどの学習管理を実施し、課題にはGoogle SpreadやMicrosoft PowerPointでのプレゼンテーション資料の作成に取り組み、プレゼンテーションをグループ毎に発表するなどのアクティブラーニング型授業を実施する。							
実務経験のある教員の教育内容							

経営コンサルタント業を自らが起業し、恵庭市での起業塾講師を行うなど十数年にわたりサービス産業を中心とした創業支援を行ってきた。また長らく大手旅行代理店の業務効率化支援(DX業務)を実務として支援した経験や企業経営幹部や創業希望者を対象としたビジネスゲームやケーススタディを用いたセミナー運営や人事採用担当であった経験を活かし、理論的な学びをベースとしながらも就職活動などで役立つ実践的な授業を行う。

課題に対するフィードバックの方法

事前・事後課題へのフィードバックとして、授業にて課題の解説を行う反転授業型のアクティブラーニングスタイルによるフィードバックで授業を実施する。また、授業への要望や疑問点、質問やメッセージには、GoogleClassRoomのコメント機能を用いてフィードバックを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	イントロダクションとして、マーケティング論の授業の概要と進め方を説明する。 マーケティングとは何か。マーケティングの発想と市場戦略としてのマーケティングの役割と課題について学ぶ。	「マーケティングとは」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第2回	環境分析(PEST、SWOT) 競合他社の動向や、政治や経済の変化など、自社の事業運営に影響をもたらす要因を分析する「外部環境分析」をPEST分析やSWOT分析のフレームワークを学ぶ。	「PEST分析、SWOT分析」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第3回	環境分析(Five Forces) 5つの視点から自社と競合他社の関係を明らかにしミクロ視点での外部環境を分析するファイブフォース分析のフレームワークを学ぶ。	「環境分析(Five Forces)」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第4回	事業戦略(STP) Segmentation(セグメンテーション)、Targeting(ターゲティング)、Positioning(ポジショニング)という3つの視点で市場における顧客やニーズを整理し、ターゲット市場を明らかにするSTP分析のフレームワークを学ぶ。	「事業戦略(STP)」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		

第5回	第2回～第4回で学んだフレームワークを用いたケース・ディスカッションを行う。	第2回～第4回で学んだフレームワークを復習しておく。(90分)	ケース教材を提示するので、第2回～第4回で学んだフレームワークを用いて各自で分析を行いレポートを作成する。(120分)
担当教員	芝 香		
第6回	マーケティング戦略(製品と価格) マーケティング戦略におけるマーケティングミックスの考え方である4P(「製品(Product)」「価格(Price)」「流通(Place)」「プロモーション(Promotion)」のうち、「製品(Product)」「価格(Price)」の戦略について学ぶ。	「製品戦略、価格戦略」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第7回	マーケティング戦略(広告) マーケティング戦略におけるマーケティングミックスの考え方である4P(「製品(Product)」「価格(Price)」「流通(Place)」「プロモーション(Promotion)」のうち、「プロモーション(Promotion)」の戦略として広告戦略、パブリシティ戦略について学ぶ。	「広告戦略、パブリシティ戦略」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第8回	マーケティング戦略(チャネル) マーケティング戦略におけるマーケティングミックスの考え方である4P(「製品(Product)」「価格(Price)」「流通(Place)」「プロモーション(Promotion)」のうち、「プロモーション(Promotion)」戦略としてのチャネル戦略を学ぶ。	「チャネル戦略」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第9回	マーケティング戦略(プロセス) これまでに学んだマーケティング分析のフレームワークをより効率的に分析するための一連の流れとしての手順や考え方を学ぶ。	「マーケティングプロセス」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第10回	第6回～第9回で学んだフレームワークを用いたケース・ディスカッションを行う。	第6回～第9回で学んだフレームワークを復習しておく。(90分)	ケース教材を提示するので、第6回～第9回で学んだフレームワークを用いて各自で分析を行いレポートを作成する。(120分)
担当教員	芝 香		

第11回	顧客関係の構築(リレーションシップ) 顧客と良い関係を築いて距離を縮め、結果的に商品やサービスの成約率を向上させるリレーションシップ・マーケティングについて学ぶ。	「顧客関係の構築」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第12回	消費者行動 企業が提供する製品やサービスを購入・利用する人々(＝消費者)が、一つの商品の購入に至るまでの行動について、購買行動モデルの考え方について学ぶ。	「消費者行動」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員			
第13回	ブランド戦略 企業の製品やサービス、あるいは企業そのもののコンセプトを明確にして、「誰にどんな場面で使ってほしい製品なのか」「自分たちはどんな企業なのか」をユーザーにわかりやすく提示するブランディングの考え方を学ぶ。	「ブランド戦略」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第14回	リーンキャンパス 9つの項目からビジネスモデルをまとめるフレームワークである「リーンキャンパス」の考え方を応用することで、これまでに学んだマーケティング戦略を活用した実践的なマーケティング戦略の立案手法について学ぶ。	「リーンキャンパス」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第15回	第14回で学んだフレームワークを用いたケース・ディスカッションを行う。	第14回で学んだフレームワークを復習しておく。(90分)	ケース教材を提示するので、第14回で学んだフレームワークを用いて各自で分析を行いレポートを作成する。(120分)
担当教員	芝 香		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	85	事前・事後課題の内容とグループワークやプレゼンテーションを総合的に評価する。したがって、課題を提出しない場合には出席日数が規定を充たしていても不合格となる場合があることに留意すること。	

その他	15	特に授業参加の積極性を評価する。
教科書		
必要に応じて配布資料を提示する。		
参考文献		
授業内で資料を提示する。		
履修条件・留意事項等		
本科目は社会人として就業する力を身につけるための科目として位置づけられている。したがって、授業では事前課題をテーマにしたケースディスカッションやグループワークやプレゼンテーションを行う予定もあり、授業開始前までに理解を深めるために事前課題に必ず取り組み期限までに提出すること、欠席する予定の場合は事前に、急遽欠席した場合は事後にメールやGoogleClassRoomを通じて連絡や報告を必ず行うことを履修条件とする。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		キャリア形成 社会人基礎力					
科目名		公務員講座I				ナンバリング	3441/1146
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	小山田 健、高橋 保夫、小山田 健						
授業の位置づけ							
この科目は、ディプロマ・ポリシーより、公務員を目指す学生への対策講座である。集中講義形式であるので、自然・社会・人文科学を広く網羅的に勉強する強い意志を有する学生の履修を希望する。世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけるための科目である。							
授業の概要							
この授業は、主に国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用試験に合格することを目指した公務員試験対策のための授業で、「公務員講座Ⅱ」と連動する。公務員試験に合格するためには、幅広い一般常識と高度な専門知識が求められ、相当の学習時間が要求される。授業は講義形式で公務員試験の出題範囲を網羅すべくポイントを解説していくので、受講者は予習復習はいうまでもなく、すべての課題に深く取り組んでいくこと。数回行う確認テスト以外にも自己研鑽していくことを求める。							
到達目標							
大学卒業レベルの公務員採用試験に合格することができる学力の修得を目標とする。 公務員をいう仕事に対する理解が深まり、公務員を志す理由が明確になり、合格するにはどのような努力が必要なのか明確になる。							
授業の方法							
配布教材と配布印刷物を用いて講義形式ですすめる。春季期間における集中講義であるので履修登録の際に注意すること。事前ガイダンスを実施するので必ず参加すること。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

なし

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして理解度を確認するための質問と解説を適宜実施する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	判断推理(1) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「判断推理」分野を対象とする。	公僕たる公務員を目指すにあたって、その気概と初志を明らかにしておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集をつかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第2回	判断推理(2) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「判断推理」分野を対象とする。	講義で学習する領域について予め問題集を使い、どこが最もわからない領域かを明らかにしておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集をつかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第3回	判断推理(3) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「判断推理」分野を対象とする。	講義で学習する領域について予め問題集を使い、どこが最もわからない領域かを明らかにしておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集をつかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第4回	判断推理(4) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「判断推理」分野を対象とする。	講義で学習する領域について予め問題集を使い、どこが最もわからない領域かを明らかにしておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集をつかって復習しておくこと(90分)
担当教員			

第5回	日本史(1) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「日本史」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第6回	日本史(2) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「日本史」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第7回	図形(1) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「図形」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第8回	図形(2) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「図形」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第9回	図形(3) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「図形」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第10回	図形(4) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「図形」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			

第11回	世界史(1) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「世界史」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第12回	世界史(2) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「世界史」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第13回	数的推理(1) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「数的推理」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第14回	数的推理(2) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「数的推理」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第15回	数的推理(3) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「数的推理」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業への参加姿勢／意欲を総合的に評価する 課題レポート(チャレンジテスト)等	

その他	0	
教科書		
資格の大原 公務員講座テキストを使用		
参考文献		
講座中に適宜指示する。		
履修条件・留意事項等		
留意事項等 全ての回の講義への積極的参加を必須とする。集中講義方式で履修するので、開講時期・場所等について学科掲示板での告知に注意を払い、初回ガイダンスには必ず出席すること。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		キャリア形成 社会人基礎力					
科目名		公務員講座II				ナンバリング	3442/1147
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	小山田 健、高橋 保夫、小山田 健						
授業の位置づけ							
この科目は、ディプロマ・ポリシーより、公務員を目指す学生への対策講座である。集中講義形式であるので、自然・社会・人文科学を広く網羅的に勉強する強い意志を有する学生の履修を希望する。「公務員受験講座Ⅰ」の履修学生が対象である。							
授業の概要							
この授業は、主に国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用試験に合格することを目指した公務員試験対策のための授業で、「公務員講座Ⅱ」と連動する。公務員試験に合格するためには、幅広い一般常識と高度な専門知識が求められ、相当の学習時間が要求される。授業は講義形式で公務員試験の出題範囲を網羅すべくポイントを解説していくので、受講者は予習復習はいうまでもなく、すべての課題に深く取り組んでいくこと。数回行う確認テスト以外にも自己研鑽していくことを求める。							
到達目標							
大学卒業レベルの公務員採用試験に合格することができる学力の修得を目標とする。 公務員をいう仕事に対する理解が深まり、公務員を志す理由が明確になり、合格するにはどのような努力が必要なのか明確になる。							
授業の方法							
配布教材と配布印刷物を用いて講義形式ですすめる。春季期間における集中講義であるので履修登録の際に注意すること。事前ガイダンスを実施するので必ず参加すること。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

なし

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして理解度を確認するための質問と解説を適宜実施する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	地理(1) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「地理」分野を対象とする。	公僕たる公務員を目指すにあたって、その気概と初志を明らかにしておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集をつかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第2回	地理(2) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「地理」分野を対象とする。	講義で学習する領域について予め問題集を使い、どこが最もわからない領域かを明らかにしておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集をつかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第3回	数的推理(1) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「数的推理」分野を対象とする。	講義で学習する領域について予め問題集を使い、どこが最もわからない領域かを明らかにしておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集をつかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第4回	数的推理(2) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「数的推理」分野を対象とする。	講義で学習する領域について予め問題集を使い、どこが最もわからない領域かを明らかにしておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集をつかって復習しておくこと(90分)
担当教員			

第5回	数的推理(3) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「数的推理」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第6回	数的推理(4) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「数的推理」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第7回	政治経済(1) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「政治経済」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第8回	政治経済(2) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「政治経済」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第9回	政治経済(3) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「政治経済」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第10回	政治経済(4) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「政治経済」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			

第11回	政治経済(5) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「政治経済」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第12回	政治経済(6) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「政治経済」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第13回	時事(1) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「時事」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第14回	時事(2) 国家公務員Ⅱ種、地方公務員上級、その他の大学卒業レベルの公務員採用一次試験の「時事」分野を対象とする。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
第15回	チャレンジテスト いままで受講してきた内容を理解できているかどうかの確認を公務員模擬試験によって行う。	講義で学習する領域について 予め問題集を使い、どこが最も わからない領域かを明らかにし ておくこと(90分)	講義で学習した領域を問題集を つかって復習しておくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業への参加姿勢/意欲を総合的に評価する 課題レポート(チャレンジテスト)等	

その他	0	
教科書		
資格の大原 公務員講座テキストを使用する。		
参考文献		
講座中に適宜指示する。		
履修条件・留意事項等		
全ての回の講義への積極的参加を必須とする。集中講義方式で履修するので、開講時期・場所等について学科掲示板での告知に注意を払い、初回ガイダンスには必ず出席すること。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		キャリア形成 実用日本語					
科目名		日本語の表記と語彙				ナンバリング	1322/2262
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	小西 正人、小西 正人						
授業の位置づけ							
この授業では、学術目的および社会生活の言語使用に主眼をおいた日本語の高度な運用能力を中心に、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけることを目的とする科目であり、他の日本語系の科目と関連する。							
授業の概要							
この授業は、社会人基礎力に欠かせない正しい日本語表記を身に付け、場面や目的に合わせた語彙を増やしていく。講義と演習を組み合わせ、漢字検定あるいは日本語検定2級程度の漢字・表記・語彙・言葉の意味および公務員試験等で一般常識とされる日本語運用に関する漢字語彙の定着度を測る。本授業の漢字リテラシー基準には、常用漢字、人名・地名漢字、時事用語などの現代日本語漢字の正しい読み方と、四字熟語および諺・故事成語などの意味理解も含め、公的な場面で使える語彙を増やしことばの使い分けを身に付けていく。							
到達目標							
1. 社会人基礎力となる一般常識とされる常用漢字が定着し、一般的な四字熟語が運用できるようになる。 2. 漢字のしくみを理解し、未知の漢字でも読み方を推測できるようになる。 3. 日本語の語彙を増やし、いろいろな表現で自己や出来事を知的に描写できるようになること。							
授業の方法							
板書を通じた講義、グループワーク、プレゼンテーションを通じて15回の授業を行う。							
ICT活用							
Google classroomを活用し、授業補完情報（インターネットサイトなど）を報告したり、課題を出題・回収したりする。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

小テスト等の提出物は全て採点して返却する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 授業のやりかた、発表のしかた、評価方法、この授業の意義などを丁寧に講義する。	シラバスを読んでおく(30分)	配布プリントを読み課題に取り組む、発表グループを決める(150分)
担当教員			
第2回	漢字のしくみ、音訓概講(講義) 漢検教科書 ステップ1～4 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語	教科書該当部分の問題を解く(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第3回	表記・送りがなについて(講義) 漢検教科書 ステップ5～8 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語	教科書該当部分の問題を解く(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第4回	常用漢字について(講義) 漢検教科書 ステップ9～12 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解き、復習確認テストの準備(90分)
担当教員			

第5回	第1回漢字復習確認テスト(ステップ1～12)・語彙テスト 漢字熟語について(講義) ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解き、 復習確認テストの準備、担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第6回	漢検教科書 ステップ13～16 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第7回	漢検教科書 ステップ17～20 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	確認テストの準備、および教科書該当部分の問題を解く(90分)	講義内容・配布プリント復習、および確認テスト・教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第8回	漢検教科書 ステップ21～24 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解き、復習確認テストの準備(90分)
担当教員			
第9回	第2回漢字復習確認テスト(ステップ13～24)・語彙テスト ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解き、 復習確認テストの準備、担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第10回	漢検教科書 ステップ25～28 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			

第11回	漢検教科書 ステップ29～32 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、お よび教科書該当部分の問題を 解く(90分)
担当教員			
第12回	漢検教科書 ステップ33～36 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、お よび教科書該当部分の問題を 解き、復習確認テストの準備(90 分)
担当教員			
第13回	カタカナ語(講義) 漢検教科書 ステップ37～41 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解き、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、お よび教科書該当部分の問題を 解く(90分)
担当教員			
第14回	人名・地名漢字(講義) 漢検教科書 ステップ総復習 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	人名・地名漢字について事前調 査、教科書該当部分の問題を 解く、担当者は発表の準備(90 分)	講義内容・配布プリント復習、お よび教科書該当部分の問題を 解き、復習確認テストの準備(90 分)
担当教員			
第15回	第3回漢字復習確認テスト(ステップ25～41)・語彙テストお よび復習	教科書該当部分の問題を解き、 復習確認テストの準備(90分)	漢検教科書の総復習および最 終提出課題の準備(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・ 参加度・出席態度等)	100	漢字復習確認テスト、毎回の小テスト、グループ発表、最終課題など各種課題、授業参加度の 総合評価	

その他	0	
教科書		
『漢検準2級 漢字学習ステップ 改訂三版』／日本漢字能力検定協会 『日本語検定公式領域別問題集 改訂版 語彙・言葉の意味』／畑 恵里子（編集），日本語検定委員会（編集）／東京書籍		
参考文献		
常用漢字表（文化庁） 『全訳 漢辞海 第四版』／戸川芳郎監修、佐藤進・濱口富士雄編／三省堂		
履修条件・留意事項等		
とにかくいろいろ手を動かす作業をしてもらおうと思っています。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		キャリア形成 実用日本語					
科目名		日本語ビジネスライティング				ナンバリング	3306
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	小西 正人、小西 正人						
授業の位置づけ							
出口教育の一環として、文章作成能力をみがく科目である。ディプロマポリシーの「学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力を身につけている【知識・技能】と関連があり、ビジネスシーンに羽ばたく上での文章作成能力を修得する科目である。							
授業の概要							
本科目は、日本語でビジネスをする上で欠かせない文書作成の基本を学ぶ。電子媒体が主流の今日であっても、仕事でやりとりする文書には一定の様式とマナーがある。情報技術の進展とともに、ビジネス文書の書き方は少しずつ簡略化され、言葉遣いも変化してきているとはいえ、相手に失礼な表現や言い回し、敬語の誤った使い方では、仕事への信頼を失うことがある。そこで、ここでは、敬語について理論的に学ぶとともに、日常業務における依頼・謝罪・お礼・断り・問い合わせ等の社外文書と、要請や報告、連絡等仕事をスムーズにするための社内文書の基本的な書き方を身に付けていく。							
到達目標							
1. 社会に存在する様々なビジネスライティングについて理解できるようになる。 2. 各講義の目標とするライティング技術を習得し、実際的な文書作成ができるようになる。 3. 文の正誤・適否・美醜等が区別でき、適切な言葉選びができるようになる。							
授業の方法							
1. 講義形式で、作成する文章の形式を中心に説明を行う。 2. 説明に基づいて実際に各自で文章作成・添削・相互評価を行う。 3. 完成させた文章は提出して担当教員の添削を受け、指定されたものはすべて締め切りまでに提出する。							
ICT活用							
課題作成・提出・評価はGoogle classroomの諸機能を用いて行う。また一部、電子教科書を採用してより良い理解を図る。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

- ・作成した課題に対してはすべてコメントをつけて返却する。
- ・作成した課題の相互評価・自己評価結果のシェアリングによって、成果と課題を可視化する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	就職課と連絡が取れるようになる。 就職課のメールアドレス登録を通じて依頼文のメール文面を修得する。	就職課で『就職支援BOOK2023』を入手しておく(30分)	授業で学んだことの復習・確認(150分)
担当教員			
第2回	敬語・基礎編(1) ・現代日本語の敬語概説 ・教科書例題	教科書に目を通しておく(30分)	授業時に学習したやり方で教科書の例題を解く(150分)
担当教員			
第3回	敬語・基礎編(2) ・教科書練習問題 4級・3級レベル	教科書に目を通しておく(30分)	授業時に学習したやり方で教科書の例題を解く(150分)
担当教員			
第4回	敬語・基礎編(3) ・教科書練習問題 2級レベル	教科書に目を通しておく(30分)	授業時に学習したやり方で教科書の例題を解く(150分)
担当教員			

第5回	敬語・基礎編(4) ・教科書確認問題	教科書に目を通しておく(30分)	授業時に学習したやり方で教科書の例題を解く(150分)
担当教員			
第6回	敬語・基礎編 復習テスト 自己PRのケーススタディを見る	復習テストの準備(150分)	復習テストの確認(30分)
担当教員			
第7回	エントリーシートを書いてみよう！(1) エントリーシートの全体を見てみよう 社内文書を書いてみよう！(1) 社内文書の基本形を見てみよう	エントリーシートについて全体像を見ておく(60分)	エントリーシートに書く内容について考える(120分)
担当教員			
第8回	エントリーシートを書いてみよう！(2) 「学生時代にもっとも力を入れたこと」 社内文書を書いてみよう！(2) 「通知文書」	エントリーシートについて全体像を見ておく(60分)	エントリーシートに書く内容について考える(120分)
担当教員			
第9回	エントリーシートを書いてみよう！(3) 「学生時代にもっとも力を入れたこと」実作 社内文書を書いてみよう！(3) 「指示文書」	エントリーシートに書く内容について考える(60分)	「学生時代にもっとも力を入れたこと」製作・提出(120分)
担当教員			
第10回	エントリーシートを書いてみよう！(4) 「セールスポイント」 社内文書を書いてみよう！(4) 「調査報告文書」	エントリーシートに書く内容について考える(60分)	エントリーシートに書く内容について考える(120分)
担当教員			

第11回	エントリーシートを書いてみよう！(5) 「セールスポイント」実作 社内文書を書いてみよう！(5) 「企画・提案文書」	エントリーシートに書く内容について考える(60分)	「セールスポイント」製作・提出(120分)
担当教員			
第12回	履歴書を書いてみよう！	履歴書について全体像を見ておく(30分)	履歴書製作・提出(150分)
担当教員			
第13回	エントリーシートを書いてみよう！(6) 「志望動機」 社外文書を書いてみよう！(1) 「通知文書」	エントリーシートに書く内容について考える(60分)	エントリーシートに書く内容について考える(120分)
担当教員			
第14回	社外文書を書いてみよう！(2) 「お礼状・依頼状」	業務文書について全体像を考えておく(30分)	お礼状・依頼状の製作(150分)
担当教員			
第15回	社外文書を書いてみよう！(3) 「お礼状・依頼状」実作	お礼状・依頼状の内容を考えておく(60分)	お礼状・依頼状を製作・提出(150分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しません。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	敬語テスト・提出物・授業参加度の総合評価	

その他	0	
教科書		
『日本語検定公式領域別問題集 改訂版 敬語』／日本語検定委員会(監修)／東京書籍		
参考文献		
『ビジネス文書 書き方&マナー大事典』／神谷洋平(監修)／学研プラス 『いちばん伝わる！ ビジネス文書の書き方とマナー』／山崎政志(監修)／高橋書店		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		キャリア形成 実用日本語					
科目名		日本語学				ナンバリング	2324/2274
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	小西 正人						
授業の位置づけ							
日本語について、ことばの専門家として必要不可欠な知識を修得し、正しい考え方を導く科目である。この科目は、学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力、北海道、日本及び世界諸地域の課題に対応できる情報処理や分析の能力、論理的・批判的な思考や判断をする能力、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につける科目であり、他の言語・語学系科目と関連する。							
授業の概要							
この授業は、言語学的な考え方を基本として、現代日本語の文法に関するさまざまなトピックについて講義する。日本語についての知識を深め、英語(および言語)について実践に応用可能な知識及び技能を身につけること、および問題解決のために必要な情報を収集分析し、適切な判断を主体的に下すことができること、および学びの成果を社会人生活の中で活かすことを達成する科目である。なぜわざわざ日本語の文法構造を学ぶ必要があるのか、そもそも文法は必要なのかなどの疑問や批判に答え、日本語をはじめとする言語の精妙さを、現代日本語を通じて講義する。							
到達目標							
1. 日本語について正しい視点をもち、応用することができる。 2. 日本語について正しいデータ収集を行うことができる。 3. ことばに対して正しい分析を行うことができる。 4. 日本語(あるいはことば)に対する謬見を排除できる。							
授業の方法							
板書と視聴覚メディアを活用しながら、講義形式ですすめる。また毎回ノート(課題および「さらに考えたこと」を含む)およびコメントシートを提出してもらい、理解度を確認する。							
ICT活用							
Google workspaceを活用する(Google Formでの設問・コメント収集、Google classroomを通じた情報提供など)							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

毎回提出してもらうノートおよび授業に対するコメントを授業内でとりあげ、それぞれについて回答および示唆、参考資料の紹介などを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	「タブラ・ラサからはじめよう！」～日本語学とは「主語」や「名詞」などといわれる文法は誰のためのものなのか？ということについて、それぞれ考えてもらう。データとして「文の中で出てくる他の語とのつながり」を示してグループ分けを行う。また「頭が赤い魚を食べたネコ」という句をもとに構文論についてもふれる。	日本語について考えてくる(90分)	授業ノートに「そのあと考えたこと」を書き込む練習(90分)
担当教員			
第2回	「ぜーいん、起立！」～日本語の「音」を探してみよう 自分の口はどんな音を出しているのか、発音しながら確認する。補足資料としてIPAのチャートを用いる。これにより日本語(あるいは言語)の音声についての基礎感覚を身につけることができる。	日本語のサ行とハ行について考えてくる(90分)	課題として与えられたIPAを発音できるようにしてくる(90分)
担当教員			
第3回	「トマトの反対はトマト？」～日本語のアクセント 2音節語を中心に、日本語のアクセントの概要について自覚的になることができる。データとして2音節語のリストを用い、学生自らの内省をもとに分類を行ってもらう。おまけとして方言および歴史的なアクセントについての話を行う。	「～ちゃん」のアクセントについて考えてくる(90分)	「〇〇県」と「〇〇」のアクセントについてまとめる(90分)
担当教員			
第4回	「塗り薬、粉薬、咳止め薬、便鼻薬」～日本語の形態論 無意識に用いている「語より小さい単位」が組み合わせることにより、生産的にいろいろなことを表すことができるようになることを実感／確認できる。また世界の言語について「長い語」の紹介を行う。	長い語を見つけてくる(90分)	日本語における蔓苔桃形態素を自力でみつける(90分)
担当教員			

第5回	「動詞は動作を表す語？」～ 日本語の品詞について そもそも名詞や動詞という分け方は誰のためのものか、という視点を徹底することによって、自分が母語話者として使っている無意識の「品詞分類」を実感することができる。第1回の授業をさらに進めた内容。	品詞はあったほうがいいのか、ないほうがいいのか、主張およびその理由を考えてくる(90分)	品詞分類におさまりきらない語をみつける(90分)
担当教員			
第6回	「壊したんじゃない、壊れたんだよ！」～ 日本語の自他対応動詞 日本語にみられる自他対応動詞について、その認知的意味、および外国語との関係を見ることにより、言葉の認知的基盤を確認する。	日本語以外の自他対応について考えたり調べたりしてくる(90分)	授業の内容を整理して完全に理解する(90分)
担当教員			
第7回	「食べさせられはじめていたらしいわよね」～ 述語の階層 長い用言複合体述語を生産することのできる日本語の特徴をみるとともに、言語がどのような階層をもっており、それに基づいて設計されているかを繙く。	用言の前と後ろにつくことができるものをできるだけ多く見つけてくる(90分)	用言に後接する要素がそれぞれの階層までを許容するか、丁寧に調べてくる(90分)
担当教員			
第8回	「舞台→で→激しく→踊る→人を→見る」vs. “to see ← a person ← dancing ← hard ← on ← the stage” ～ 主要部とそれ以外 言語能力の秘密のひとつである「主要部」について、類型論的な偏りを紹介しながら、言語の深奥にふれる。日英語にとどまらず、韓国語・中国語・フランス語まで紹介する予定。	日本語と英語はどこが違うか、具体的に数項目を挙げる(90分)	主要部とそれ以外の順序が例外的である場合を日本語・英語・その他の言語において挙げる(90分)
担当教員			
第9回	「赤ちゃんはどうやって話せるようになるの？」～ 言語修得について 我々は全くの白紙状態から言語を修得していくのではなく、ほとんど完成した状態で生まれてくるという論を紹介し、議論する。またいわゆる臨界期についても考え直す。	赤ちゃんがことば(特に文法)を修得するときどのように修得するか、一生懸命考えてみる(90分)	「そのあと考えたこと」をがんばって書く(90分)
担当教員			
第10回	「ええっ、あれで『そば』って読むの!？」～ 日本語の表記 ひらがなとカタカナの歴史を講じるとともに、数種の文字を使い分ける表記体系をもつ日本語について改めて考え、漢字の音訓や万葉仮名、キラキラネームのしくみについての見方を変える。また日本語史についても簡単に論じる。	ひらがなとカタカナの歴史について調べる(90分)	万葉仮名と変体仮名について説明できるようにする(90分)
担当教員			

第11回	「日本語はウラル・アルタイ言語です・・・か？」～日本語のなかま 印欧語における系統樹の考えを基本に説きながら、日本語の系統について、中国語や韓国語との対比を考えながら、一定の結論を出す。	日本語のなかまにはどんな言語があるか、理由つきで考えてくる(90分)	中国語や韓国語との対比を考え、一定の結論を出す(90分)
担当教員			
第12回	「日本語ってひとつじゃないんですか？」～日本語の方言方言圏論などの理論および標準語の歴史を紹介しながら、北海道の方言、および関西の方言、さらには琉球諸語について考える。また方言について、その「役割」について各自が自分のこととして考える。	日本になぜ方言があるのか、考えてくる(90分)	配布課題プリントに基づいて、方言について考えてくる(90分)
担当教員			
第13回	「全然OKって全然OKですか？」～正しい日本語論 巷間でよく話題にされる「ら抜き言葉」や「全然＋肯定」表現を取り上げ、正しい日本語について一定の妥当な意見をもつことができるようになる。	「正しい日本語」があるかどうか、理由つきで考えてくる(90分)	微妙な日本語・楽しい日本語を見つけてくる(90分)
担当教員			
第14回	「イヌイットの人には雪が見えないって本当ですか」～いわゆる俗説の検討 ほかに「が」と「は」は主語である、「ありがとう」と声をかけると桃が腐らない、などのトンデモ言説を取り上げ、言語リテラシー能力をつける。	事前配布プリントの項目について調査してくる(90分)	しっかりと言語リテラシー能力がついたか、チェックする(90分)
担当教員			
第15回	「コロナってしたらコロコロしたからバーって行ってギョッてしたの」～オノマトペの世界 日本語のオノマトペ(の構造・体系)を中心に、いろいろなオノマトペについて考える。	印象的なオノマトペを調べてくる(90分)	他言語のオノマトペについて調べてみる(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期テストは実施しません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	課題(レポート、小課題)およびノート、授業参加度などの総合評価とする。	

その他	0	
教科書		
授業中にハンドアウトを配布する。		
参考文献		
よくわかる言語学／窪菌晴夫[編著]／ミネルヴァ書房 基礎日本語学／衣畑智秀編／ひつじ書房 はじめて学ぶ言語学／大津由紀雄編著／ミネルヴァ書房		
履修条件・留意事項等		
教室の中だけでなく、ふだんからいろいろと言葉に興味をもつようにしてください。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		キャリア形成 実用日本語					
科目名		日本語教育法Ⅱ				ナンバリング	3352
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	岡本 佐智子						
授業の位置づけ							
この授業は、国内外で外国人に日本語を教えるための日本語教育の専門的知識を身につける(知識・技能)ことを目的とした日本語教員養成の科目で、「日本語教育法1」に続く発展科目であり、実践的な「日本語教育演習」科目への基礎となる。日本語教員志望者だけでなく、国内外の企業で日本語非母語話者と日本語でコミュニケーションするために、日本語教育方法の知識を活かして、世界の日本語話者と協働していけるコミュニケーション能力を養成していく(思考・判断・態度)ために、ここでは音声指導法を中心に学ぶ。							
授業の概要							
この授業は、「日本語教育法Ⅰ」に続き、日本語を母語としない人々に効果的に日本語を教えるために、代表的な外国語教授法の理論とその応用で、学習ニーズ別の日本語教育方法を学ぶ。受講生は未知の外国語をいろいろな教授法で学習体験し、各教授法の短所・長所の特徴や学習心理を振り返ることで、言語を教える側と学ぶ側の両者の立場から教授法のいろいろを概観していく。そして受講生の模擬授業とベテラン教員の授業動画を比較して日本語学習支援のあり方を考えていく。							
到達目標							
1. 日本語初級レベルの指導ができる。 2. 日本語学習目的別に適した教材が選択できる。 3. 日本語学習レベルに対応した練習教材が選択できる。 4. 学習項目に合わせた練習方法に種々の教授法を工夫することができる。							
授業の方法							
講義プリントとスライドを使った講義形式とその応用演習をペアまたはグループで行う。応用演習は課題項目を指定し、授業内で発表する。各回では授業内容復習の小テスト(確認テスト)を行う。							
ICT活用							
学習項目別に指導方法の実際を学ぶため、動画サイトからモデル授業を視聴する。 Google Classroomを活用して、授業内容の質問のほか、課題および講義資料等を配信する。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当しない。

課題に対するフィードバックの方法

課題は次回の授業時までコメントを添えて個別に返却する。課題発表は発表終了後に授業内で講評する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 多様化した日本語教育の現状と課題	文化庁サイトで国内の日本語教育事情を調べておく。(90分)	国内の多様化する日本語学習者の学習背景を確認しておく。(90分)
担当教員			
第2回	日本語をどう教えるか 学習者別コースデザインとカリキュラム	日本語能力試験のN4、N3、N2レベル範囲をCEFRに対応してみておく。(90分)	プリントを読んでおく。(90分)
担当教員			
第3回	日本語教育教材からⅠ 初級会話と練習方法	代表的な教授法を復習しておく。(90分)	コミュニケーションアプローチと練習方法例をまとめておく。(90分)
担当教員			
第4回	日本語教育教材からⅡ 初級文法と動詞の活用練習	日本語初級教材から、定着が難しい文法事項を調べておく。(90分)	動詞の活用ルールと教え方をまとめておく。(90分)
担当教員			

第5回	日本語教育教材からⅢ 初級文法と動詞の分類と運用練習	自動詞・他動詞の分類方法を調べておく。(90分)	自動詞・他動詞の練習問題を作成する。(90分)
担当教員			
第6回	初中級の教え方 初級レベルから中級レベル移行の壁	中級とはどのレベルか調べておく。(90分)	やさしい日本語ニュースを中級レベル教材に加工しておく。(90分)
担当教員			
第7回	中級の教え方Ⅰ 文型表現のいろいろ	日本語文型を30以上調べておく。(90分)	文型練習問題を作成する。(90分)
担当教員			
第8回	中級の教え方Ⅱ コミュニケーション能力を育てる指導方法	外国語学習でのコミュニケーションで困ったことを思い出しておく。(90分)	コミュニケーション能力とは何かをまとめておく。(90分)
担当教員			
第9回	中級の教え方Ⅲ ライティングと誤用訂正	プリントを読んでおく。(90分)	誤用訂正課題を完成しておく。(90分)
担当教員			
第10回	中級の教え方Ⅳ 聴解練習用の教材の選び方	中級聴解教材を1冊選び、語彙表現をチェックしておく。(90分)	テレビドラマや報道番組からタスク・リスニング教材として使用できる部分を一つ選ぶ。(90分)
担当教員			

第11回	日本語教育教材分析Ⅰ 児童・生徒用教材と生活者向け教材	国内で日本語教育が必要な児童・生徒の現状を調べておく。(90分)	児童・生徒用の日本語教材と英語教材を比較しておく。(90分)
担当教員			
第12回	日本語教育の教材分析Ⅱ 医療／介護人材向け教材と、ビジネスピープル向けの教材	入管庁サイトで国内の外国人就労者の分布を調べておく。(90分)	業種別の日本語能力養成の課題をまとめておく。(90分)
担当教員			
第13回	日本語教育史Ⅰ 日葡辞典から戦時中まで	日葡辞典からその語彙表記や運用の解説文を見ておく。(90分)	日韓併合以降から戦時中のアジアにおける「ニッポン」語教育を調べておく。(90分)
担当教員			
第14回	日本語教育史Ⅱ 戦後から現在の多様化した日本語教育	文科省サイトで留学生の受入れ状況を調べておく。(90分)	国内で日本語を学ぶ人々の社会と学習環境を確認しておく。(90分)
担当教員			
第15回	まとめ 日本語を教えるとは、どのようなことか。 脱教授法は、何をどこまで、どう教えるかをディスカッションする。	日本語教育能力試験の過去問から、指定した教授法関連の問題を解いてみる。(90分)	日本語教育能力試験の過去問をすべてを解いてみる。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	課題発表含む授業参加度60%、確認テスト40%	

その他	0	
教科書		
講義プリントを配布する。		
参考文献		
高見澤孟『増補改訂版 新・はじめての日本語教育2 日本語教授法入門』2016、アスク出版。市川保子『中級日本語文法と教え方のポイント』2005、スリーエーネットワーク。庵功雄他『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』2005、スリーエーネットワーク。ほか、授業で適宜紹介する。		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		キャリア形成 実用日本語					
科目名		日本語表現技法Ⅱ（文章表現）				ナンバリング	1302/2265
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	小西 正人、小西 正人						
授業の位置づけ							
社会で必要となるスキルのひとつである文章作成能力を習得する科目である。学術目的の言語使用に主眼をおいた日本語の高度な運用能力を身に付けるとともに、世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力、グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力、世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につける科目である。プレゼンテーションを中心とする「日本語表現技法Ⅰ」と補完的に、「日本語コミュニケーション技法」「日本語ビジネスライティング」の基礎科目となる。							
授業の概要							
本科目では、大学生活の基本となる日本語の文章表現能力を学ぶ。日本語そのものの基本を押さえた上で、思考法を鍛え、レポート・論文の作成力を修得し、日本語の基礎的な法則を確実に定着させながら、日本語の文章表現の能力を高める。また、様々な文章の「型」を文章作成と添削および相互批評を組み合わせた実作学習によって習得することで、社会で必要となるスキルを身に付けることを目指す。							
到達目標							
・社会に存在する様々な文章の「型」について分類することができるようになる。 ・各講義の目標とする文章表現技術を習得し、実際的な文章作成ができるようになる。 ・文の正誤・適否が区別できるようになる。							
授業の方法							
1. 講義形式で、作成する文章の形式を中心に説明を行う。 2. 説明の後、実際に各自文章作成・添削・相互評価を行う。 3. インタビュー・ドキュメンテーション・投稿・観察等を実際に行い、その結果を文章作成に反映させる。 4. 完成させた文章は提出して担当教員の指導を受ける。							
ICT活用							
Google classroomを活用し、授業補完情報（インターネットサイトなど）を報告したり、課題を出題・回収したりする。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし

課題に対するフィードバックの方法

作成した課題は適宜添削・指導する。
 クラス内で作成課題について適宜講評を行い、注意点等を共有する。
 作成した課題の相互評価・自己評価結果のシェアリングによって、成果と課題を可視化する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	はじめに 本講義のイントロダクション、および「書くことの意義と方法について」	はじめに 本講義のイントロダクション、および「書くことの意義と方法について」	講義の要点・課題の整理(120分)
担当教員			
第2回	教科書『文章を書く』第1章「機能する文章を目指す」社内文書を書いてみよう！	教科書授業該当部分の熟読・理解(90分)	教科書授業該当部分の熟読・理解(90分)
担当教員			
第3回	ビジネス型文書(提出課題)について相互確認。 教科書『文章を書く』第2章「7つの要件の思考法」第1節・第2節を読む。	教科書授業該当部分の熟読・理解(90分)	教科書授業該当部分の熟読・理解(90分)
担当教員			
第4回	教科書『文章を書く』第2章「7つの要件の思考法」第3節・第4節を読む。	教科書授業該当部分の熟読・理解(90分)	教科書授業該当部分の熟読・理解(90分)
担当教員			

第5回	教科書『文章を書く』第2章「7つの要件の思考法」第5節・第6節を読む。 「困ったこと」について相手に伝える文章を製作する。	教科書授業該当部分の熟読・理解(90分)	教科書授業該当部分の熟読・理解(90分)
担当教員			
第6回	教科書『文章を書く』第3章 実践5「お詫びをする」を読む。 教科書『考えるシート』ステージA「「お詫び」をする」を読み、実作する(1):準備段階	教科書授業該当部分の熟読・理解(30分)	「お詫び」をするタネを育てる(150分)
担当教員			
第7回	教科書『考えるシート』ステージA「「お詫び」をする」を読み、実作する(2):実作段階	教科書授業該当部分の熟読・理解(30分)	「お詫び」文書を製作する(150分)
担当教員			
第8回	「お詫び」文書を推敲・彫琢し清書提出する。	自分の「お詫び」文書を確認する(150分)	提出した・された「お詫び」文を確認する(60分)
担当教員			
第9回	クラスの「お詫び」文を読み、そこから得られるもの・感じることを話し合い、互いに学び合う。	事前に「お詫び」文に目を通しておく(60分)	自己「お詫び」の反省(120分)
担当教員			
第10回	教科書『文章を書く』第3章 実践2「お願いの文章を書く」を読む。 教科書『考えるシート』ステージA「「お願い」をする」を読み、実作する(1):準備段階	教科書授業該当部分の熟読・理解(30分)	「お願い」をするタネを育てる(150分)
担当教員			

第11回	教科書『考えるシート』ステージA「「お願い」をする」を読み、実作する(2):実作段階	教科書授業該当部分の熟読・理解(30分)	「お願い」文書を製作し提出する(150分)
担当教員			
第12回	クラスの「おわび」文を読み、そこから得られるもの・感じることを話し合い、互いに学び合う。	事前に「お願い」文に目を通しておく(60分)	自己「お願い」の反省(120分)
担当教員			
第13回	意見文・新聞読者投稿欄の文章を書いてみよう！(その1)準備と実作	テーマとしたい新聞記事などを見つけておく(60分)	意見文・新聞読者投稿欄の文章の実作(150分)
担当教員			
第14回	意見文・新聞読者投稿欄の文章を書いてみよう！(その2)実作と提出	意見文・新聞読者投稿欄の文章の実作(60分)	意見文・新聞読者投稿欄の文章の実作・提出(120分)
担当教員			
第15回	クラスの「意見文・新聞読者投稿欄」の文章を読み、そこから得られるもの・感じることを話し合い、互いに学び合う。	事前にクラスの「意見文・新聞読者投稿欄」の文章に目を通しておく(60分)	授業時に指摘された部分に注意してさらに良い文章を製作し、最終課題として提出する。(150分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期テストは実施しません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	提出課題、授業参加度などの総合評価とする。	

その他	0	
教科書		
『伝わる・揺さぶる! 文章を書く』／山田ズーニー／PHP新書 『考えるシート』／山田ズーニー／講談社		
参考文献		
授業内で適宜、提示する。		
履修条件・留意事項等		
状況に応じて講義内容や順番等が変更される場合がある。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		教育の基礎的理解に関する科目等 教育の基礎的理解に関する科目					
科目名		教育課程の意義と編成				ナンバリング	1012
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	石垣 則昭、村越 含博						
授業の位置づけ							
本科目である教育課程の意義と編成の授業は、教職課程科目「教育の基礎的理解に関する科目」に位置づけられ、教員免許を取得するための必修教科である。本科目は教育の主題である教育課程の意義と編成への理解を深め、教育制度論、教育方法の意義と編成、教育原理との関連を重視し授業を進める。							
授業の概要							
次代に生きる児童、生徒の育成のための学習指導要領(教育課程の基準)をふまえつつ、教育課程の意義とは何か。その21世紀的背景と教育課程編成の歴史と法令、編成の4原則による「開かれた教育課程」を論じる。さらに教育課程の編成上の課題や学校や教師レベルで重視される教育課程の基礎理論を具体例を示し学習を進める。							
到達目標							
①教育課程の編成の意義、歴史的経過を調べ理解できる。(知識・技能)②教育課程の編成の意義と進め方について理解し表現できる。(思考・判断・表現)③学習課題解決のため互いに交流し、学習内容を深めることができる。(関心・意欲・態度)							
授業の方法							
授業の到達目標を達成するため、説明と演習により授業を進め、学習資料は印刷し配布、授業はパワーポイントにより進める。受講者の学習への主体化を図るため、ハイブリッド型(ICTの活用と対面学習)を中心にwebを活用し、アクティブラーニングにより授業を進める。毎時間、授業の後半に送信する学習レポートは授業終了前に完成させ返信する。その後、採点し返却する。学習レポートの字数は300字～500字程度で作成する。あわせて14回目に小テスト(30点満点)を実施し、総合的に学習評価を行う。							
ICT活用							
毎時間におけるレポートの作成、FAMアプローチによる授業評価などはICTを活用しグーグルクラスルームにより相互交流を促進させる。							
実務経験のある教員の教育内容							

(石垣則昭) 北海道内の公立中学校の校長12年の実務経験と教育理論により学校改善を図り、学力向上を中心に様々な教育成果を上げた。また校長在任中より現在までの間、北海道内外の小中高等学校へ「主体的・対話的で深い学び」による授業改善や学習評価方法、教育課程の編成と実施さらに生徒指導を含め、今日的教育問題の解消・解決のため教育行政などより依頼を受け各種研修会の講師を務めている。

(村越含博) 北海道公立小学校に22年間勤務し、学級担任あるいは専科(社会科・理科・算数・総合的な学習)として小学校全科の学習指導をはじめとする実践経験を有する。教育実践をもとにした共著・論文も執筆している。専門は子どもが社会に参加する授業の方法と教育課程のあり方の研究であり、地域を教材化し教育課程や授業を創発することを実践、理論の双方からアプローチしており、道内小学校での研修講師を務めている。以上の経験をもとに、特に子どもの具体的な姿とそれに応じた実践方法について認識を深めるよう学生を支援する。

課題に対するフィードバックの方法

質問は授業中、クラスルームでのレポート提出時とあわせ随時受けつけ、内容により受講者全員への還元を図る。また毎時間、授業への自己評価、相互評価さらに学習レポートを中心とする、学習課題への回答を評価しコメントを添え返却する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション(学習評価の起点であるルーブリック、学習内容、進め方等)と、教育課程とは何か、また教育課程を学ぶ意義について理解する。	教育課程とは何かについて調べ授業に臨む。(90分)	オリエンテーションの内容を確認し、教教育課程の意義と学ぶ意義について整理する。(90分)
担当教員	石垣 則昭		
第2回	教育課程と学習指導要領の関係、さらにその構造について理解できる。	教育課程と学習指導要領の関係さらに、その構造について調べ授業に臨む。(90分)	教育課程と学習指導要領の関係、さらにその構造について整理する。(90分)
担当教員	石垣 則昭		
第3回	世界の教育課程の歴史的経過について理解できる。	世界の教育課程の歴史的経過について調べ授業に臨む。(90分)	世界の教育課程の歴史的経過について整理する。(90分)
担当教員	石垣 則昭		
第4回	我が国における教育課程の歴史的経過とその背景にある教育課題について理解できる。	我が国における教育課程の歴史的経過とその背景にある教育課題について調べ授業に臨む。(90分)	我が国における教育課程の歴史的経過とその背景にある教育課題について整理する。(90分)
担当教員	石垣 則昭		

第5回	教育課程編成の原理と編成上の基本問題について理解できる。	教育課程編成の原理について事前学習し授業に臨む。(90分)	教育課程編成の原理と、編成上の課題について整理する。(90分)
担当教員	石垣 則昭		
第6回	カリキュラムと教育課程さらに教科の基本類型について理解できる。	カリキュラムと教育課程さらに教科の基本類型について調べ授業に臨む。(90分)	カリキュラムと教育課程さらに教科の基本類型について整理する。(90分)
担当教員	石垣 則昭		
第7回	顕在的カリキュラム、潜在的カリキュラム重要性について理解できる。	顕在的カリキュラムと潜在的カリキュラムについて調べ授業に臨む。(90分)	顕在的カリキュラムと潜在的カリキュラムについて整理する。(90分)
担当教員	石垣 則昭		
第8回	系統主義と経験主義の教育課程とは何か。さらに各主義による学習指導要領の変遷を捉え理解できる。	系統主義と経験主義の教育課程とは何か。さらに各主義による学習指導要領の変遷について調べ授業に臨む(90分)	系統主義と経験主義の教育課程とは何か。さらに各主義による学習指導要領の変遷について整理する。(90分)
担当教員	石垣 則昭		
第9回	子どもの発達と教育課程、生徒指導との関係性について理解できる。	子どもの発達と教育課程、生徒指導との関係性について調べ授業に臨む。(90分)	子どもの発達と教育課程、生徒指導との関係性について整理する。(90分)
担当教員	村越 含博		
第10回	学校における教育課程の基本問題と対応について理解する。	学校における教育課程の基本問題について調べ授業に臨む。(90分)	学校における教育課程の基本問題と対応について整理する。(90分)
担当教員	村越 含博		

第11回	教育課程と教科書の活用の意義について理解できる。	教育課程と教科書の活用の意義について調べ授業に臨む(90分)	教育課程と教科書の活用の意義について整理する。(90分)
担当教員	村越 含博		
第12回	教育課程の評価と学習評価の意義について理解できる。	教育課程の評価の意義について調べ授業に臨む。(90分)	教育課程の評価と学習評価の意義について整理する。(90分)
担当教員	村越 含博		
第13回	教育課程の編成と授業改善について理解できる。	教育課程の編成と授業づくりの関係について調べ授業に臨む。(90分)	教育課程の編成と授業改善の意義及び関連性について整理する。(90分)
担当教員	村越 含博		
第14回	学習のまとめとしての小テストを実施し、カリキュラムマネジメントの意義と進め方について理解できる。	学習のまとめである小テストに向けての準備をし、カリキュラムマネジメントに意義と進め方とは何かを調べ授業に臨む。(90分)	カリキュラムマネジメントに意義と進め方について整理する。(90分)
担当教員	村越 含博		
第15回	本科を振り返り、「社会に開かれた教育課程の意義と編成」について理解でき、本科のまとめを行う。	「社会に開かれた教育課程の意義と編成」について調べ授業に臨む。(90分)	「社会に開かれた教育課程の意義と編成」についての理解を進め、本科の学習内容を整理する
担当教員	村越 含博		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	ルーブリックの評価の規準による毎時間の学習レポート評価(1問1点～5点・14回・70点)	

その他	30	小テスト(30問×1点・合計30点)
教科書		
自作の資料による。		
参考文献		
文部科学省刊行物による。		
履修条件・留意事項等		
学習内容の理解と定着を図るため準備学習、事後学習を重視し学習規律を守り提出物は期限を厳守する。授業中は自ら意見表明するなど能動的な参加態度を必須とする協同的な学びにより、「教育課程の意義と編成」への理解を深めて頂きたい。		
備考欄		
なし		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		教育の基礎的理解に関する科目等 教育の基礎的理解に関する科目					
科目名		教育心理学				ナンバリング	1004
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	川俣 智路						
授業の位置づけ							
本講義は、中学校教諭・高等学校教諭・栄養教諭免許状取得のための必修科目である。							
授業の概要							
本講義では学校教育□幼稚園を含む□の対象となる子どもの発達、学習、人格と適応、見立てや評価を基本的内容とする。さらに、これらの知見をベースにして、援助を必要とする児童生徒に対する支援のあり方についても情報を提供する。また、教育現場における具体的問題を取り上げ、将来、教育現場で子どもと関わるために必要な情報を提供する。本講義では、受講生の主体的な参加を重視した、アクティブな授業の展開が積極的に進められる。							
到達目標							
1 子どもの発達と教育の関係について説明できる。 2 学習理論の基礎的な事項を説明できる。 3 様々なニーズをもつ児童生徒に対する理解を深め支援できる力量を形成する。 4 教育実践場面について、受講生同士での議論を通して、様々な見立ての視点を獲得できる”							
授業の方法							
本講義では、受講生の主体的な参加を重視した、アクティブな授業の展開を積極的に進めていく。そこでは、心理テストや行動評定票を活用した討論の素材の提供、ワークショップ形式による実践場面の検討、事例検討などを通じて、実践的な視点と知識を獲得していく。							
ICT活用							
自身のデバイスによるクリッカーの活用、ウェブ掲示板による意見交流、確認問題をウェブフォームを用いて実施する							
実務経験のある教員の教育内容							

公認心理師として、学校に勤務した経験を活かして、子どもの心理に関連する授業を行う

課題に対するフィードバックの方法

ウェブ媒体で提出し、コメントをフィードバックする

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	教育心理学の目的と課題 心理学の歴史を探る中で、教育心理学の目的と課題を探る。ここでは、次の口点から学習を深めていく。①教育心理学の目的 ②発達と教育 ③遺伝か環境か”	準備学習:「心理学」という学問分野について、身近にある資料に目を通して見る(90分)。	教育心理学の扱う問題を整理して、他の心理学分野との関連を理解する(90分)。
担当教員	川俣 智路		
第2回	教育心理学の扱う問題を整理して、他の心理学分野との関連を理解する(90分)。	発達という用語について調べておく。(90分)	配布された資料を読む。(90分)
担当教員	川俣 智路		
第3回	教育と発達(2)①パーソナリティとは何か ②個性を伸ばす教育とは	パーソナリティという用語について調べておく。(90分)	パーソナリティ検査を通して、自分のパーソナリティについて考察し、レポートを作成する。(90分)
担当教員	川俣 智路		
第4回	認知発達と教育 ①認知発達の道筋 ②心の理論とは ③メタ認知とは”	コミュニケーション能力の重要性について調べる。(90分)	指定文献を参考にしながら、コミュニケーション能力を規定する諸要因について整理する。(90分)
担当教員	川俣 智路		

第5回	自己の成長と人間関係 ①自己とアイデンティティ ②人間関係の発達”	配布プリントに目を通しておく。(90分)	事前に配布された資料を読み人間関係の発達に教育がどんな役割を示すか検討する(90分)
担当教員	川俣 智路		
第6回	学習理論と教育 ①教育における学習 ②学習理論の概観”	学習理論について予習しておく(90分)	学習理論について予習しておく(90分)
担当教員	川俣 智路		
第7回	学習指導の実際 ①学習指導方法 ②個に応じた学習指導とは”	「学習」という心理学用語について調べておく。(90分)	配布された資料を読み、条件づけと動機づけについて整理し、必要に応じて説明できるようにする。(90分)
担当教員	川俣 智路		
第8回	支援の必要な児童・生徒の心理と指導(1): 発達と発達障害について理解を深めます。ここでは、子どもの発達の理解が特別支援教育の学習の第一歩であることを学習する”	「発達」という、心理学の専門用語の意味について、調べておく。(90分)	発達障害体験に関するレポートを作成する(90分)
担当教員	川俣 智路		
第9回	支援の必要な児童・生徒の心理と指導(2): 支援の必要な児童・生徒への対応について考える。”	障がいとは何かについて調べておく。(90分)	「障がい」という問題を構成している要因について整理しまとめる(90分)
担当教員	川俣 智路		
第10回	学習環境の構築とその指導 ①学校の学習環境の問題点とは ②個に応じた学びの環境をどう整えるか”	学習環境に関する資料に目を通してくる。(90分)	配布された資料を読み、ワークシoppへ向けた準備をする(90分)
担当教員	川俣 智路		

第11回	学習指導に関するワークショップ ①学習指導に関する教員・子ども体験 ②個に応じた学びの環境を整える方法”	学習指導に関する資料に目を通してくる。(90分)	ワークショップ結果をまとめ、レポートを作成する(90分)
担当教員	川俣 智路		
第12回	動機付けと教育 ①ワークショップの振り返りと動機付け ②動機付け理論とは”	「動機付け」という、心理学の専門用語の意味について、調べておく。(90分)	児童・生徒の動機を高める方法について調べまとめておく(90分)
担当教員	川俣 智路		
第13回	子どもの不適応(1) ①いじめ問題に対応する ②不登校への対応”	子どもの不適応(1) ①いじめ問題に対応する ②不登校への対応”	自分が教員になったときに、どのようにして児童・生徒への対応をするかについてまとめておく(90分)
担当教員	川俣 智路		
第14回	子どもの不適応(2) ①学級内での人間関係を知る ②非行、家庭環境への理解”	学級内の人間関係の把握の仕方について調べ学習しておく(90分) 90	自分が教員になったときに、どのようにして児童・生徒への対応をするかについてまとめておく(90分)
担当教員	川俣 智路		
第15回	教育心理学に関するまとめ これまで学習したトピックスの中から1つ選択し、内容をまとめて発表する”	教育心理学に関するまとめ これまで学習したトピックスの中から1つ選択し、内容をまとめて発表する”	最終レポートをまとめる(90分)
担当教員	川俣 智路		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行わない	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	30	講義内で出される3回の課題に対するレポート(10%×3回)によって評価する。	

その他	70	授業終了後に実施する確認問題で評価する。(5%×14回)
教科書		
指定しない		
参考文献		
『児童生徒理解のための教育心理学』ナカニシヤ出版 2013年 『ガイドライン学校教育心理学』ナカニシヤ出版 2016年”		
履修条件・留意事項等		
中学校教諭・高等学校教諭・栄養教諭免許状取得のための必修科目		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		教育の基礎的理解に関する科目等 教育の基礎的理解に関する科目					
科目名		教職入門				ナンバリング	1002
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	常田 拓孝						
授業の位置づけ							
教員免許の取得をめざす際に必要な教職に関する基本的な専門的知識や技能を修得する科目である。「教職に関する科目」の基礎となる授業である。学校教育の目標、教育課程の編成、学校教育の現状、期待される教員像などについて学修し、「教職に関する科目」の準備とする授業である。							
授業の概要							
教員養成教育における必須科目「教職の意義等に関する科目」として教職課程において最初に学ぶ科目である。教師の仕事の本質や専門性、学校教育の方向性等の基本的理念を概説し、教師の専門性や仕事に関する基本的な概念を学ぶ。さらに、学校教育における子どもの発達を理解しながら、教師としての教科指導、教育の方法の基本理論を学ぶ。							
到達目標							
1 学校教育のあり方について理解し、教職の意義について述べることができる。 2 学校における教師の職務について説明できる。 3 教師の職務を遂行するための資質や能力について述べることができる。 4 教科指導、教育の方法について自らの考えを整理し、考えを交流する話し合いに参加することができる。							
授業の方法							
教科書及び配布物を用いて、講義形式及びグループ学習を取り入れ行う。ミニレポートを時間内に行う(11回)。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

中学校教員を務め、学校運営、学校経営の経験が長く、教育全般について幅広い知識を有している。この経験を活かして指導を行う。

課題に対するフィードバックの方法

リアクションペーパー、レポートを読み、コメントを記すことによって学修へのフィードバックとする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【オリエンテーション 教職課程で学ぶこと】授業の進め方について理解する。教職をめざすにあたっての学校教育の意義や目的について理解し、教師としての基本的な姿勢やあり方を論ずることができる。	教科書「序章」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第2回	【子どもの生活】学校教育の主体である「子ども」の生活の様相について理解し、学校教育において進めるべき教育内容について述べるができる。	教科書「第1章第1節 最近の子どもの生活」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第3回	【学校生活での子ども】児童生徒の学校における心身の発達・変化等について調べ、学校教育において配慮、工夫すべき点について述べるができる。	教科書「第1章第2節 最近の学校の中の生活」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第4回	【学習指導】学校教育における学習指導の目標や方法の基本的な理念について調べ、児童生徒の発達段階に応じた学習指導はどのようにあるべきかについて述べるができる。レポート課題#1	教科書「第2章第1節 学習指導」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		

第5回	【生徒指導】生徒指導と学習指導は学校教育において表裏一体にあり、生徒指導としての機能を説明できる。児童生徒の資質や能力を伸長できる教師としての基本的な生徒指導上の技能等について述べるができる。専門家などの人材を活かしながら、チームとして組織的に対応することについて説明できる。	教科書「第2章第2節 生徒指導・進路指導 第3節 教育相談」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第6回	【学級経営】学校生活において児童生徒の最も中心的な役割を果たす学級について、その役割、目的を説明できる。児童生徒一人一人の成長を促すとともに、望ましい集団形成の方法について述べるができる。	教科書「第2章第4節 学級経営」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第7回	【教師に求められる資質・能力】学校教育にあつて、これまで教師に何が求められてきたかについて歴史的視点から説明できる。さらに、これからの時代において、教師にはどのようなことが求められているのかについて述べるができる。	教科書「第3章第1節 教師に何を求めてきたか、いま何が求められているか」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第8回	【学ぶことと教えること】教師の適切な指導によって、児童生徒は学校生活を通じて様々なことを学び、成長することを説明できる。さらに、教師も児童生徒から学び続けることが重要であることを説明できる。	教科書「第3章第2節 児童生徒と教師」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第9回	【今、期待される先生とは】現職の先生をゲストティーチャーとして迎え、「今、期待される先生とは」と題して講義していただき、どのような先生をめざすかについて考える端緒とする。学校教育目標の具現化のために学校内でチームとして組織的に学校運営にあたることについて説明できる。	これまでの学修資料を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第10回	【先生の仕事、先生の毎日】現職の先生をゲストティーチャーとして迎え、「先生の仕事、先生の毎日」と題して講義していただき、実際に先生が日々どのような仕事をしているのかについて挙げるができる。学年でも、協働で組織的に課題解決にあたることが重要であることを説明できる。	これまでの学修資料を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		

第11回	【教員養成の制度】教員養成制度の概要を理解し、教員養成の理念を踏まえてどのような学修することが期待されているかについて挙げることができる。レポート課題 # 2	教科書「第4章第1節 教員養成の制度、第2節 教職課程の仕組みと内容」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第12回	【教員の採用と研修】教員の採用制度について理解する。教員の研修が児童生徒の教育にあつて重要であることを述べることで、学び続ける教師のありようについて論ずることができる。学校がチームとして組織的に課題解決にあたることのできる資質を身につけることが大切であることを挙げることができる。	教科書「第4章第3節 教員の採用、第2節 教員の研修」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第13回	【教員の地位と身分】教員の地位と身分について説明できる。教育を携わる教員に定められているの地位、身分が重要で、児童生徒の教育に対する不断の努力が重要であることを説明できる。児童生徒の教育について努力を続けるとともに、学校外の専門家とも連携する姿勢が欠かせないことを論ずることができる。レポート課題 # 3	教科書「第5章第3節 教員の地位と身分、第2節 教員の待遇と勤務条件」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第14回	【学校制度】わが国における学校制度の概要について説明できる。国民の負託に応える学校教育のあり方について、学校の管理や学校経営の視点から述べることができる。	教科書「第6章第1節 学校制度、第2節 学校の管理・運営体制」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第15回	【まとめ】授業をとおして教員のあり方、児童生徒主体の学校教育のありようについて説明できる。今後の教職課程での学修の方法や内容について述べることができる。教職課程での学修では、様々な体験を経験しながらチームとして学校づくりにあたることについて述べることができる。評価テスト	これまでの学修資料を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	60	3回のレポートの提出	

その他	40	評価テスト
教科書		
1 新版(改訂二版) 教職入門 教師への道／藤本典裕／図書文化社 2 中学校学習指導要領(平成29年告示 文部科学省)		
参考文献		
なし		
履修条件・留意事項等		
なし		
備考欄		
なし		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		教育の基礎的理解に関する科目等 教育の基礎的理解に関する科目					
科目名		特別支援教育概論				ナンバリング	1020
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	村田 敏彰						
授業の位置づけ							
ディプロマ・ポリシーの「教育・保育・子育て支援に関わる者として、一人一人のこどもの特徴と発達へのニーズを見きわめ、それに対応できる教育的能力を身につけている。(知識・技能)」と関連する科目である。特別な教育的ニーズに応じた支援のための基本的資質、教育的能力を身につけ、共生社会の実現に向け、歴史的背景や国際的な動向を踏まえながら、より適切な教育のあり方を考え続ける指導者の基礎となるものである。特別支援教育総論や知的障害教育につながるものである。							
授業の概要							
通常の学級にも在籍する様々な困難さのある幼児・児童及び生徒が安心感・充実感をもって集団に参加しながら、将来の社会参加・自立に必要な知識・技能を学習し、活用することができるようになるための組織的な支援方法を個別の支援計画・個別の指導計画に基づく取り組みとして理解する。							
到達目標							
1. 特別支援教育の理念や目的を理解し、個別の教育的支援について説明することができる。 2. 共生社会の実現にむけたインクルーシブ教育が重視されている理由を説明することができる。 3. 障害者差別解消法など、社会的な支援の実践を理解し、障害と支援を関連付けて記述することができる。 4. 個別の教育的支援を行う支援者として、共生社会の重要性を説明することができる。							
授業の方法							
ICT機器や映像を多用しながら、これまでの経緯や動向、今日的課題についてよりわかりやすく授業を進めるように工夫し、教育現場における実態も紹介しながら展開していく。さらに、講義形式と並行させて指導計画作成、レポート等の提出により、受講生の理解の様子を確かめながら授業をすすめていく。フィードバックとして振り返りシートを活用し、講義の中で質問に答えたり、受講生からの質問についてディスカッションさせたりしながら学びを深め、アドバイス等を行う。							
ICT活用							
パワーポイントを使用して、プレゼンテーションを印象的に提示する。また、グーグルフォームやジャムボードを効果的に活用し、受講生相互の意見交流を図る。							
実務経験のある教員の教育内容							

小・中学校教員として32年間勤務した。この間、通常学級担任・教頭・校長として、また、12年間特別支援教育コーディネーターとして、校内支援体制整備、教育相談、心理アセスメント等に携わった。インクルーシブ教育の推進に関わっては個・学級・学校のそれぞれのレベルで、個別支援や交流学級、学びのユニバーサルデザインの視点に立った授業作り、校内支援委員会の運営や人材育成等に取り組んできた。授業ではこれらの経験に加え、現場で日常的に起こっているエピソードを数多く取り上げながら、学生とのコミュニケーションを重視し、より実践的な授業づくりに努める。

課題に対するフィードバックの方法

グーグルクラスルームの課題提出やグーグルフォームの振り返りシートを活用し、質問に答えたり、アドバイス等を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション: 特殊教育時代を振り返り、特別支援教育が目指す共生社会の意義と重要性について、全15回の講義を通して学ぶことを理解する。	障がいについて、自分なりの考えをまとめておく。(90分)	共生社会について整理し、意義と役割について整理する。(90分)
担当教員			
第2回	交流及び共同学習という特別支援教育を特徴付ける取組から、実態に応じた指導・支援の重要性とインクルーシブ教育の理念を理解する。	共生社会について整理し、「交流及び共同学習」について調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			
第3回	「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の役割や重要性について学習し、特別な教育的ニーズの把握や具体的支援の策定について理解する。	「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」について調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			
第4回	校内学びの支援委員会の位置付けと役割を知り、その推進役である特別支援教育コーディネーターの重要性を学習する。集団参加に困難さのある児童・生徒への組織的な取り組みと特別支援教育の役割について理解する。	「校内支援委員会」の目的や構成について調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			

第5回	障害者差別解消法における合理的配慮について学習し、具体的な事例をもとに実際場面での運用について理解する。	「障害者差別解消法」について調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			
第6回	保護者連携の重要性について学習し、事例を基に教育相談の目的や留意点等、適切な対応の在り方について理解する。	家庭との連携の意義や重要性について調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			
第7回	特別支援教育の対象となる障がい種別や学習上、生活上の困難について理解する。 ※小テスト(レポート作成)の実施	特別支援教育の対象となる障がい種や程度について調べておく。(90分)	講義内容についてキーワードをもとに整理し、自身の作成した小レポートを振り返りながら自分の考えを整理する。(90分)
担当教員			
第8回	障がいに基づく困難を主体的に改善・克服する上で重要となる自立活動について学習し、実際の指導場面及び指導案等を通して目的や留意点を理解する。	自立活動の目的や主な種類について調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			
第9回	幼児児童生徒の発達や知能を客観的に把握する心理検査について学習し、WISC-IVやKABC-II等の知能検査の特徴や分析方法について理解する。	心理検査の種類や目的、実施上の留意点について調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			
第10回	ICF(国際生活機能分類)について学習し、活動と参加という社会的側面から「障がい」をとらえる必要性について理解する。	ICFや「障がい」の様々な捉え方について調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			

第11回	障がい者の就労を見据えた、各段階におけるキャリア教育について学習し、就労支援の制度や実態について理解する。	障がい者の就労の実態や制度について調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			
第12回	家庭との連携において、教育相談の困難事例である児童虐待について学習し、発達障がいとの関連や関係機関との連携について理解する。	児童虐待や関係機関との連携について調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			
第13回	社会問題化している不登校やひきこもりについて学習し、事例を基に発達障がいとの関連や関係機関との連携について理解する。	不登校の実態や関係機関との連携について調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			
第14回	学習上及び生活上の困難の軽減・克服にむけた、実態把握や具体的支援の組織的対応の必要性について理解する。	「チーム学校」の重要性やポイントについて調べておく。(90分)	講義内容について、キーワードをもとに整理する。(90分)
担当教員			
第15回	授業のまとめ:授業で獲得した知識や理解を定着させる(レポートの作成作業に着手する)。	1～14回目の学習ノートと授業期間中に配布した資料に目を通しておく。(90分)	自身のレポートを振り返り、本授業で得たことや今後に向けての課題をまとめる。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行わない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	第15回で実施する最終レポート作成(70%) 第7回で実施する小テスト(10%) 毎回提出する振り返りシート(10%) 授業への参加度・出席態度(10%)	

その他	0	なし
教科書		
なし(適時資料を配布する)		
参考文献		
「はじめての特別支援教育」 柘植雅義・渡部匡隆・二宮真一・納富恵子編 有斐閣 2014		
履修条件・留意事項等		
中学校教諭免許及び高等学校教諭免許取得の必修科目である		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		教育の基礎的理解に関する科目等 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目					
科目名		特別活動・総合的な学習の時間の指導法				ナンバリング	2040
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	常田 拓孝、常田 拓孝、加藤 裕明						
授業の位置づけ							
教職に関する科目のうち、特別活動に関する科目である。望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養うことをめざす特別活動に関する科目である。また、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成をめざす総合的な学習の時間の指導について学ぶ科目である。							
授業の概要							
学校における特別活動の基本的な知識や方法を身につける。望ましい集団づくり、集団活動のねらい、具体的な方法について学ぶ科目である。具体的な活動プランや指導計画の立案体験をととして、特別活動の実践的な技能や方法について学ぶ。総合的な学習の時間についてもその学習活動の意義、指導計画、指導の実践について学ぶ。							
到達目標							
1 特別活動及び総合的な学習の時間の歴史的変遷、学校での具体的な実践例からそのありかたを学び、その意義を述べるこ とができる。 2 個と集団の関わりの視点から、学校での望ましい集団づくりについての配慮、方法に ついて挙げることができる。 3 教員同士が協働の姿勢で児童生徒の集団を運営する方策を学び、実際に活動計画を立 案することができる。							
授業の方法							
教科書及び配布物を用いて、講義形式及びグループワークでの学修を進める。ミニレポートを時間内に行う(10回)。 実際に特別活動、総合的な活動の時間の指導計画案、実施案を作成し、意見交流を行う。							
ICT活用							
適宜、グーグルクラスルーム等のプラットフォームを活用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

常田は中学校教員を務め、学校運営、学校経営の経験が長く、特別活動に関して幅広い知識を有している。特別活動及び総合的な学習の時間の展開、指導計画、具体的な指導について指導を行う。
加藤は公立高等学校に30年間勤務し、教科指導、HR指導、生活指導をはじめとする実践をもとに、教師自身の学びや育ちについて考察と経験を深めてきた。また、この間、部活動指導にも従事し、演劇教育を質的方法によって研究し、博士号を取得した。以上の経験を活かし、学校現場における具体的な子どもたちの姿を想定し、「主体的・対話的で深い学び」のための授業づくりをファシリテートする。

課題に対するフィードバックの方法

リアクションペーパー、レポートを読み、コメントを記すことによって学修へのフィードバックとする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【オリエンテーション 特別活動・総合的な学習の時間とは】特別活動及び総合的な学習の時間の目標、あり方や方法の概要を説明できる(担当 常田拓孝)	これまでの生徒指導に関する学修内容を振り返っておくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第2回	【特別活動の目標】望ましい集団活動をととして、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るなど、「特別活動」の目標や内容について説明できる。(担当 常田拓孝)	学習指導要領解説特別活動編第2章第1節の内容を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第3回	【特別活動の教育活動全体の意義】特別活動の全体像を捉え、その基本的性格を述べることができる。(担当 常田拓孝)	学習指導要領解説特別活動編第2章第2節の内容を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第4回	【学級活動のあり方】学級活動の目標、内容を理解し、望ましい人間関係の形成、学級や学校でのよりよい生活づくりに努める態度の形成の手法や方法について説明できる。(担当 常田拓孝)	学習指導要領解説特別活動編第3章第1節の内容を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		

第5回	【生徒会活動のあり方】生徒会活動の充実や向上を図る活動を行う生徒会活動について理解し、その自主的、実践的な態度を育てる方法について理解する。 【学校行事のあり方】学校や学年を単位として体験的に行われる学校行事について、その内容や目標について説明できる。望ましい人間関係の形成や集団への所属感や連帯感等を育てる方法について述べるができる。現職の中学校の先生をゲストティーチャーとして迎え、実際の指導、活動について説明できる。(担当 常田拓孝)	学習指導要領解説特別活動編第3章第2節、第3節の内容を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第6回	【学級活動指導計画の立案 その1】学級活動事例を参考にして、学級活動指導計画を立案し、グループ内で発表し合い、相互評価を行う。グループとしての学級活動計画案を立案する。(担当 常田拓孝)	学習指導要領解説特別活動編第4章第1節の内容を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第7回	【学校行事指導計画案の立案 その1】学校行事の事例を参考にして、学校行事指導計画案を立案し、グループ内で発表し合い、相互評価する。グループとしての学校行事指導計画案を立案する。(担当 常田拓孝)	これまでの学修内容を整理し、指導計画の立案について準備しておくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第8回	【総合的な学習の時間の目標】自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に学習するなど、「総合的な学習の時間」の目標や内容について説明できる。(担当 加藤裕明)	学習指導要領解説総合的な学習の時間編第2章、第3章の内容を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	加藤 裕明		
第9回	【総合的な学習の時間年間指導計画の立案】学習指導要領にある総合的な学習の時間の「指導計画の作成と内容の諸取扱い」を参考に、総合的な学習の時間の年間指導計画を立案する。(担当 加藤裕明)	学習指導要領解説総合的な学習の時間編第2章、第3章の内容を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	加藤 裕明		
第10回	【総合的な学習の時間の指導計画の立案】総合的な学習の時間の指導計画の立案し、グループ内で実際の指導計画案を交流し、作成することができる。(担当 加藤裕明)	学習指導要領解説総合的な学習の時間編第4章の内容を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	加藤 裕明		

第11回	【総合的な学習の時間 地域素材の教材化】現職の中学校の先生をゲストティーチャーとして迎え、地域の教育素材を調査し、総合的な学習の時間にふさわしい外部教育素材の活用方法について挙げることができる。(担当 常田拓孝)	学習指導要領解説総合的な学習の時間編第7章の内容を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第12回	【総合的な学習の時間の評価】総合的な学習の時間における評価観点、評価基準について説明でき、授業における評価内容や方法について説明できる。ゲストティーチャーを迎え、具体的な評価方法についての実際を説明できる。(担当 常田拓孝)	学習指導要領解説総合的な学習の時間編第8章の内容を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第13回	【総合的な学習の時間と各教科等との関連】総合的な学習の時間と各教科等の関連について説明でき、総合的な学習の時間での学習活動において各教科等での学習成果を活用する方法について挙げることができる。(担当 常田拓孝)	学習指導要領解説総合的な学習の時間編第9章の内容を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第14回	【特別活動、総合的な学習の時間の意義】学校教育における特別活動、総合的な学習の時間相互の関連、さらにそれぞれと教科指導、道徳教育の関係を説明でき、それらが有機的に換奏して、学校教育に掲げられている目標の達成に寄与することを説明できる。(担当 常田拓孝)	教科書を通読し、学修をまとめておくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第15回	【まとめ】学校教育における望まし人間関係、よりよい集団づくり、主体的、創造的協同的な態度の育成など、本授業の学修についてまとめることできる。評価テスト(担当 常田拓孝)	これまでの配付資料を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	60	講義で提出するミニレポートの提出(14回)	

その他	40	評価テスト
教科書		
1 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動／文部科学省 2 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間／文部科学省		
参考文献		
1 高等学校学習指導要領 特別活動, 総合的な学習の時間／文部科学省		
履修条件・留意事項等		
なし		
備考欄		
なし		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		教科及び教科の指導法に関する科目 各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)					
科目名		英語科教育法Ⅱ				ナンバリング	2081
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	沢谷 佑輔						
授業の位置づけ							
教育職員免許状(中学校、高等学校・英語)を取得するための科目である。施行規則に定める科目区分等で「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」に位置づく科目であり、英語科教育法Ⅰで学習したことを発展させ、英語科教育法Ⅲ、Ⅳの学習につなげる科目である。							
授業の概要							
学習指導要領およびその解説について、具体的な指導法とともに概説し、それを踏まえて模擬授業の指導案を作成する。模擬授業の振り返りを行ってそのディスカッションによりさらに指導法についての理解を深める。							
到達目標							
・中学校及び高等学校における3つの資質・能力を踏まえた「5つの領域」(「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法の指導について基本的な知識と技能を身に付ける。 ・複数の領域を統合した言語活動の指導方法を身に付ける。 ・教材や ICT の活用方法を知る ・英語による授業展開や ALT等とのチーム・ティーチングの方法について理解する。 ・生徒の特性や習熟度に応じた指導について理解する。 ・学習指導案の作成について理解する。							
授業の方法							
学習指導要領およびその解説について、具体的な指導法とともに概説し、それを踏まえて模擬授業の指導案を作成する。模擬授業の振り返りを行ってそのディスカッションによりさらに指導法についての理解を深める。							
ICT活用							
Webアプリを用いた双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

高校教員として長い間実践教育を行ってきた。また、大学でも小学校・中学校・高校と現場を訪問して学生達と知見を広げてきた。

課題に対するフィードバックの方法

課題の形式に応じたフィードバックを講義中やweb上で行う。
指導案については個別指導を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【講義ガイダンス】 この講義で学ぶ内容と求められる課題の内容について理解する。担当する模擬授業を決定する。	英語科教育法1で学んだことの振り返り[90分]	講義を振り返り、模擬授業に反映できる部分について考察する(90分)。
担当教員			
第2回	【スピーキングの指導の実際】 学習指導要領におけるスピーキング活動の取り扱いについて理解し、英語でのインタラクションについて理解を深める。タスクを用いた指導と評価法について学ぶ。この領域の指導における音声・語彙・表現及び文法指導において留意すべき点を理解し、ALTとのTTの効果的な導入について考察すると同時に、生徒の特性について配慮すべき点について議論する。	中学校や高校で受けたスピーキングの指導について振り返り、課題点をまとめる[90分]。	講義を振り返り、模擬授業に反映できる部分について考察する(90分)。
担当教員			
第3回	【模擬授業①】 スピーキング活動をメインに取り入れた授業案の作成とそれに基づく模擬授業の実施を通じて課題を見つけ、その克服について考察する。	模擬授業準備[90分]	模擬授業を振り返る。模擬授業を担当した場合は振り返りレポートを作成する(90分)。
担当教員			
第4回	【リスニングの指導の実際】 学習指導要領におけるリスニング活動の取り扱いについて理解し、リスニング問題の作成の観点及び英語のバリエーションに対する配慮の重要性について理解する。また、dictogloss, shadowingなどの具体的な指導方法について学ぶ。この領域の指導における音声・語彙・表現及び文法指導において留意すべき点を理解し、ALTとのTTの効果的な導入について考察すると同時に、生徒の特性について配慮すべき点について議論する。	中学校や高校で受けたリスニングの指導について振り返り、課題点をまとめる[90分]。	講義を振り返り、模擬授業に反映できる部分について考察する(90分)。
担当教員			

第5回	【模擬授業②】 リスニング活動をメインに取り入れた授業案の作成とそれに基づく模擬授業の実施を通じて課題を見つけ、その克服について考察する。	模擬授業準備[90分]	模擬授業を振り返る。模擬授業を担当した場合は振り返りレポートを作成する(90分)。
担当教員			
第6回	【ライティングの指導の実際】 学習指導要領におけるライティング活動の取り扱いについて理解し、プロセス・アプローチによるライティング指導の基本的なありかたと様々なジャンルにおけるライティング指導及び評価の観点について学ぶ。この領域の指導における音声・語彙・表現及び文法指導において留意すべき点を理解し、ALTとのTTの効果的な導入について考察すると同時に、生徒の特性について配慮すべき点について議論する。	中学校や高校で受けたライティングの指導について振り返り、課題点をまとめる[90分]。	講義を振り返り、模擬授業に反映できる部分について考察する(90分)。
担当教員			
第7回	第7回:【模擬授業③】 ライティング活動をメインに取り入れた授業案の作成とそれに基づく模擬授業の実施を通じて課題を見つけ、その克服について考察する。	模擬授業準備[90分]	模擬授業を振り返る。模擬授業を担当した場合は振り返りレポートを作成する(90分)。
担当教員			
第8回	【リーディング指導の実際】 学習指導要領におけるリーディング活動の取り扱いについて理解し、リーディングの問題作成の観点と新出文法及び語彙の取り扱いについて学ぶ。この領域の指導における文字・語彙・表現及び文法指導において留意すべき点を理解し、ALTとのTTの効果的な導入について考察すると同時に、生徒の特性について配慮すべき点について議論する。	中学校や高校で受けたリーディングの指導について振り返り、課題点をまとめる[90分]。	講義を振り返り、模擬授業に反映できる部分について考察する(90分)。
担当教員			
第9回	【模擬授業④】 リーディング活動をメインに取り入れた授業案の作成とそれに基づく模擬授業の実施を通じて課題を見つけ、その克服について考察する。	模擬授業準備[90分]	模擬授業を振り返る。模擬授業を担当した場合は振り返りレポートを作成する(90分)。
担当教員			
第10回	【技能統合型のタスク】 様々な技能を統合する形のタスク作成の観点について具体的な例をもとに学ぶ。この領域の指導における音声・文字・語彙・表現及び文法指導において留意すべき点を理解し、ALTとのTTの効果的な導入について考察すると同時に、生徒の特性について配慮すべき点について議論する。	中学校や高校で受けた技能を統合した指導について振り返り、課題点をまとめる[90分]。	講義を振り返り、模擬授業に反映できる部分について考察する(90分)。
担当教員			

第11回	【模擬授業⑤】 技能統合型の活動をメインに取り入れた授業案作成し、その評価方法について提示する。提案されたタスクおよびその評価方法についてクラスディスカッションを行い、理解を深める。	模擬授業準備〔90分〕	模擬授業を振り返る。模擬授業を担当した場合は振り返りレポートを作成する(90分)。
担当教員			
第12回	【ICTを利用した指導の実際】 教材及びICTの活用について理解し、授業での指導に生かす方法を学ぶ。	中学校や高校で受けたICTを活用した指導について振り返り、課題点をまとめる〔90分〕。	講義を振り返り、模擬授業に反映できる部分について考察する(90分)。
担当教員			
第13回	【模擬授業⑥】 ICTを活用した活動をメインに取り入れた授業案の作成とそれに基づく模擬授業の実施を通じて課題を見つけ、その克服について考察する。	模擬授業準備〔90分〕	模擬授業を振り返る。模擬授業を担当した場合は振り返りレポートを作成する(90分)。
担当教員			
第14回	【遠隔授業の方法論】 遠隔授業の方法論について学び、生徒の学年に応じた英語科目におけるよりよい遠隔授業について考える。	これまで受けたことのある遠隔授業について振り返り、課題点をまとめる〔90分〕。	講義を振り返り、模擬授業に反映できる部分について考察する(90分)。
担当教員			
第15回	【講義のまとめ】 講義全体の振り返り	これまで学習したことについてまとめる〔90分〕。	最終課題に取り組む(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	模擬授業の指導案 40% 模擬授業 30% 模擬授業振り返りレポート 10% 最終課題 20%	

その他	0	なし
教科書		
酒井英樹・廣森友人・吉田達弘編著『「学ぶ・教える・考える」ための 実践的英語科教育法』(大修館書店, 2018年) 中学校学習指導要領解説(外国語編) 高等学校学習指導要領解説(外国語編・英語編)		
参考文献		
講義内で適宜紹介する。		
履修条件・留意事項等		
課題は講義を欠席した場合も期日厳守のこと。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		国際学部 国際コミュニケーション学科					
区分		教育の基礎的理解に関する科目等 教育の基礎的理解に関する科目					
科目名		教育経営論				ナンバリング	
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	石垣 則昭						
授業の位置づけ							
本科目である教育経営論は教職課程に位置づけられ、教員免許を取得するための必修教科である。また本科目は 教職科目のうち「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」を扱う授業である。教職を希望する者にとって、教育経営を理解することは不可欠であり、教育課程の編成、教育方法の理論と実践との関連を重視し教職課程の総合知を獲得できるよう授業を位置づける。							
授業の概要							
近年、国際化グローバル化の進展に伴い、我が国の次代を担う人材の育成のため、教育制度の改革がなされてきた経緯がある。特に教育制度の改革による教育経営の見直し、さらに学習指導要領の改訂により、幼稚園、小学校、中学校、高等学校と新しい学習指導要領により教育活動が実施されている。教育法制度、学校教育の制度や学校経営、学級経営、教職員制度などの教育経営の基盤的知識を理解し、教職への意識付けを高める授業とする。							
到達目標							
①今日的教育経営・教育制度について理解できる。(知識・技能)②教育経営の在り方と教育制度改革について理解を深め表現することができる。(思考・判断・表現)③学習課題の解決のため、他者と協力し学習を深めることができる。(関心・意欲・態度)							
授業の方法							
授業の到達目標を達成するため、説明と演習の知的生産交流により授業を進める。受講者の学習への主体化を図るため、ハイブリッド型(ICTの活用と対面学習)の反転学習を中心にアクティブラーニングにより授業を進める。毎時間、授業の後半に送信する学習レポートは授業終了前に完成させ返信する。その後、採点し返却する。学習レポートの字数は300字～500字程度で作成する。あわせて14回目に小テスト(30点満点)を実施し、総合的に学習評価を行う。							
ICT活用							
毎時間のレポートの作成、FAMアプローチによる授業評価などグーグルクラスルームの活用による双方向の授業を行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

北海道内の公立中学校の校長12年の実務経験と教育理論により学校改善を図り、学力向上を中心に様々な教育成果を上げた。また校長在任中より現在までの間、北海道内外の小中高等学校へ「主体的・対話的で深い学び」による授業改善や学習評価方法、教育課程の編成と実施さらに生徒指導を含め、今日的教育問題の解消・解決のため教育行政などより依頼を受け各種研修会の講師を務めている。

課題に対するフィードバックの方法

質問は授業中、クラスルームでのレポート提出時とあわせ随時受けつけ、内容により受講者全員への還元を図る。また毎時間、授業への自己評価、相互評価さらに学習レポートを中心とする、学習課題への回答を評価しコメントを添え返却する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション(学習評価の起点であるルーブリックの提示、学習内容、進め方)教育経営論とは何かを理解できる。	教育経営論とは何かについてまとめ授業に臨む。(90分)	オリエンテーションの内容を確認し、教育経営論を学ぶ意義について整理する。(90分)
担当教員			
第2回	今日的教育経営の課題、さらに学校経営ビジョンについて理解できる。	今日的教育経営の課題、さらに学校経営ビジョンについて調べ授業に臨む。(90分)	今日的教育経営の課題、さらに学校経営ビジョンについて整理する。(90分)
担当教員			
第3回	これから求められる教師像と取り組むべき課題について理解できる。	これから求められる教師像と取り組むべき課題について調べ授業に臨む。(90分)	これから求められる教師像と取り組むべき課題について整理する。(90分)
担当教員			
第4回	公教育法制度を保障するための法制度及び教育基本法の基本理念と目的、目標について理解できる。	公教育法制度を保障するための法制度及び教育基本法の基本理念と目的、目標について調べ授業に臨む。(90分)	公教育法制度を保障するための法制度及び教育基本法の基本理念と目的、目標について整理する。(90分)
担当教員			

第5回	国及び都道府県と市町村の関係、社会状況と学校教育が抱える課題について理解できる。	国及び都道府県と市町村の関係、社会状況と学校教育が抱える課題について調べ授業に臨む。(90分)	国及び都道府県と市町村の関係、社会状況と学校教育が抱える課題について整理する。(90分)
担当教員			
第6回	教育経営目標、教育経営さらに校務分掌組織と学校評価活動について理解できる。	学校経営目標、学校経営校務分掌組織と学校評価活動とは何かを調べ授業に臨む。(90分)	学校経営目標、学校経営校務分掌組織と学校評価活動について整理する。(90分)
担当教員			
第7回	学級経営の基本的要素と意義さらに適切な運用について理解できる。	学級経営の基本的要素と意義さらに適切な運用について調べ授業に臨む。(90分)	学級経営の基本的要素と意義さらに適切な運用について整理する。(90分)
担当教員			
第8回	教育研修の意義と内容、さらにその進め方について理解できる。	教育研修の意義とその進め方について理解する調べ学習に臨む。(90分)	教育研修の意義と内容、さらにその進め方について整理する。(90分)
担当教員			
第9回	教職員の種類と任用制度、人事評価について理解できる。	教職員の種類と任用制度、人事評価について調べ授業に臨む。(90分)	教職員の種類と任用制度、人事評価について整理する。(90分)
担当教員			
第10回	教職員の服務規定(職務上・身分上)を理解できる。	教職員の服務規定(職務上・身分上)を理解するについて調べ授業に臨む。(90分)	教職員の服務規定(職務上・身分上)について整理する。(90分)
担当教員			

第11回	教育経営と生徒指導(生徒指導提要の改訂)の関連とその意義を理解できる。	教育経営と生徒指導(生徒指導提要の改訂)について調べ授業に臨む。(90分)	教育経営と生徒指導(生徒指導提要の改訂)について整理する。(90分)
担当教員			
第12回	学校安全とは何か。地域との連携を含め事故の未然防止、対応について理解できる。	学校安全とは何か、地域との連携を含め事故の未然防止、対応について調べ授業に臨む。(90分)	学校安全とは何か、地域との連携を含め事故の未然防止、対応について整理する。(90分)
担当教員			
第13回	カリキュラム・マネジメントの意義と進め方について理解できる。	カリキュラム・マネジメントの意義と進め方について調べ授業に臨む。(90分)	カリキュラム・マネジメントの意義と進め方について整理する。(90分)
担当教員			
第14回	学習のまとめとしての小テストを行い、教職員のメンタルヘルスの現状と改善について理解できる。	学習のまとめである小テストに向けての準備をし、教職員のメンタルヘルスの現状について調べ授業に臨む。(90分)	教職員のメンタルヘルスの現状について整理する。(90分)
担当教員			
第15回	「教育経営とチーム学校の意義」、「地域との連携」について理解でき本科のまとめを行う。	「教育経営とチーム学校の意義」、「地域との連携」とは何かを調べ学習に臨む。(90分)	「教育経営とチーム学校の意義」、「地域との連携」についてまとめ、本科の学習内容を整理する。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	ルーブリックの評価規準による毎時間の学習レポート評価 (1回1点～5点14回・計70点)	

その他	30	小テスト(30問×1点・計30点)
教科書		
自作の資料による。		
参考文献		
文部科学省刊行物による。		
履修条件・留意事項等		
学習内容の理解と定着を図るため準備学習、事後学習を重視し学習規律を守り提出物は期限を厳守する。授業中は自ら意見表明するなど能動的な参加態度を必須とする協同的な学びにより、「教育経営論」への理解を深めて頂きたい。		
備考欄		
なし		